

# 羽生市市民意識調査報告書

平成 23 年 1 月実施

羽 生 市

## 《目 次》

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査の方法	2
3 集計・分析のための地区区分	2
4 回収結果	2
5 調査項目	3
6 報告書をみる際の注意	3
II. 対象者の基本属性	5
1 性別	6
2 年齢	6
3 職業	6
4 居住年数	7
5 居住地	7
III. 調査結果の分析	9
1 住み心地について	10
1-1 住み心地／理由	10
1-2 定住意向	13
1-3 住み続けるために必要なもの	15
2 市役所の取り組み等について	17
2-1 広報はにゅうの閲読	17
2-2 ぎかいだよりの閲読	17
2-3 自治基本条例の認知度	18
2-4 計画づくりへの参加意向	20
2-5 市政・市役所に対する印象	21
3 コミュニティについて	23
3-1 近所付き合い	23
3-2 行事への参加	25
3-3 市民モラル	27
3-4 ボランティア活動／理由	30
4 羽生市の将来像について	32
4-1 羽生市の将来像	32
4-2 将来の人口	34
4-3 市町村合併	36

5	市の特徴	38
5-1	ムジナモの認知度	38
5-2	好きな場所・景色	39
5-3	全国PRに有効なもの	41
5-4	観光交流人口を増やすために	43
6	福祉・リサイクル・交通について	46
6-1	生きがいのある老後	46
6-2	ごみのリサイクル	48
6-3	交通	49
6-4	最終電車時刻	50
7	通信環境等について	52
7-1	インターネット環境	52
7-2	市のホームページ利用状況	53
7-3	電子申請・届出サービス	54
8	医療・防災・防犯	55
8-1	かかりつけ医	55
8-2	医療費	56
8-3	地震と家屋	57
8-4	火災警報器	58
8-5	避難場所	59
8-6	災害時の備え	60
8-7	防犯対策	61
8-8	犯罪防止	62
9	選挙	63
9-1	投票率の低い理由	63
9-2	投票率を上げる方法	64
10	教育・スポーツ	65
10-1	学校教育について	65
10-2	市内の学校への希望	66
10-3	スポーツ頻度と理由	67
11	人権・男女平等観	69
11-1	基本的人権	69
11-2	身の回りの男女平等観	70
11-3	「男は仕事、女は家庭」の考え方	73

12	産業・商業	74
12-1	購買調査	74
12-2	農産物の購入目安	77
12-3	商業・産業の振興	79
13	全般的なまちづくり	80
13-1	施策の満足度	80
13-2	力をいれるべき施策	85
IV.	調査結果のまとめ	89
V.	自由記入のまとめ	95
資料	調査票	119

# I . 調査の概要

# 1 調査の目的

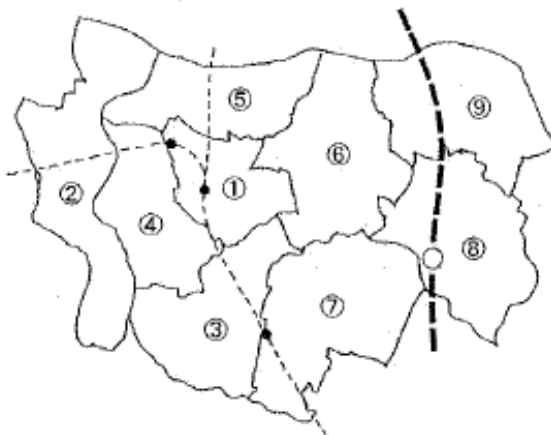
本調査は、市政についての市民の意見や要望等を広く把握し、これからのまちづくりの資料とするため実施した。

# 2 調査の方法

- 調査対象：羽生市に居住する満 20 歳以上の男女
- 標本数：1,500 人
- 抽出方法：住民基本台帳より地区別、無作為抽出
- 調査方法：郵送配布回収
- 調査期間：平成 23 年 1 月 4 日～21 日

# 3 集計・分析のための地区区分

- ①羽生地区
- ②新郷地区
- ③須影地区
- ④岩瀬地区
- ⑤川俣地区
- ⑥井泉地区
- ⑦手子林地区
- ⑧三田ヶ谷地区
- ⑨村君地区



# 4 回収結果

- 標本数 : 1,500 人
- 有効回収票数 : 1,043 人
- 有効回収率 : 69.5%

## 5 調査項目

①住み心地について	問 1 : 住み心地/その理由 問 2 : 定住意向 問 3 : 住み続けるために必要なもの
②市役所の取り組み等について	問 4 : 広報はにゅうの閲読 問 5 : ぎかいだよりの閲読 問 6 : 自治基本条例の認知度 問 7 : 計画づくりへの参加意向 問 8 : 市政・市役所に対する印象
③コミュニティについて	問 9 : 近所付き合い 問 10 : 行事への参加 問 11 : 市民モラル 問 12 : ボランティア活動/理由
④羽生市の将来像について	問 13 : 羽生市の将来像 問 14 : 将来の人口 問 15 : 市町村合併
⑤市の特徴	問 16 : ムジナモの認知度 問 17 : 好きな場所・景色 問 18 : 全国 PR に有効なもの 問 19 : 観光交流人口を増やすために
⑥福祉・リサイクル・交通について	問 20 : 生きがいのある老後 問 21 : ごみのリサイクル 問 22 : 交通 問 23 : 最終電車時刻
⑦通信環境等について	問 24 : インターネット環境 問 25 : 市のホームページ利用状況 問 26 : 電子申請・届出サービス
⑧医療・防災・防犯	問 27 : かかりつけ医 問 28 : 医療費 問 29 : 地震と家屋 問 30 : 火災警報器 問 31 : 避難場所 問 32 : 災害時の備え 問 33 : 防犯対策 問 34 : 犯罪防止
⑨選挙	問 35 : 投票率の低い理由 問 36 : 投票率を上げる方法
⑩教育・スポーツ	問 37 : 学校教育について 問 38 : 市内の学校への希望 問 39 : スポーツ頻度/理由
⑪人権・男女平等観	問 40 : 基本的人権 問 41 : 身の回りの男女平等観 問 42 : 「男は仕事 女は家庭」の考え方
⑫産業・商業	問 43 : 購買調査 問 44 : 農産物の購入目安 問 45 : 商業・産業の振興
⑬全般的なまちづくり	問 46 : 施策の満足度 問 47 : 力を入れるべき施策
⑭属性 (フェイスシート)	・性別 ・年齢 ・職業 ・居住年数 ・居住地域
⑮市政意見	・自由回答

## 6 報告書を見る際の注意

- ・各設問間の集計は、すべて単純集計、属性別(フェイスシート)クロス集計を行う。
- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出する。したがって、合計が 100.0%を上下する場合もある。
- ・図表中の「n」とは、集計対象者総数(または分類別の該当対象者数)を示し、比率は「n」を 100.0%として算出した。





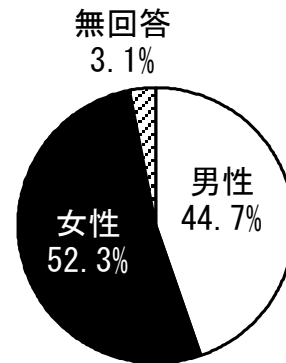
## Ⅱ. 対象者の基本属性

羽生市内に居住する満20歳以上の男女1,500人に調査票を配布したところ、1,043人から回答があった。その1,043人の回答者の基本属性は次のとおりである。

# 1 性別

○回答者は、やや“女性”のほうが多く、過半数を占めている。

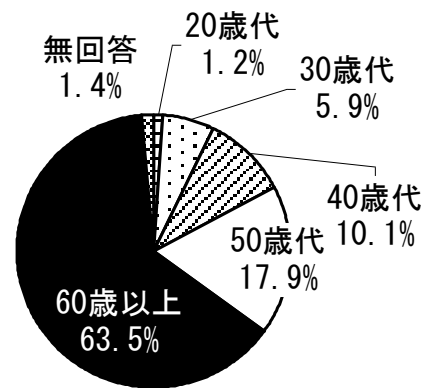
属性-1 性別	件数	%
男性	466	44.7
女性	545	52.3
無回答	32	3.1
合計	1043	100.0



# 2 年齢

○回答者は“60歳以上”の方が63.5%で最も多く、“50歳代”と合計すると、回答者数の81.4%を占め、高齢者の回答が多い結果となった。

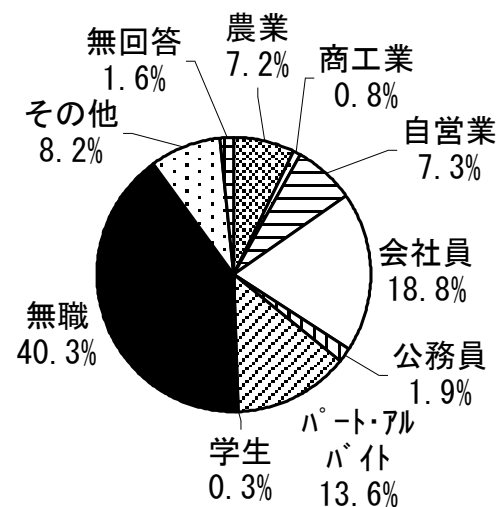
属性-2 年齢	件数	%
20～29歳	12	1.2
30～39歳	62	5.9
40～49歳	105	10.1
50～59歳	187	17.9
60歳以上	662	63.5
無回答	15	1.4
合計	1043	100.0



# 3 職業

○“無職”が最も多く40.3%、次いで“会社員”18.8%という結果となった。また、“商工業”は0.8%、“学生”は0.3%と少なくなっている。

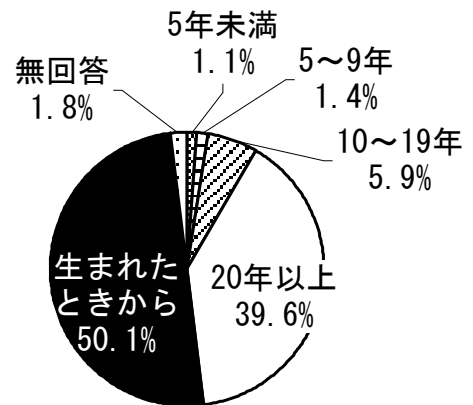
属性-3 職業	件数	%
農業	75	7.2
商工業	8	0.8
自営業	76	7.3
会社員	196	18.8
公務員	20	1.9
パート・アルバイト	142	13.6
学生	3	0.3
無職	420	40.3
その他	86	8.2
無回答	17	1.6
合計	1043	100.0



## 4 居住年数

○ “生まれた時から” 住んでいるが過半数の 50.1% で最も多く、次いで “20 年以上” が 39.6% となっており、居住年数の長い方からの回答が多い結果となった。

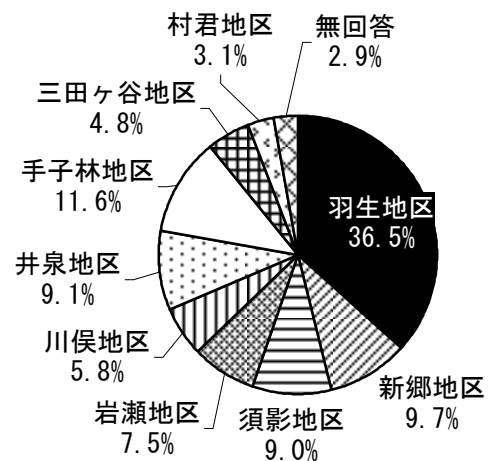
属性-4 居住年数	件数	%
5 年未満	11	1.1
5 年以上～9 年未満	15	1.4
10 年以上～19 年未満	62	5.9
20 年以上	413	39.6
生まれたときから	523	50.1
無回答	19	1.8
合計	1043	100.0



## 5 居住地

○ 居住人口に比例して “羽生地区” が 36.5% で最も多く、次いで “手子林地区” 11.6% という結果となった。

属性-5 居住地	件数	%	前回 %
羽生地区	381	36.5	38.1
新郷地区	101	9.7	9.6
須影地区	94	9.0	7.8
岩瀬地区	78	7.5	7.5
川俣地区	61	5.8	5.4
井泉地区	95	9.1	9.0
手子林地区	121	11.6	11.1
三田ヶ谷地区	50	4.8	5.2
村君地区	32	3.1	4.2
無回答	30	2.9	2.2
合計	1043	100.0	100.0





## Ⅲ. 調査結果の分析

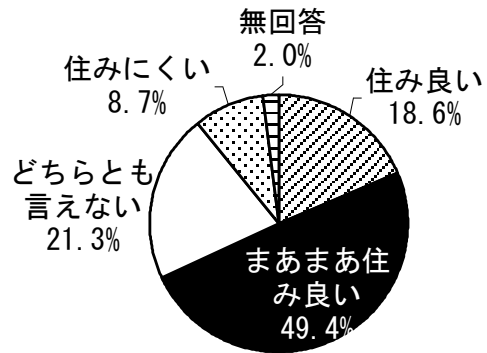
# 1 住み心地について

## 1-1 住み心地/理由

【問1】あなたにとって、現在の羽生市の住み心地はいかがですか。

○現在の羽生市の住み心地については、「まあまあ住み良い」が49.4%で最も多く、これに「住み良い」18.6%を合わせ“住み良い”傾向とする方が68.0%と過半数を占めている。

【問1 住み心地】 n=1043

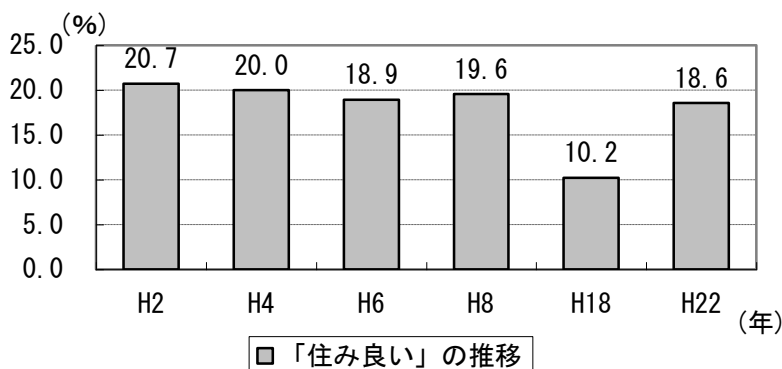


問1 住み心地	件数	%
住み良い	194	18.6
まあまあ住み良い	515	49.4
どちらとも言えない	222	21.3
住みにくい	91	8.7
無回答	21	2.0
合計	1043	100.0

※ “住み良い” は「住み良い」と「まあまあ住み良い」の合計とする。(以下同様)

○過去の調査との時系列集計で「住み良い」の推移をみると、前回調査より増加したものの減少傾向となっている。また、後述(p.13参照)の定住意向をみると、“住み続けたい”が過半数を占め、かつ減少傾向から今回調査で回復している一方、“転居したい”が増加傾向にあり、評価が下がっていることがうかがえる。

【住み心地 時系列集計】

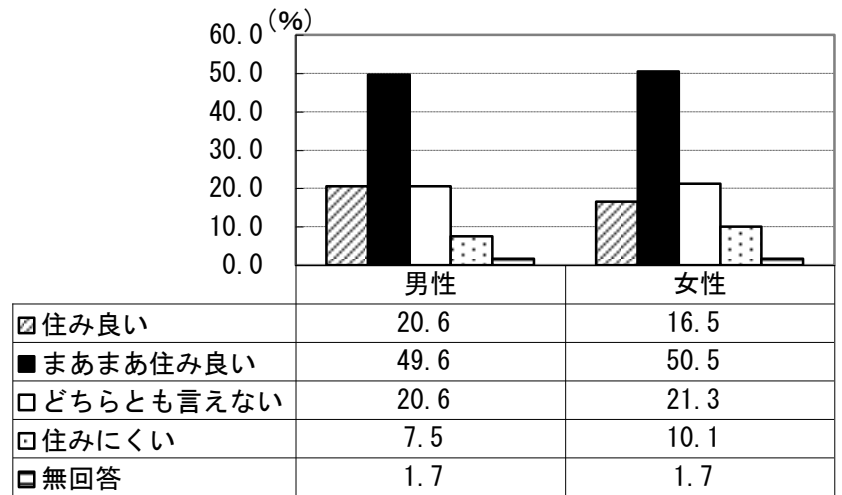


○“住み良い”傾向としている方の理由は、「永年住みなれ、愛着がある」が最も多く71.4%、次いで「自然環境が良い」39.6%と多くなっている。この傾向は、過去の調査でも同様の結果となっている。【問1-a参照】

○「住みにくい」としている方の理由は、「道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない」が最も多く46.2%、次いで「交通の便が悪い」39.6%、「買い物が不便である」35.2%と多くなっている。上位3項目は、前回調査でも同様であるが、「交通の便が悪い」は10%以上減少し、「道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない」は10%以上増加している。【問1-b参照】

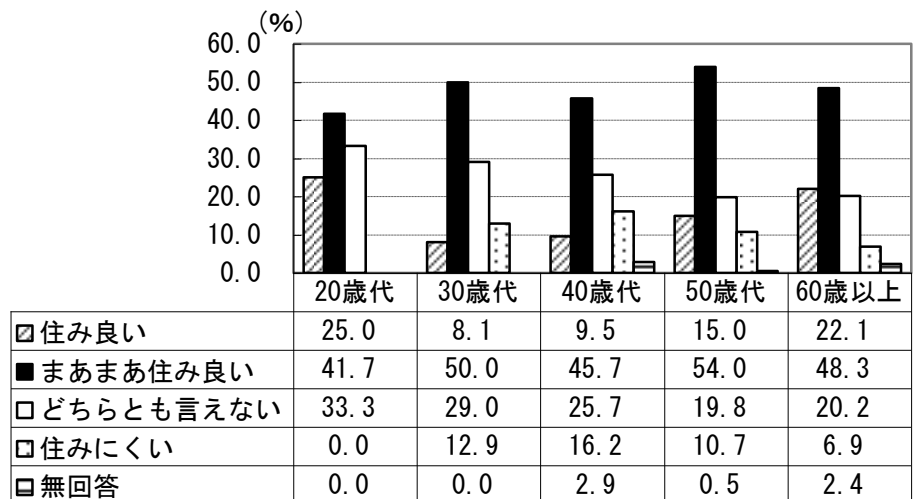
○性別にみると、男女ともほぼ同様の結果となっている。

【住み心地 性別集計】



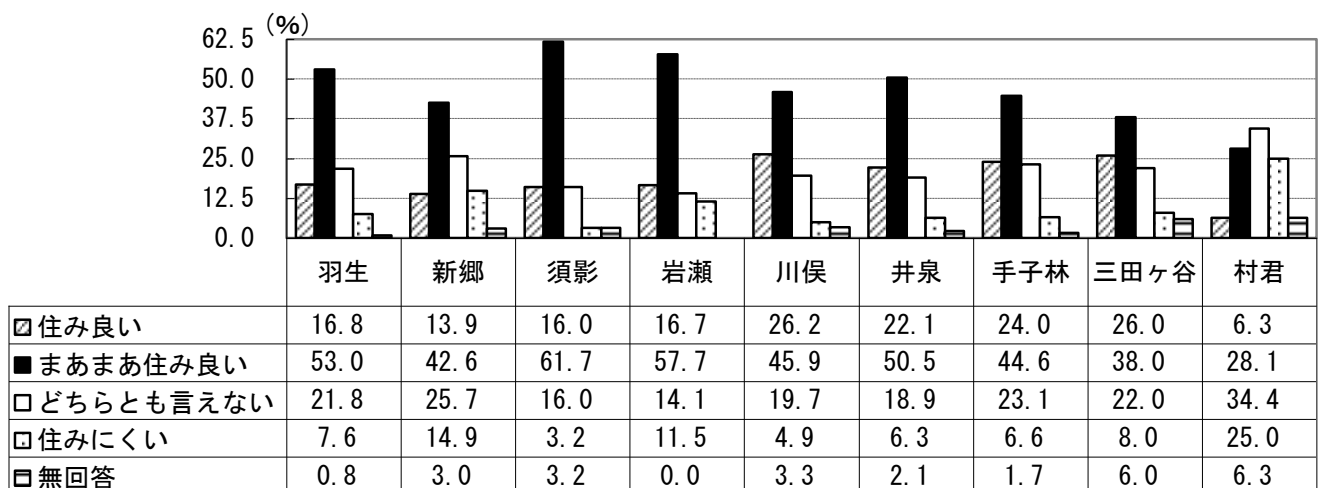
○年齢別にみると、「住み良い」と「まあまあ住み良い」を合わせ「住み良い」とする方は、いずれの年代も過半数となっている。「住み良い」傾向が最も多いのは「60歳以上」で70.4%となっている。

【住み心地 年齢別集計】



○地区別にみると、「村君地区」以外の全ての地区で「住み良い」傾向が過半数となっている。一方、「住みにくい」とする方が「村君地区」(25.0%)、「新郷地区」(14.9%)、「岩瀬地区」(11.5%)で他の地区より多くなっている。

【住み心地 地区別集計】



【問1-a】問1で住み良い(1あるいは2)を選んだ方にお伺いします。住み良いと思われる理由は何ですか。【複数回答】

問1-a 住み良いと思う理由	n=709		n=532
	件数	%	前回 %
自然環境が良い	281	39.6	49.8
道路・排水・下水道などの都市施設が整っている	49	6.9	7.3
文化ホールや図書館などの公共施設が充実している	42	5.9	9.6
交通の便が良い	55	7.8	9.6
買い物の便が良い	148	20.9	13.7
子どもの教育環境が良い	13	1.8	4.7
人間関係が良い	98	13.8	21.4
永年住みなれ、愛着がある	506	71.4	67.3
商売や事業に便利である	3	0.4	0.2
学校の関係	6	0.8	1.7
その他	26	3.7	3.8
合計	709		

【問1-b】問1で住みにくい(4)を選んだ方にお伺いします。住みにくいと思われる理由は何ですか。【複数回答】

問1-b 住みにくいと思う理由	n=91		n=133
	件数	%	前回 %
自然環境が良くない	5	5.5	1.5
道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない	42	46.2	33.8
公園などの公共施設が不十分である	10	11.0	14.3
交通の便が悪い	36	39.6	53.4
買い物が不便である	32	35.2	39.8
子どもの教育環境が良くない	2	2.2	4.5
人間関係が良くない	8	8.8	14.3
公害(騒音・振動・悪臭)などがある	6	6.6	6.8
商売や事業に不利である	14	15.4	17.3
その他	8	8.8	9.8
合計	91		

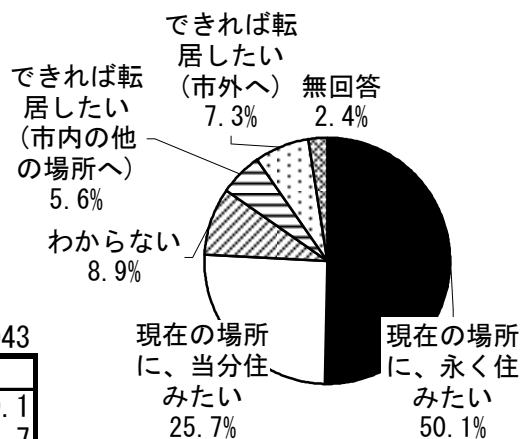


## 1-2 定住意向

【問2】あなたは、現在の場所に住み続けたいとお考えですか。

- 定住意向については、「現在の場所に、永く住みたい」が50.1%と過半数を占めている。これに「現在の場所に当分住みたい」を合わせ“住み続けたい”とする方は75.8%となっており、定住意向は高い傾向となっている。
- 一方、「できれば転居したい(市外へ)」は7.3%となっている。

【問2 定住意向】 n=1043

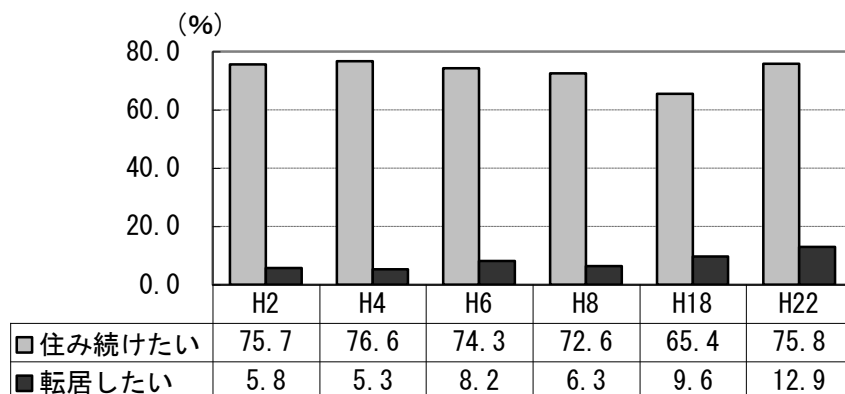


問2 現在の場所に住み続けたいか	n=1043	
	件数	%
現在の場所に、永く住みたい	523	50.1
現在の場所に、当分住みたい	268	25.7
わからない	93	8.9
できれば転居したい(市内の他の場所へ)	58	5.6
できれば転居したい(市外へ)	76	7.3
無回答	25	2.4
合計	1043	100.0

※ “住み続けたい” は「現在の場所に、永く住みたい」と「現在の場所に、当分住みたい」の合計とする。(以下同様)

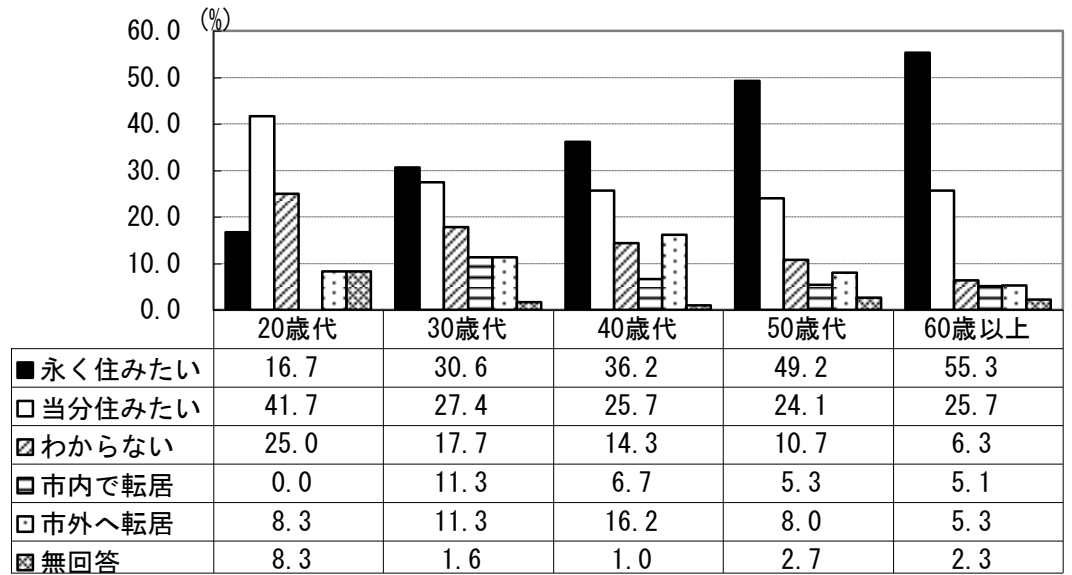
- 過去の調査との時系列集計で“住み続けたい”の推移をみると、減少傾向にあったが、今回の調査では、平成2年値レベルまで回復している。
- 一方、今回調査の“転居したい”(市内、市外の合計)とこれまでの調査の「なるべく住みたくない」を比較すると、増加傾向にある。
- “住み続けたい”“転居したい”いずれも増加していることから、判断を保留していた方(「わからない」「無回答」)の割合が減っているといえる。

【定住意向 時系列集計】



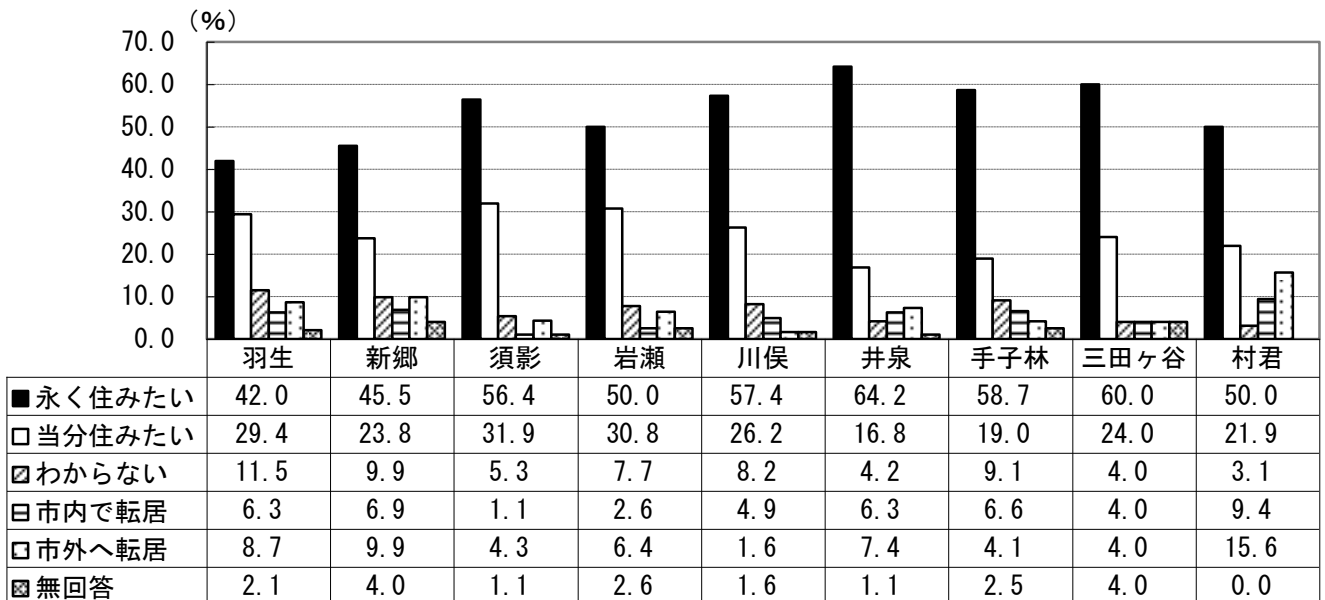
- 年齢別にみると、いずれの年代も“住み続けたい”傾向が過半数を占めている。
- 「永く住みたい」は高齢になるにつれ多くなり、「当分住みたい」は高齢になるにつれ少なくなっている。
- 「できれば転居したい(市外へ)」は“30歳代”、“40歳代”で多くなっている。

【定住意向 年齢別集計】



- 地区別にみると、いずれの地区も「永く住みたい」が最も多く、“住み続けたい”が過半数を占めている。また、“羽生地区”“新郷地区”を除く地区では「永く住みたい」が過半数を占めている。
- 一方、「できれば転居したい(市内の他の場所へ)」は“村君地区”で9.4%となっており、他地区に比べ多くなっている。また「できれば転居したい(市外へ)」についても“村君地区”で15.6%と他地区に比べ多くなっている。

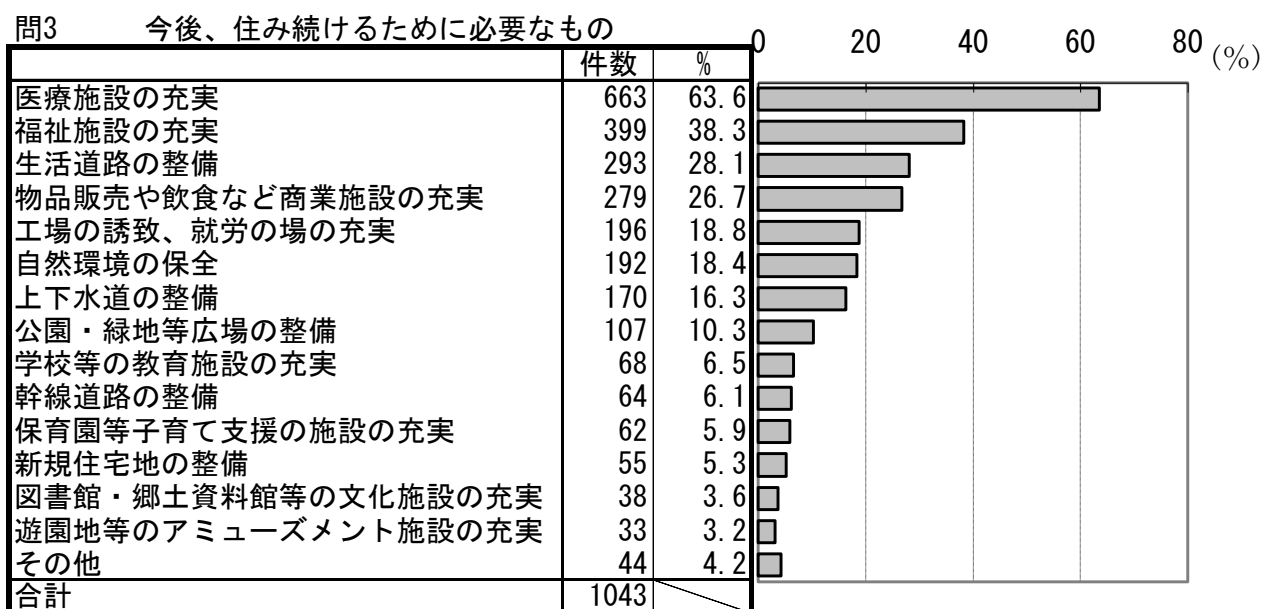
【定住意向 地区別集計】



### 1-3 住み続けるために必要なもの

【問3】 今後、住み続けるにあたって必要なものは何ですか。【複数回答】

○「医療施設の充実」が最も多く 63.6%と過半数を占め、次いで「福祉施設の充実」38.3%、「生活道路の整備」28.1%、「物品販売や飲食など商業施設の充実」26.7%と多くなっている。



○年齢別にみると、いずれの年代も「医療施設の充実」「生活道路の整備」「物品販売や飲食など商業施設の充実」が上位項目となっている。

○「福祉施設の充実」については“50歳代”“60歳以上”で上位項目となっているが、“20歳代”では少なくなっている。一方、“20歳代”では「保育園等子育て支援の施設の充実」が、“30歳代”“40歳代”では「工場の誘致、就労の場の充実」が多くなっている。

【住み続けるために必要なもの 年齢別集計】

(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
医療施設の充実	41.7	46.8	66.7	65.2	64.8
福祉施設の充実	8.3	21.0	21.9	37.4	42.6
生活道路の整備	25.0	22.6	25.7	29.9	28.9
物品販売や飲食など商業施設の充実	50.0	41.9	33.3	31.0	22.8
工場の誘致、就労の場の充実	0.0	22.6	28.6	20.3	16.2
自然環境の保全	16.7	21.0	13.3	18.7	18.9
上下水道の整備	8.3	8.1	12.4	14.4	18.1
公園・緑地等広場の整備	8.3	19.4	14.3	8.6	9.5
学校等の教育施設の充実	16.7	12.9	12.4	5.9	5.0
幹線道路の整備	16.7	11.3	9.5	4.3	5.6
保育園等子育て支援の施設の充実	33.3	14.5	3.8	3.7	5.6
新規住宅地の整備	0.0	6.5	3.8	7.5	4.8
図書館・郷土資料館等の文化施設の充実	8.3	3.2	4.8	3.2	3.6
遊園地等のアミューズメント施設の充実	0.0	9.7	2.9	4.3	2.3
その他	0.0	3.2	6.7	5.9	3.5

- 地区別にみると、いずれの地区も「医療施設の充実」が最も多くなっている。
- “三田ヶ谷地区”以外の地区では「福祉施設の充実」が、“羽生地区”“新郷地区”“村君地区”以外の地区では「生活道路の整備」が上位項目となっている。
- “羽生地区”“川俣地区”“村君地区”では「物品販売や飲食など商業施設の充実」が、“三田ヶ谷地区”では「工場の誘致、就労の場の充実」、 “新郷地区”では「上下水道の整備」が上位項目となっている。

【住み続けるために必要なもの 地区別集計】

(単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
医療施設の充実	70.1	50.5	64.9	57.7	70.5	69.5	57.0	56.0	46.9
福祉施設の充実	42.0	37.6	43.6	29.5	39.3	36.8	33.9	28.0	37.5
生活道路の整備	18.9	31.7	37.2	38.5	29.5	32.6	31.4	34.0	31.3
物品販売や飲食など商業施設の充実	34.6	24.8	18.1	16.7	29.5	20.0	19.0	26.0	34.4
工場の誘致、就労の場の充実	21.8	14.9	13.8	14.1	19.7	22.1	9.9	34.0	18.8
自然環境の保全	16.5	18.8	23.4	23.1	16.4	16.8	22.3	18.0	9.4
上下水道の整備	4.7	33.7	16.0	25.6	23.0	18.9	23.1	24.0	12.5
公園・緑地等広場の整備	12.1	10.9	6.4	14.1	4.9	9.5	10.7	12.0	3.1
学校等の教育施設の充実	7.3	0.0	7.4	6.4	3.3	8.4	6.6	10.0	9.4
幹線道路の整備	4.2	6.9	5.3	5.1	11.5	6.3	7.4	8.0	15.6
保育園等子育て支援の施設の充実	4.5	10.9	8.5	5.1	6.6	4.2	5.0	2.0	12.5
新規住宅地の整備	5.5	4.0	2.1	10.3	6.6	6.3	3.3	6.0	9.4
図書館・郷土資料館等の文化施設の充実	5.2	5.0	3.2	3.8	0.0	1.1	5.0	0.0	0.0
遊園地等のアミューズメント施設の充実	4.5	0.0	2.1	2.6	1.6	4.2	2.5	2.0	3.1
その他	5.0	2.0	2.1	2.6	3.3	4.2	8.3	2.0	0.0

## 2. 市役所の取り組み等について

### 2-1 広報はにゅうの閲読

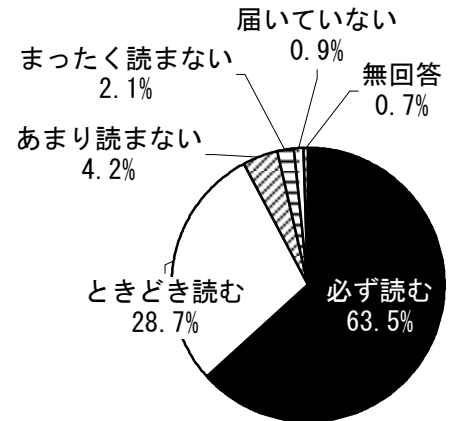
【問4】あなたは、市の広報紙「広報はにゅう」を読んでいますか。

○「必ず読む」が過半数の63.5%と最も多く、これに「ときどき読む」28.7%を合わせ、“読む”が92.2%を占めている。

【問4 広報はにゅうの閲読】n=1043

問4 「広報はにゅう」の閲読

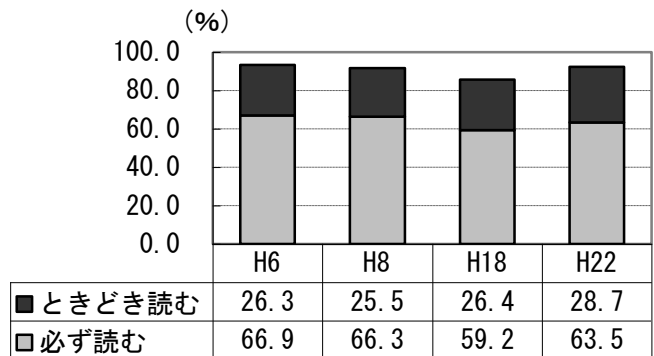
	件数	%
必ず読む	662	63.5
ときどき読む	299	28.7
あまり読まない	44	4.2
まったく読まない	22	2.1
届いていない	9	0.9
無回答	7	0.7
合計	1043	100.0



※“読む”は「必ず読む」と「ときどき読む」の合計とする。  
(以下同様)

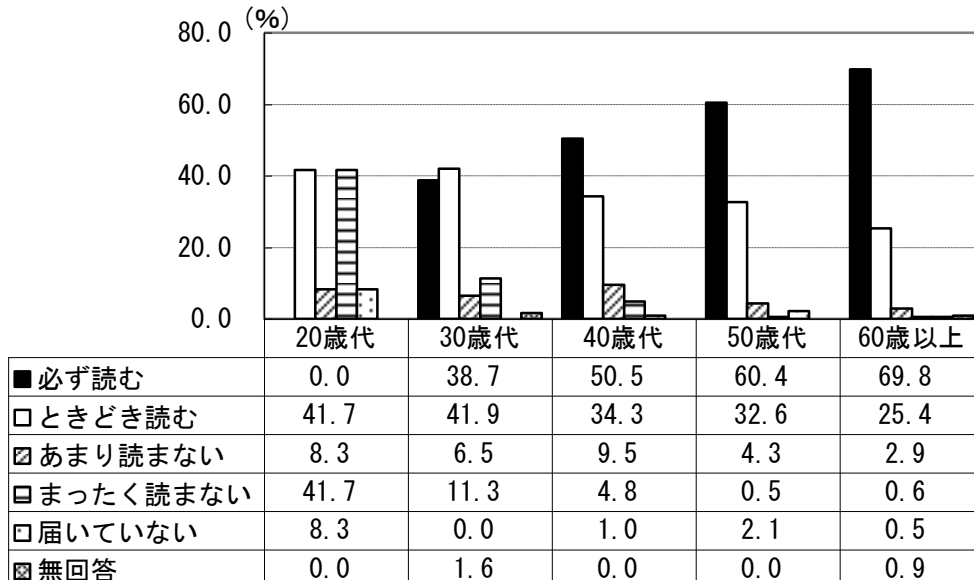
【広報の閲読 時系列集計】

○過去の調査との時系列集計で“読む”の推移をみると、減少傾向にあったが、今回の調査では、平成6年値レベルまで回復している。



○年齢別にみると“60歳以上”では95.2%が“読む”としているのに対し、“20歳代”では41.7%になっている。また“20歳代”は「まったく読まない」が41.7%を占め、他の年代に比べ高くなっている。

【広報はにゅうの閲読 年齢別集計】



## 2-2 ぎかいだよりの閲読

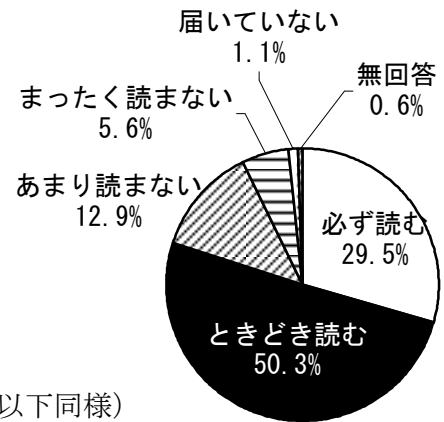
【問5】あなたは、市議会の広報紙「ぎかいだより」を読んでいますか。

○「ときどき読む」が過半数の50.3%と最も多く、これに「必ず読む」29.5%を合わせ、「読む」が79.8%を占めている。

【問5 ぎかいだよりの閲読】 n=1043

問5 「ぎかいだより」の閲読

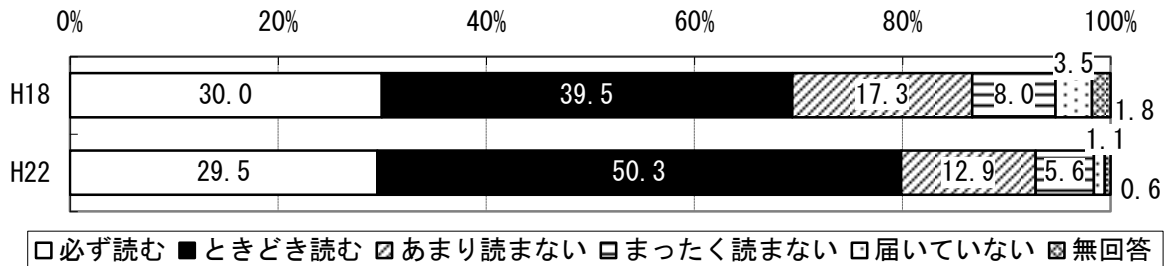
	件数	%
必ず読む	308	29.5
ときどき読む	525	50.3
あまり読まない	135	12.9
まったく読まない	58	5.6
届いていない	11	1.1
無回答	6	0.6
合計	1043	100.0



※ “読む” は「必ず読む」と「ときどき読む」の合計とする。(以下同様)

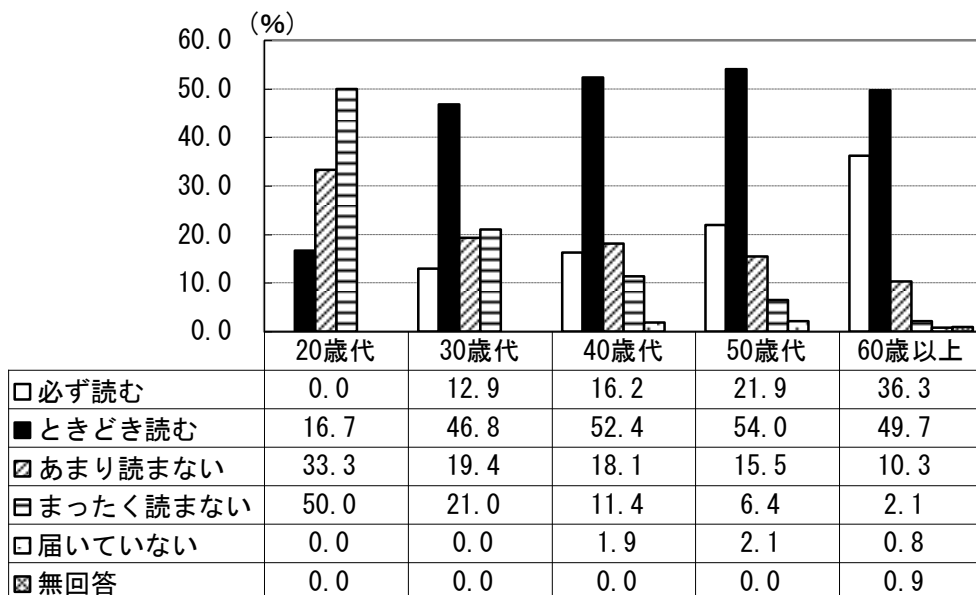
○前回調査と比較すると、「ときどき読む」が大きく増加し、「あまり読まない」「まったく読まない」が減少している。

【ぎかいだよりの閲読 時系列集計】



○年齢別にみると“60歳以上”では86.0%が“読む”としているのに対し、“20歳代”では16.7%に留まっている。また“20歳代”は「まったく読まない」が50.0%を占め、他の年代に比べ高くなっている。

【ぎかいだよりの閲読 年齢別集計】

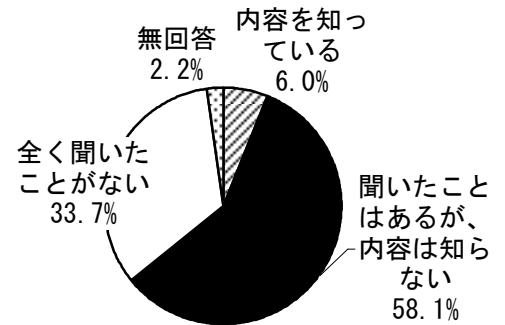


## 2-3 自治基本条例の認知度

【問6】羽生市まちづくり自治基本条例についてご存じですか。

- 「聞いたことはあるが、内容は知らない」が過半数の58.1%と最も多く、次いで「全く聞いたことがない」が33.7%となっている。
- 「内容を知っている」は6.0%にとどまっており、認知度は低い結果となっている。

【問6 自治基本条例の認知度】 n=1043

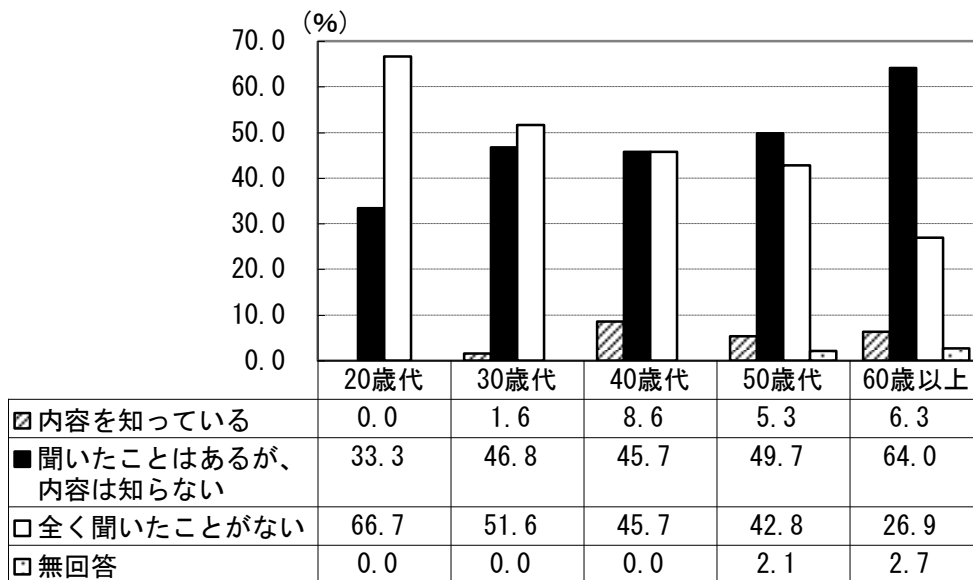


問6 自治基本条例の認知度

	件数	%
内容を知っている	63	6.0
聞いたことはあるが、内容は知らない	606	58.1
全く聞いたことがない	351	33.7
無回答	23	2.2
合計	1043	100.0

- 年齢別にみると“40歳代”で「内容を知っている」が、他の年代に比べ高くなっている。
- また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は高齢になるにつれ多くなり、「全く聞いたことがない」は高齢になるにつれ少なくなっている。

【自治基本条例の認知度 年齢別集計】

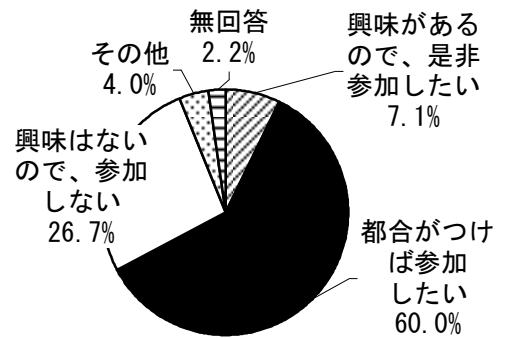


## 2-4 計画づくりへの参加意向

【問7】あなたは、市の計画づくりに市民参加の機会がある場合、参加してみたいですか。

- 「都合がつけば参加したい」が過半数の60.0%と最も多く、これに「興味があるので、是非参加したい」7.1%を合わせ、“参加したい”が67.1%となっている。
- 一方、「興味はないので、参加しない」が26.7%となっている。

【問7 計画づくりへの参加意向】 n=1043



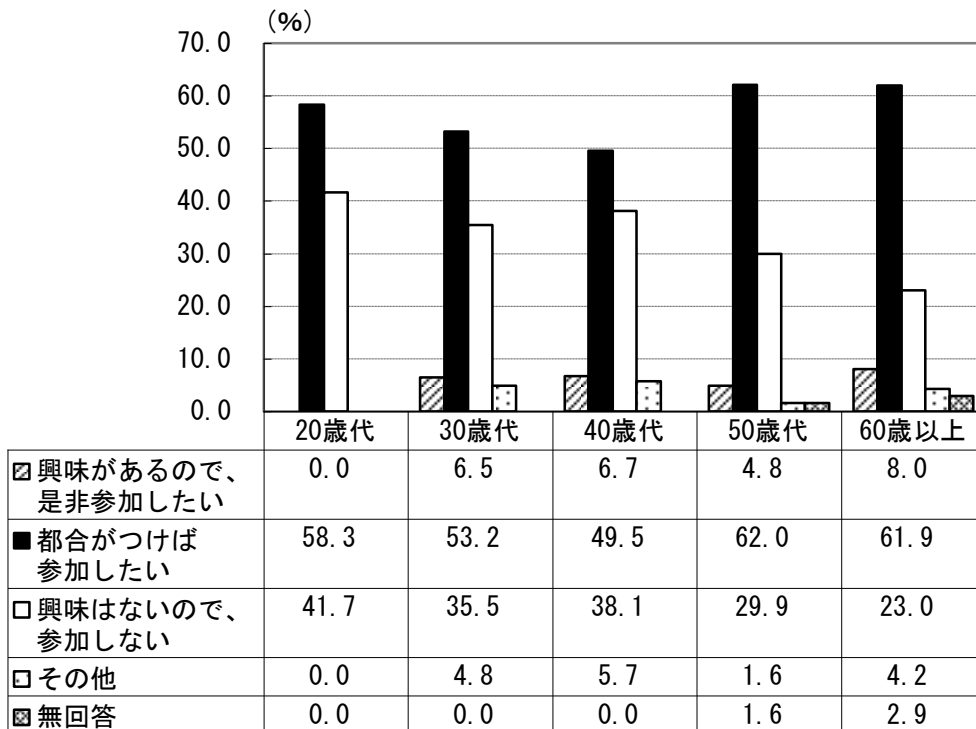
問7 計画づくりに市民参加意向

	件数	%
興味があるので、是非参加したい	74	7.1
都合がつけば参加したい	626	60.0
興味はないので、参加しない	278	26.7
その他	42	4.0
無回答	23	2.2
合計	1043	100.0

※ “参加したい” は「興味があるので、是非参加したい」と「都合がつけば参加したい」の合計とする。  
(以下同様)

- 年齢別にみると“60歳代”で「興味があるので、是非参加したい」が、他の年代に比べ高くなっている。一方、「興味はないので、参加しない」は年齢が若い方が、高くなっている。
- 「都合がつけば参加したい」が過半数を占めている年代が多いが“40歳代”では低くなっている。また、“40歳代”では、“参加したい”についても低くなっている。

【計画づくりへの参加意向 年齢別集計】





## 2-5 市政・市役所に対する印象

【問8】あなたは、市政や市役所の職員について、どのような印象をお持ちですか。

○市政や市役所の職員について、どのような印象を持っているかを尋ねたところ、窓口の親切さでは「親切である」が53.6%と最も多いのに対して、他の項目では「どちらとも言えない」がいずれも最も高い割合を占めている。これは、市民が市政や市役所に対し、「良い」とも「悪い」とも判断がつかない、あいまいな印象を持っていることの裏づけとなる。【下記(1)～(5)表・グラフ参照】

○さらに、市政や市役所に対する印象(イメージ)を一様に評価するため、各項目の5段階評価を加重平均によって点数化して、プラスとマイナスイメージで表すこととした。

### 市政・市役所に対する印象(イメージ)

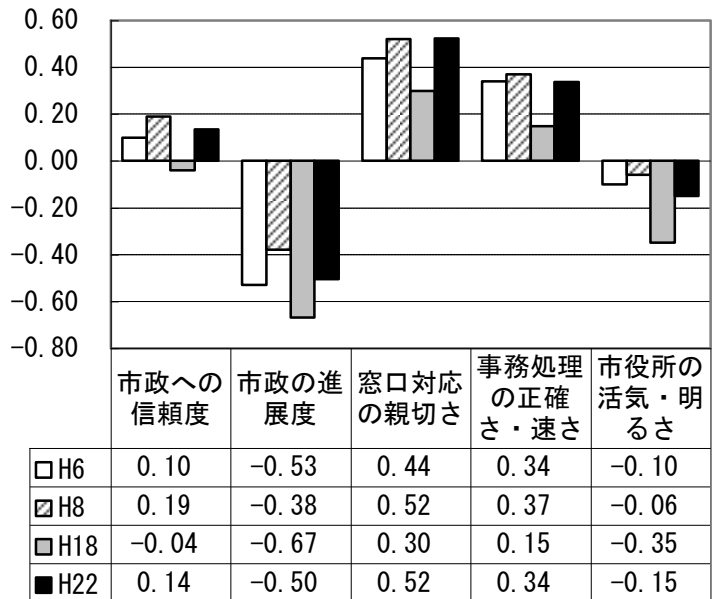
例) (1) 市政への信頼度

(「非常に信頼できる」件数×2点+「信頼できる」件数×1点+「どちらともいえない」件数×0点  
+「やや信頼できない」件数×(-1)点+「信頼できない」件数×(-2)点)

----- = 印象度  
回答者数-「無回答」回答件数

- プラスイメージを最も多く持たれているのは「窓口対応の親切さ」で、次いで「事務処理の正確さ・速さ」となっている。
- また、マイナスイメージを最も多く持たれているのは「市政の進展度」となっている。
- これを時系列でみると、全ての項目において減少傾向にあるが、大きくマイナスとなった前回に比べるとイメージは良くなっている。

【市役所に対する印象度 時系列別加重平均値】

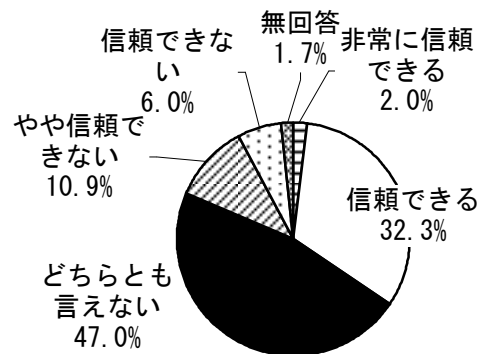


### (1) 市政への信頼度

【問8-1 市政への信頼度】 n=1043

問8-1 市政への信頼度

	件数	%	前回 %
非常に信頼できる	21	2.0	1.3
信頼できる	337	32.3	24.1
どちらとも言えない	490	47.0	51.2
やや信頼できない	114	10.9	11.8
信頼できない	63	6.0	9.5
無回答	18	1.7	2.2
合計	1043	100.0	100.0

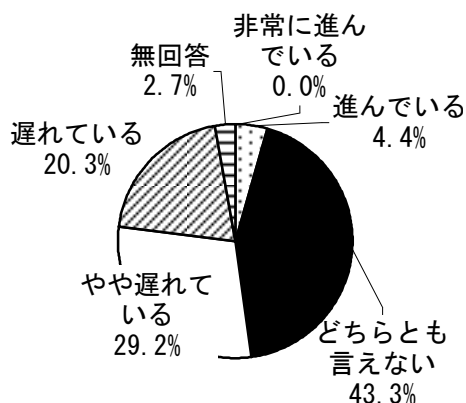


(2) 市政の進展度

問8-2 市政の進展度

	件数	%	前回 %
非常に進んでいる	2	0.2	0.0
進んでいる	94	9.0	4.4
どちらとも言えない	479	45.9	43.3
やや遅れている	265	25.4	29.2
遅れている	171	16.4	20.3
無回答	32	3.1	2.7
合計	1043	100.0	100.0

【問8-2 市政の進展度】n=1043

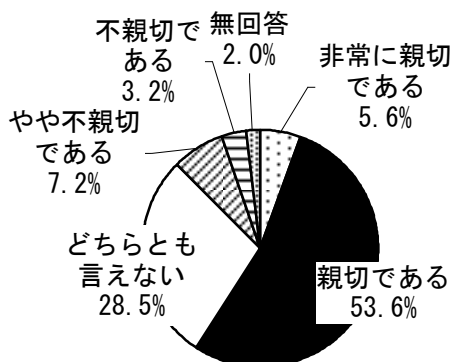


(3) 窓口対応の親切さ

問8-3 窓口対応の親切さ

	件数	%	前回 %
非常に親切である	58	5.6	3.5
親切である	559	53.6	44.4
どちらとも言えない	297	28.5	33.3
やや不親切である	75	7.2	12.0
不親切である	33	3.2	4.8
無回答	21	2.0	2.0
合計	1043	100.0	100.0

【問8-3 窓口対応の親切さ】n=1043

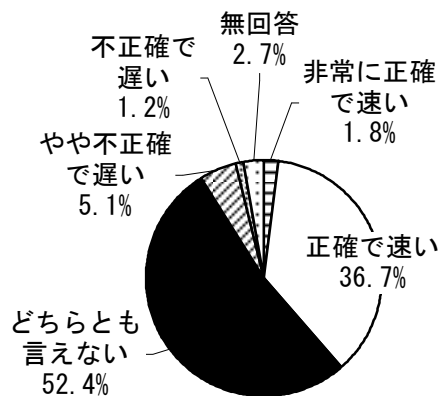


(4) 事務処理の正確さ・速さ

問8-4 事務処理の正確さ・速さ

	件数	%	前回 %
非常に正確で速い	19	1.8	1.1
正確で速い	383	36.7	27.1
どちらとも言えない	547	52.4	57.8
やや不正確で遅い	53	5.1	9.1
不正確で遅い	13	1.2	2.7
無回答	28	2.7	2.1
合計	1043	100.0	100.0

【問8-4 事務処理の正確さ・速さ】n=1043

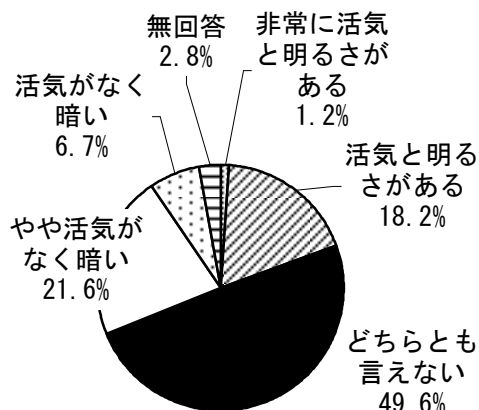


(5) 市役所の活気・明るさ

問8-5 市役所の活気・明るさ

	件数	%	前回 %
非常に活気と明るさがある	12	1.2	0.2
活気と明るさがある	190	18.2	12.4
どちらとも言えない	517	49.6	49.0
やや活気がなく暗い	225	21.6	25.1
活気がなく暗い	70	6.7	11.0
無回答	29	2.8	2.3
合計	1043	100.0	100.0

【問8-5 市役所の活気・明るさ】n=1043



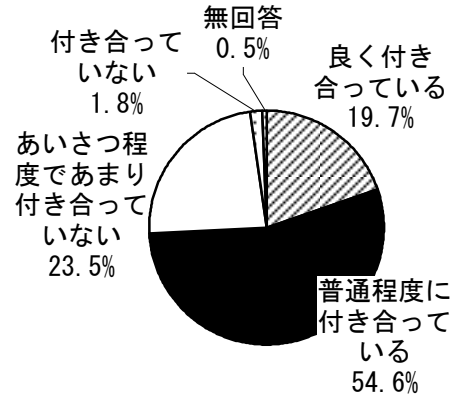
# 3. コミュニティについて

## 3-1 近所付き合い

【問9】あなたとご近所の方との付き合いはどうか。

- 「普通程度に付き合っている」が過半数の54.6%と最も多く、これと「良く付き合っている」19.7%とを合わせ、“近所付き合いがある”が74.3%となっている。
- 「あいさつ程度であまり付き合っていない」23.5%と「付き合っていない」1.8%を合わせ、“近所付き合いがない”は、25.3%となっている。

【問9 近所付き合い】 n=1043



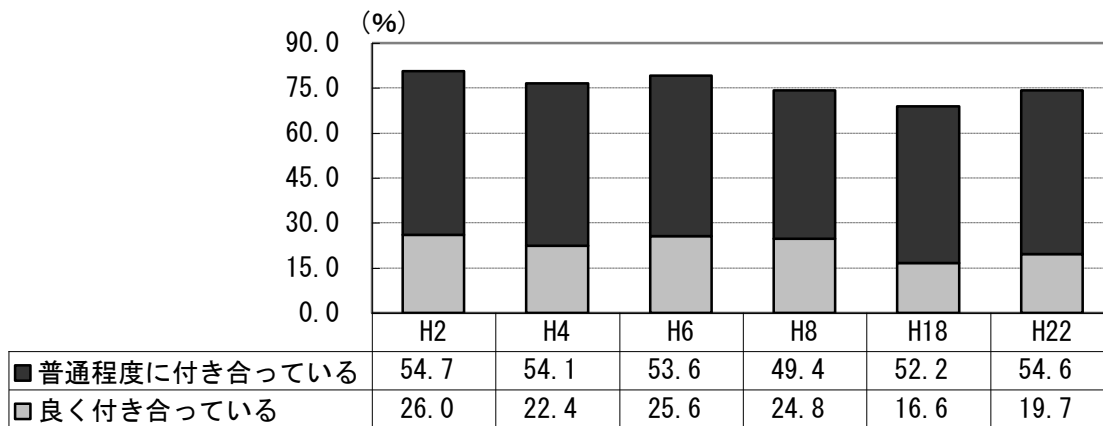
問9 近所付き合い

	件数	%
良く付き合っている	205	19.7
普通程度に付き合っている	569	54.6
あいさつ程度であまり付き合っていない	245	23.5
付き合っていない	19	1.8
無回答	5	0.5
合計	1043	100.0

※ “近所付き合いがある”は「良く付き合っている」と「普通程度に付き合っている」の合計、“近所付き合いがない”は「あいさつ程度であまり付き合っていない」と「付き合っていない」の合計とする。(以下同様)

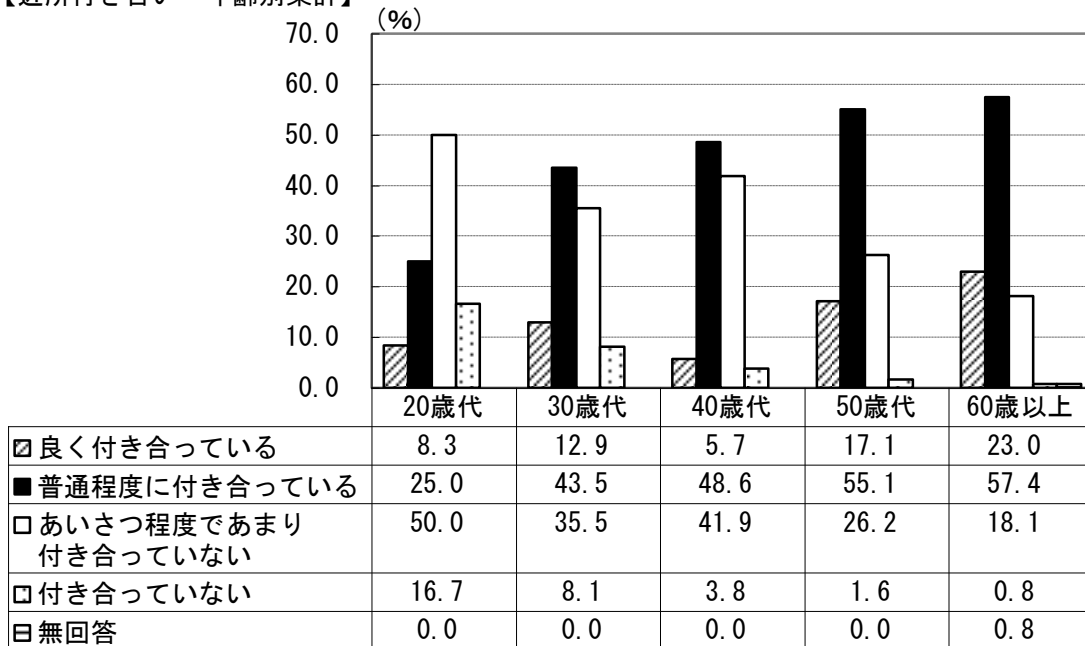
- 過去の調査との時系列集計で“近所付き合いがある”の推移をみると、減少傾向にあったが、今回の調査では、大きく減少した前回調査値よりは高い結果となっている。

【近所付き合い 時系列集計】



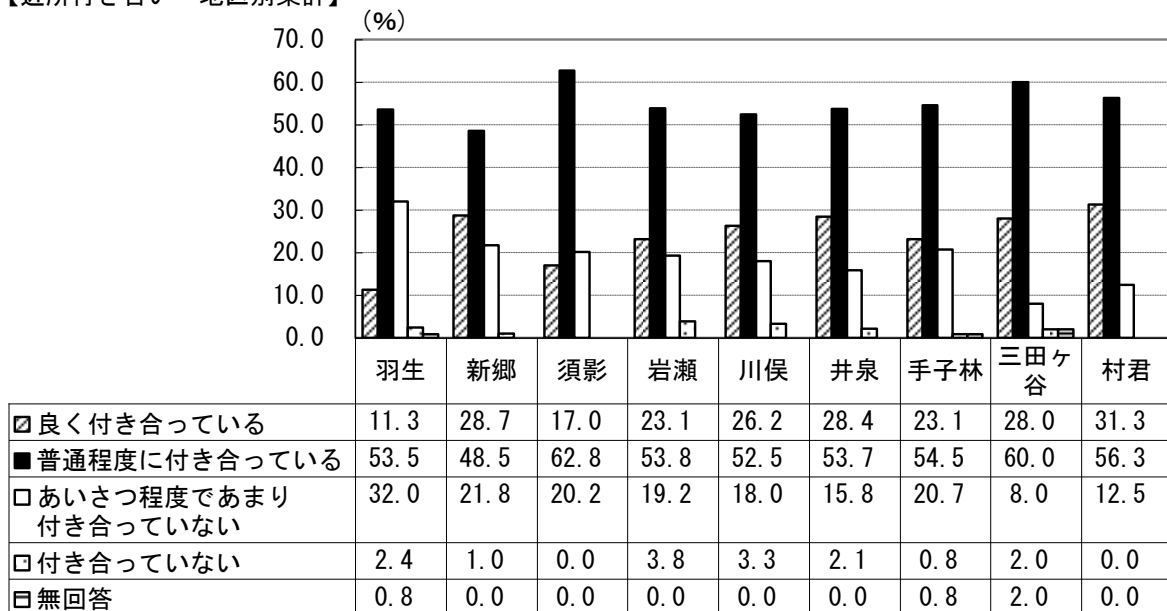
○年齢別にみると年齢が高くなるほど、「普通程度に付き合っている」が増加し、「あいさつ程度であり付き合っていない」「付き合っていない」は減少している。

【近所付き合い 年齢別集計】



○地区別にみると、いずれの地区も「普通程度に付き合っている」が最も高くなっている。また、“羽生地区”“須影地区”では次いで「あいさつ程度であり付き合っていない」が多く、その他の地区では、「良く付き合っている」が多くなっている。

【近所付き合い 地区別集計】

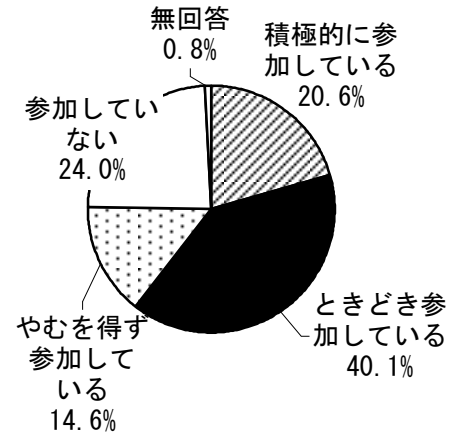


### 3-2 行事への参加

【問10】自治会などの行う会合や行事に参加していますか。

- 「ときどき参加している」が40.1%と最も多く、次いで「参加していない」が24.0%と多くなっている。
- 「積極的に参加している」「ときどき参加している」「やむを得ず参加している」を合わせた“参加している”は、75.3%となっている。

【問10 行事への参加】 n=1043



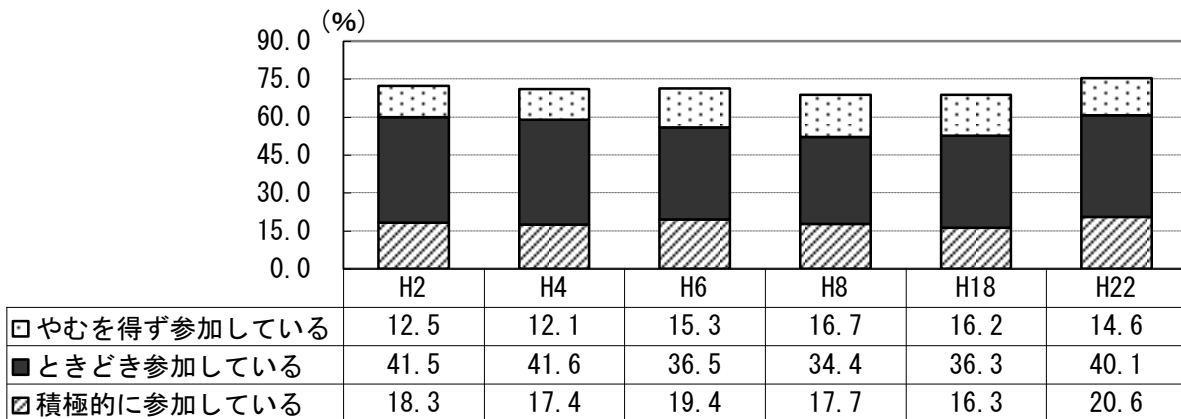
問10 行事への参加

	件数	%
積極的に参加している	215	20.6
ときどき参加している	418	40.1
やむを得ず参加している	152	14.6
参加していない	250	24.0
無回答	8	0.8
合計	1043	100.0

※ “参加している” は「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計とする。(以下同様)

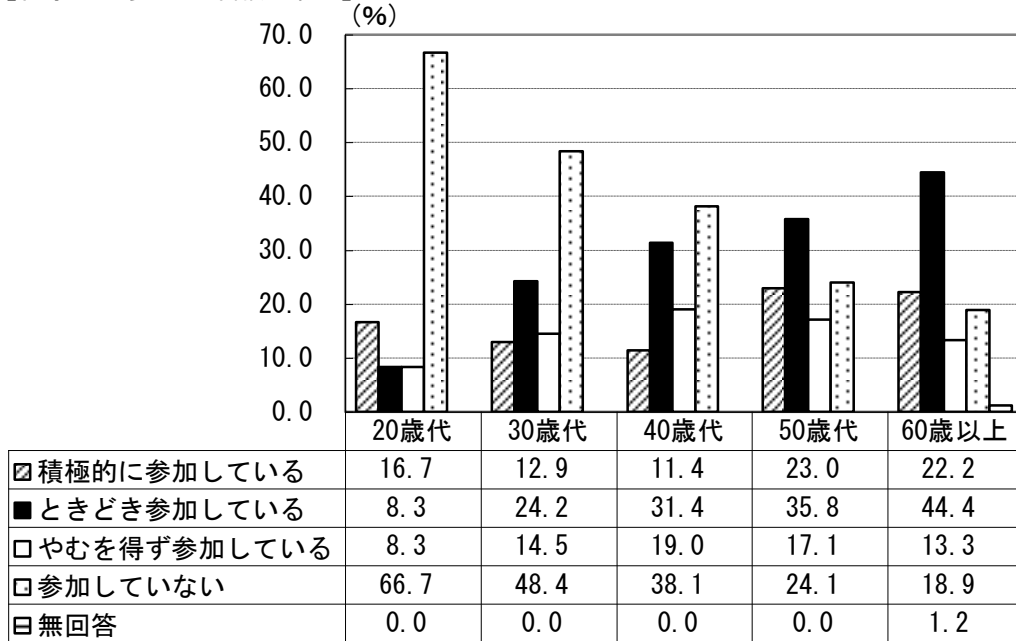
- 過去の調査との時系列集計で“参加している”の推移をみると、減少傾向にあったが、今回の調査では、6回の調査で最も高い結果となっている。
- 減少傾向にあった「ときどき参加している」「積極的に参加している」についても、今回の調査では、増加・回復している。

【行事の参加率 時系列集計】



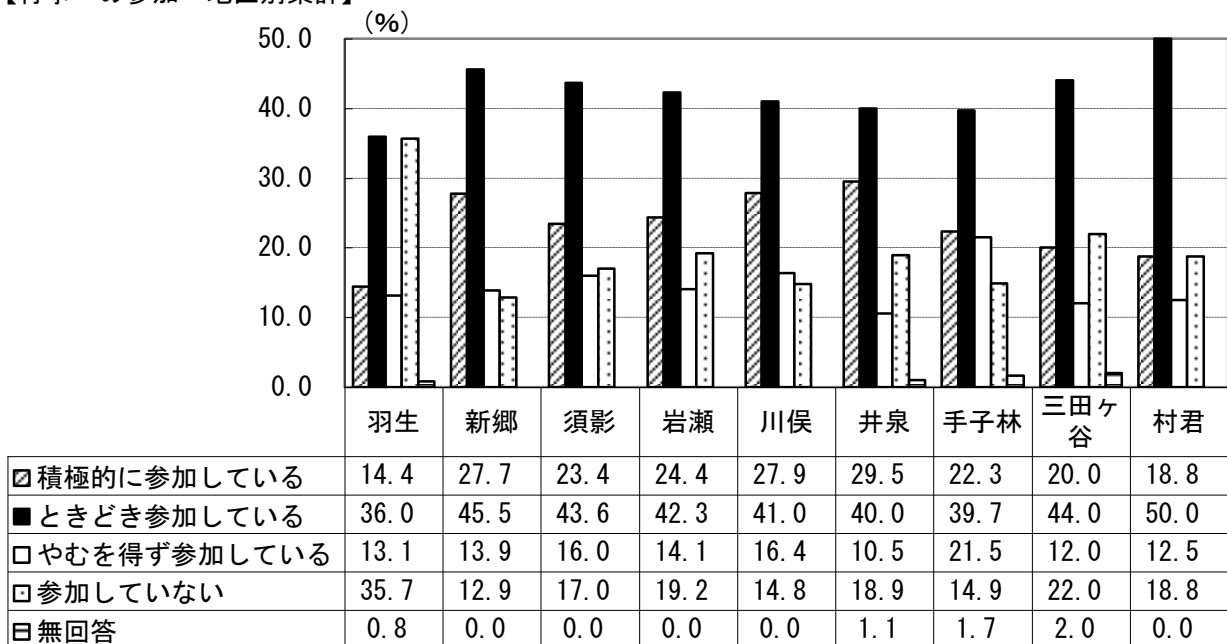
- 年齢別にみると“20歳代”“30歳代”“40歳代”で「参加していない」が最も多く、“50歳代”“60歳以上”では「ときどき参加している」が最も多くなっている。また、「積極的に参加している」は“50歳代”“60歳以上”で多くなっている。
- 「ときどき参加している」は高齢になるにつれ多くなり、「参加していない」は高齢になるにつれ少なくなっている。

【行事への参加 年齢別集計】



- 地区別にみると、いずれの地区も「ときどき参加している」が最も高くなっている。
- また、“羽生地区”“三田ヶ谷地区”“村君地区”では次いで「参加していない」が多く、その他の地区では、「積極的に参加している」が多くなっている。

【行事への参加 地区別集計】



### 3-3 市民モラル

【問11】あなたは、市民モラルについてどのように感じていますか。

- 市民モラルについて、どのように感じているか尋ねたところ、「高齢者や障がい者等への思いやり」で“良い”とする人が一番高い割合となっている。【(1)～(7)表・グラフ (P28-29) 参照】
- さらに、市民モラルについてどのように感じているかを一様に評価するため、各項目の4段階評価を加重平均によって点数化して、プラスとマイナスイメージで表すこととした。

#### 市民モラルに対する印象(イメージ)

例) (1) 市政への信頼度

(「良い」件数×2点+「どちらかといえば良い」件数×1点

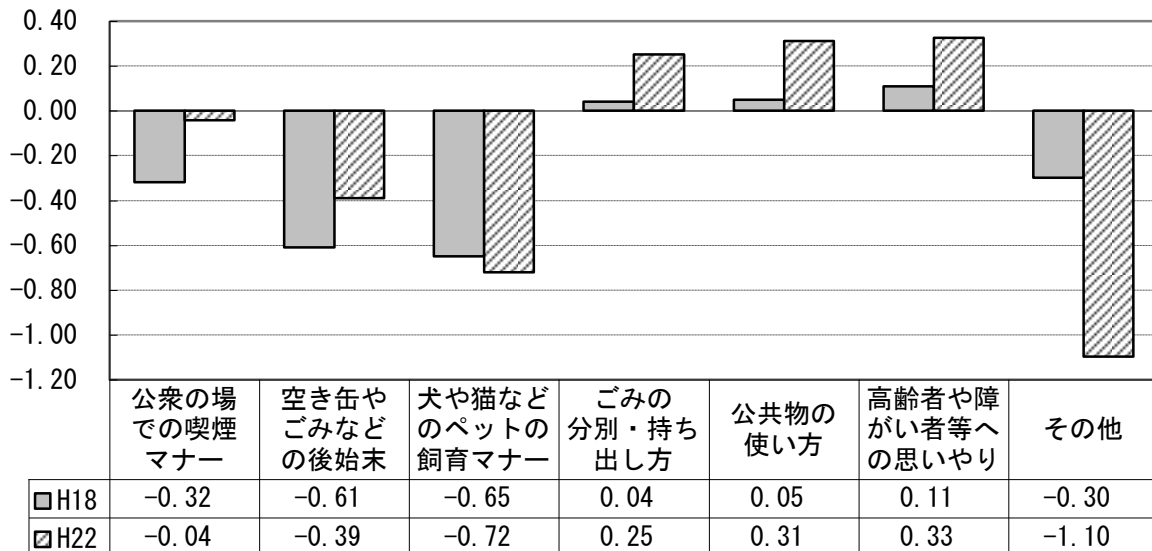
+「どちらかといえば悪い」件数×(-1)点+「悪い」件数×(-2)点)

回答者数-「無回答」件数

=モラルイメージ

- プラスイメージを最も多く持たれているのは「高齢者や障がい者等への思いやり」で、次いで「公共物の使い方」、「ごみの分別・持ち出し方」となっている。
- また、マイナスイメージを最も多く持たれているのは「犬や猫などペットの飼育マナー」で、次いで「空き缶やごみなどの後始末」となっている。
- これを時系列でみると、プラスイメージの項目、マイナスイメージの項目は同様となっている。「犬や猫などのペットの飼育マナー」「その他」はイメージが下がっており、その他の項目についてはイメージが上がっている。

【モラルに対する印象度 時系列別加重平均値】

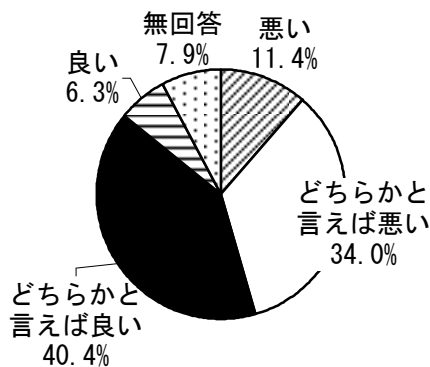


(1) 公衆の場での喫煙マナー

問11-1 公衆の場での喫煙マナー

	件数	%
悪い	119	11.4
どちらかと言えば悪い	355	34.0
どちらかと言えば良い	421	40.4
良い	66	6.3
無回答	82	7.9
合計	1043	100.0

【問11-1 公衆の場での喫煙マナー】 n=1043

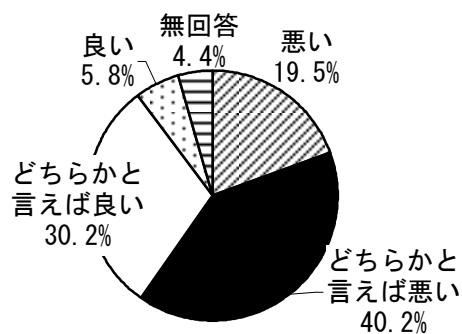


(2) 空き缶やごみなどの後始末

問11-2 空き缶やごみなどの後始末

	件数	%
悪い	203	19.5
どちらかと言えば悪い	419	40.2
どちらかと言えば良い	315	30.2
良い	60	5.8
無回答	46	4.4
合計	1043	100.0

【問11-2 空き缶やごみなどの後始末】 n=1043

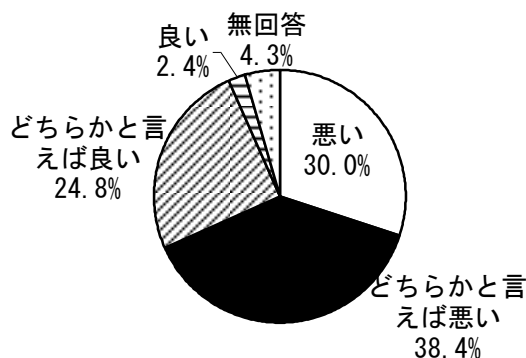


(3) 犬や猫などペットの飼育マナー

問11-3 犬や猫などペットの飼育マナー

	件数	%
悪い	313	30.0
どちらかと言えば悪い	401	38.4
どちらかと言えば良い	259	24.8
良い	25	2.4
無回答	45	4.3
合計	1043	100.0

【問11-3 犬や猫などペットの飼育マナー】 n=1043

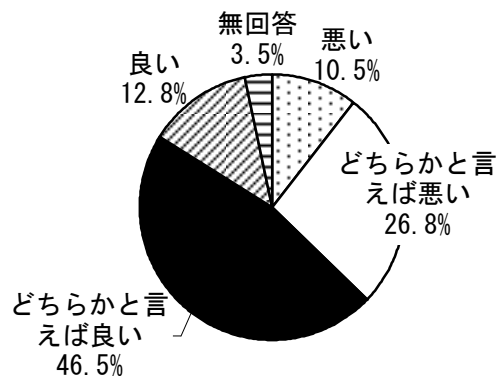


(4) ごみの分別・持ち出し方

問11-4 ごみの分別・持ち出し方

	件数	%
悪い	109	10.5
どちらかと言えば悪い	280	26.8
どちらかと言えば良い	485	46.5
良い	133	12.8
無回答	36	3.5
合計	1043	100.0

【問11-4 ごみの分別・持ち出し方】 n=1043



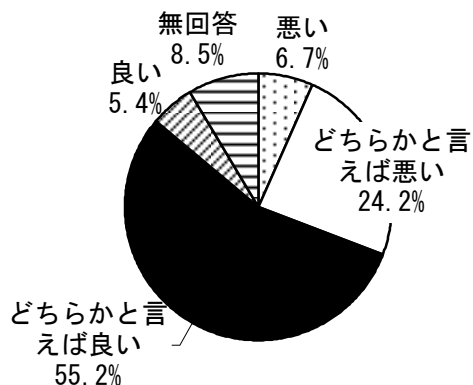


(5) 公共物の使い方

問11-5 公共物の使い方

	件数	%
悪い	70	6.7
どちらかと言えば悪い	252	24.2
どちらかと言えば良い	576	55.2
良い	56	5.4
無回答	89	8.5
合計	1043	100.0

【問11-5 公共物の使い方】 n=1043

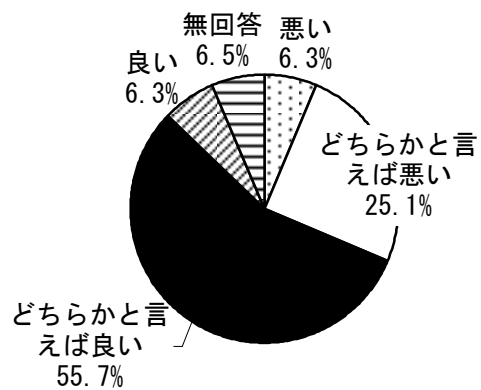


(6) 高齢者や障がい者等への思いやり

問11-6 高齢者や障がい者等への思いやり

	件数	%
悪い	66	6.3
どちらかと言えば悪い	262	25.1
どちらかと言えば良い	581	55.7
良い	66	6.3
無回答	68	6.5
合計	1043	100.0

【問11-6 高齢者や障がい者等への思いやり】 n=1043

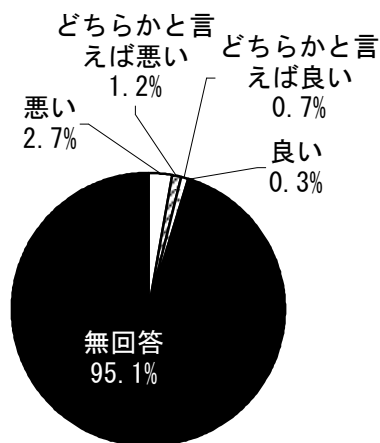


(7) その他

問11-7 その他

	件数	%
悪い	28	2.7
どちらかと言えば悪い	13	1.2
どちらかと言えば良い	7	0.7
良い	3	0.3
無回答	992	95.1
合計	1043	100.0

【問11-7 その他】 n=1043

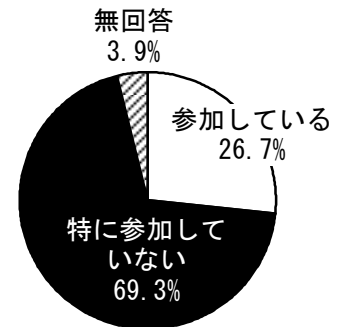


### 3-4 ボランティア活動/理由

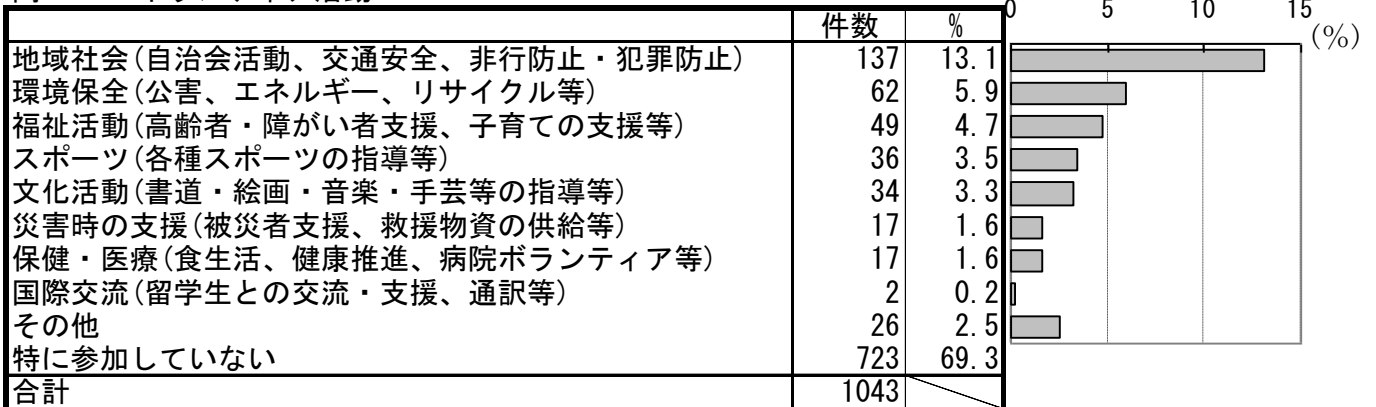
【問12】あなたは、現在どのようなボランティア活動に参加していますか。【複数回答】

- ボランティア活動について、「特に参加していない」が最も多く69.3%と過半数を占めている。
- ボランティア活動の内容については、「地域社会（自治会活動、交通安全、非行防止・犯罪防止）」が最も多く13.1%、次いで「環境保全（公害、エネルギー、リサイクル等）」が5.9%、「福祉活動（高齢者・障がい者支援、子育ての支援等）」4.7%と多くなっている。

【問12 ボランティア参加】n=1043



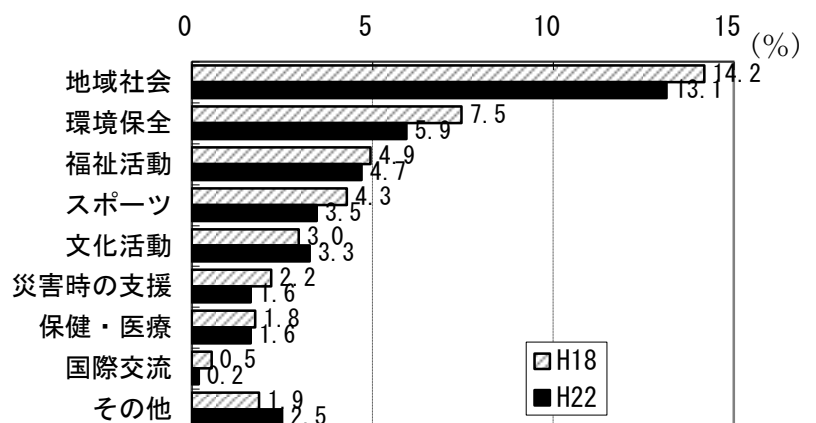
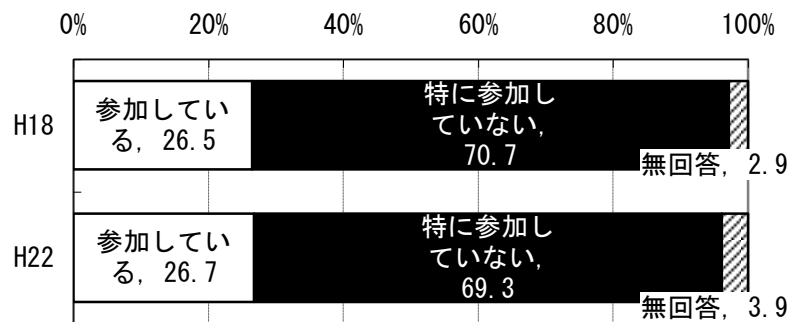
問12 ボランティア活動



- 「特に参加していない」方の参加しない理由は、「時間的余裕がないため」が最も多く、次いで「精神的余裕がないため」「身近に活動できる場所がないため」が多くなっている。【問12-a参照】

- これを時系列でみると、「特に参加していない」が若干減少し、参加している方の割合が微増している。活動の内容については「地域社会」が最も多く、その内容・割合ともほぼ同様の結果となっている。

- 参加していない理由については、前回調査においても「時間的余裕がないため」が最も多くなっているが、前は過半数を占めていたのに対し、今回調査では36.7%にとどまっております、理由が分散している。



- 年齢別にみると、いずれの年代も「特に参加していない」が最も多くなっている。年齢が高くなるほど参加割合が増加する傾向にあるが、30歳代は前後の年代と比較して参加割合が高い結果となっている。また、年齢が高くなるほど、複数の活動に参加している方が多くなっている。
- 参加内容では、20歳代では「スポーツ」で、その他の年代では「地域社会」が最も多くなっている。

【ボランティア活動 年齢別集計】 (単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
地域社会	0.0	11.3	8.6	11.8	14.8
環境保全	0.0	3.2	2.9	8.0	6.0
福祉活動	0.0	3.2	5.7	3.2	5.0
スポーツ	16.7	8.1	3.8	3.2	3.0
文化活動	0.0	3.2	0.0	2.7	3.9
災害時の支援	0.0	0.0	2.9	1.6	1.7
保健・医療	0.0	3.2	0.0	1.1	2.0
国際交流	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2
その他	0.0	3.2	1.0	0.5	3.2
特に参加していない	83.3	69.4	81.0	73.3	66.3

- 地区別にみると、いずれの地区も「特に参加していない」が最も多くなっている。“須影地区”“岩瀬地区”“井泉地区”“三田ヶ谷地区”は、全体平均の69.3%に比べ、「特に参加していない」割合が低くなっている。
- 参加しているボランティア活動内容は、いずれの地区も「地域社会」が最も多くなっている。また“村君地区”は同率で「文化活動」「保健・医療」が多くなっている。
- “羽生地区”“新郷地区”“川俣地区”“手子林地区”“三田ヶ谷地区”では次いで「環境保全」が、“須影地区”では「福祉活動」、 “岩瀬地区”では「文化活動」が多くなっている。

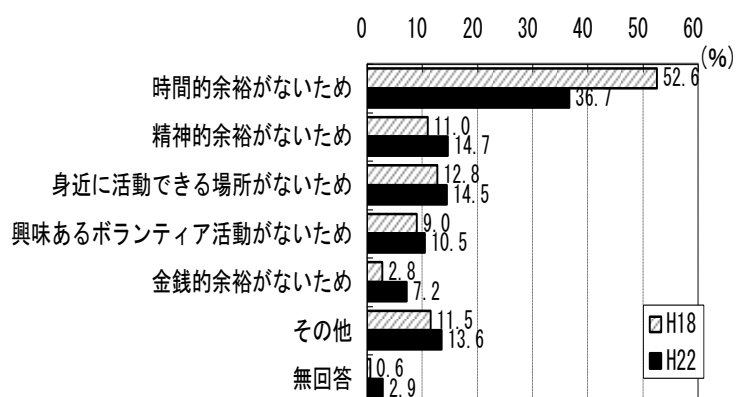
【ボランティア活動 地区別集計】 (単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
地域社会	10.8	13.9	14.9	12.8	19.7	14.7	17.4	8.0	6.3
環境保全	6.6	7.9	2.1	3.8	9.8	5.3	5.8	6.0	3.1
福祉活動	5.8	4.0	6.4	3.8	4.9	5.3	2.5	4.0	0.0
スポーツ	4.5	0.0	4.3	3.8	1.6	5.3	4.1	2.0	0.0
文化活動	3.7	2.0	4.3	7.7	1.6	1.1	2.5	2.0	6.3
災害時の支援	1.6	3.0	1.1	0.0	0.0	2.1	2.5	2.0	3.1
保健・医療	1.8	3.0	0.0	1.3	0.0	1.1	0.0	4.0	6.3
国際交流	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
その他	1.6	3.0	3.2	2.6	1.6	6.3	1.7	6.0	0.0
特に参加していない	71.7	69.3	64.9	69.2	70.5	63.2	71.1	66.0	75.0

【問 12-a】 問 12 で特に参加していない(10)を選んだ方にお伺いします。ボランティア活動に参加していない理由は何ですか。

問12-a ボランティア活動に参加しない理由

	件数	%
時間的余裕がないため	265	36.7
精神的余裕がないため	106	14.7
身近に活動できる場所がないため	105	14.5
興味あるボランティア活動がないため	76	10.5
金銭的余裕がないため	52	7.2
その他	98	13.6
無回答	21	2.9
合計	723	100.0

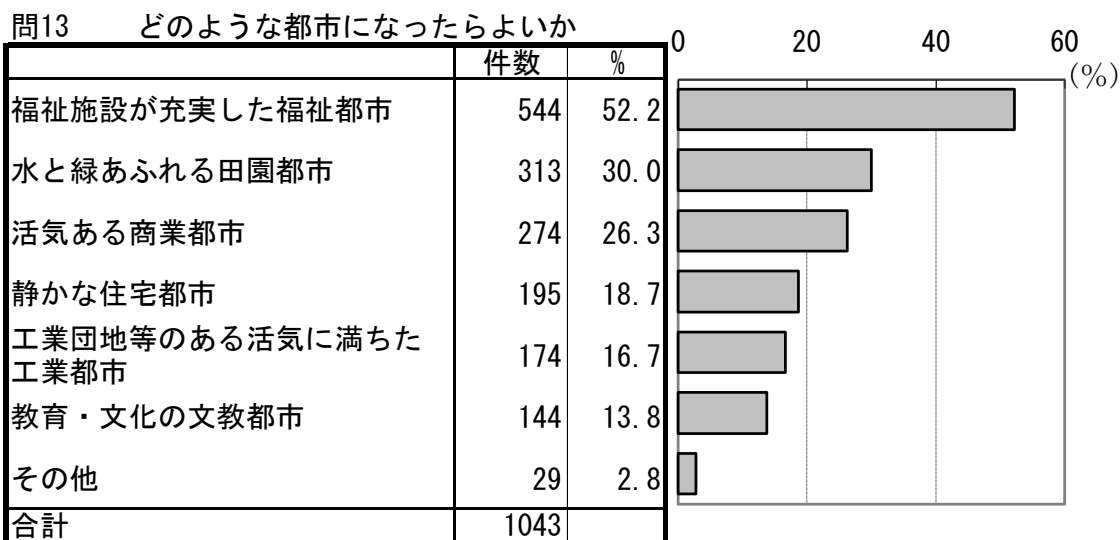


## 4. 羽生市の将来像について

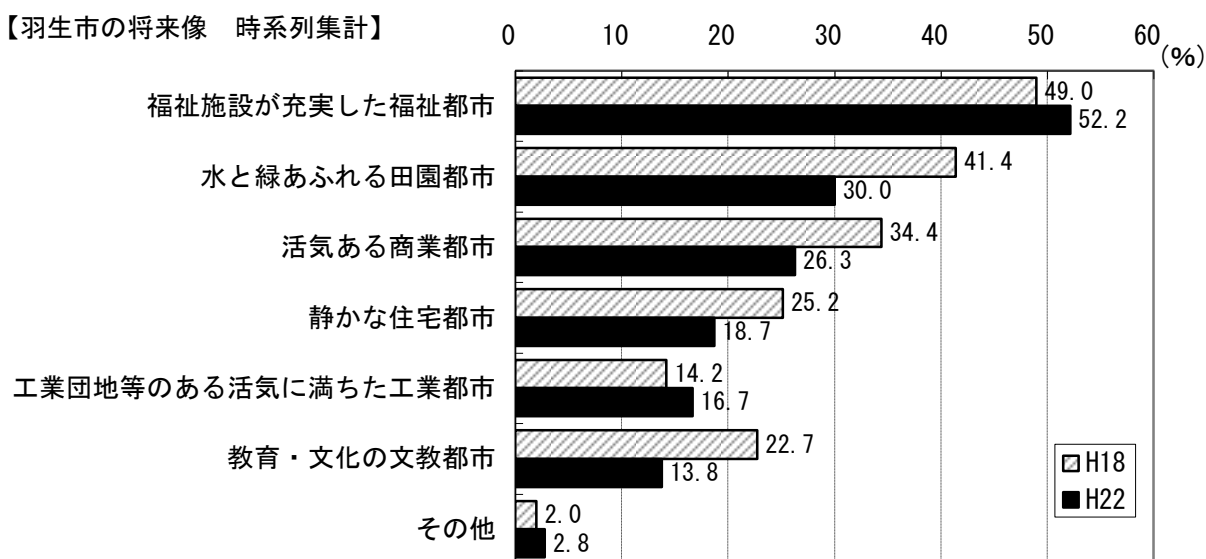
### 4-1 羽生市の将来像

【問13】あなたは、将来羽生市がどのような都市になったらいいとお考えですか。【複数回答】

- 「福祉施設が充実した福祉都市」が最も多く52.2%となっており、過半数の方が将来像としてあげている。次いで「水と緑あふれる田園都市」30.0%、「活気あふれる商業都市」26.3%と多くなっている。



- これを時系列でみると、順位については概ね同様の結果となっているが、下位の「工業団地等のある活気に満ちた工業都市」と「教育・文化の文教都市」の順位が入れ替わっている。
- 「福祉施設が充実した福祉都市」「工業団地等のある活気に満ちた工業都市」は前回調査を上回り、その他の項目については割合が低くなっている。



- 年齢別にみると、“20歳代”を除く年代で「福祉施設が充実した福祉都市」が最も多くなっている。
- “20歳代”“30歳代”では「水と緑あふれる田園都市」が多く、“50歳代”“60歳代”でも上位項目となっている。また、“20歳代”“40歳代”では「活気ある商業都市」が上位項目となっている。

【羽生市の将来像 年齢別集計】 (単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
福祉施設が充実した福祉都市	16.7	33.9	48.6	48.7	56.2
水と緑あふれる田園都市	58.3	33.9	25.7	28.9	29.8
活気ある商業都市	33.3	30.6	32.4	27.3	24.6
静かな住宅都市	16.7	21.0	26.7	21.4	16.9
工業団地等のある活気に満ちた工業都市	8.3	19.4	12.4	17.1	17.1
教育・文化の文教都市	25.0	19.4	12.4	15.0	13.1
その他	0.0	1.6	4.8	3.2	2.4

- 地区別にみると、全ての年代で「福祉施設が充実した福祉都市」が最も多くなっている。
- 次いで“羽生地区”“川俣地区”では「活気ある商業都市」が多く、その他の地区では「水と緑あふれる田園都市」が上位項目となっている。

【羽生市の将来像 地区別集計】 (単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
福祉施設が充実した福祉都市	56.7	55.4	52.1	50.0	55.7	46.3	49.6	40.0	37.5
水と緑あふれる田園都市	24.7	33.7	33.0	32.1	31.1	34.7	32.2	38.0	28.1
活気ある商業都市	28.1	26.7	16.0	20.5	32.8	29.5	24.8	32.0	25.0
静かな住宅都市	21.5	18.8	18.1	23.1	11.5	15.8	21.5	8.0	12.5
工業団地等のある活気に満ちた工業都市	16.3	10.9	12.8	19.2	13.1	26.3	9.1	34.0	31.3
教育・文化の文教都市	14.4	11.9	17.0	14.1	21.3	7.4	14.0	10.0	15.6
その他	2.1	2.0	3.2	2.6	1.6	0.0	6.6	2.0	3.1

## 4-2 将来の人口

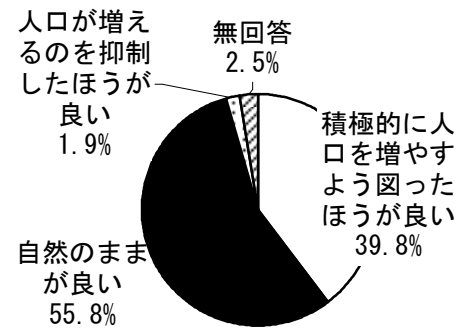
【問14】現在、羽生市の人口は57,088人(平成22年10月1日現在)ですが、あなたは羽生市の将来人口について、どうなったら良いとお考えですか。

○「自然のままが良い」が最も多く55.8%と過半数を占めている。次いで「積極的に人口を増やすよう図った方が良い」が39.8%と多くなっている。「人口が増えるのを抑制したほうが良い」は1.9%にとどまっている。

問14 将来の人口

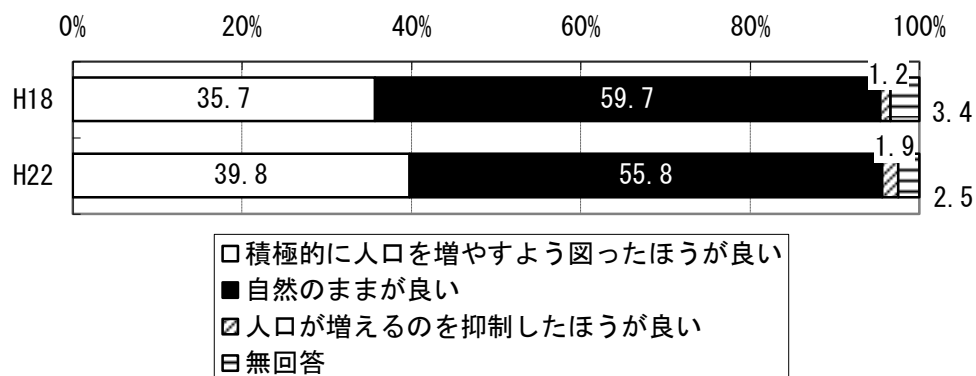
	件数	%
積極的に人口を増やすよう図ったほうが良い	415	39.8
自然のままが良い	582	55.8
人口が増えるのを抑制したほうが良い	20	1.9
無回答	26	2.5
合計	1043	100.0

【問14 将来人口】n=1043



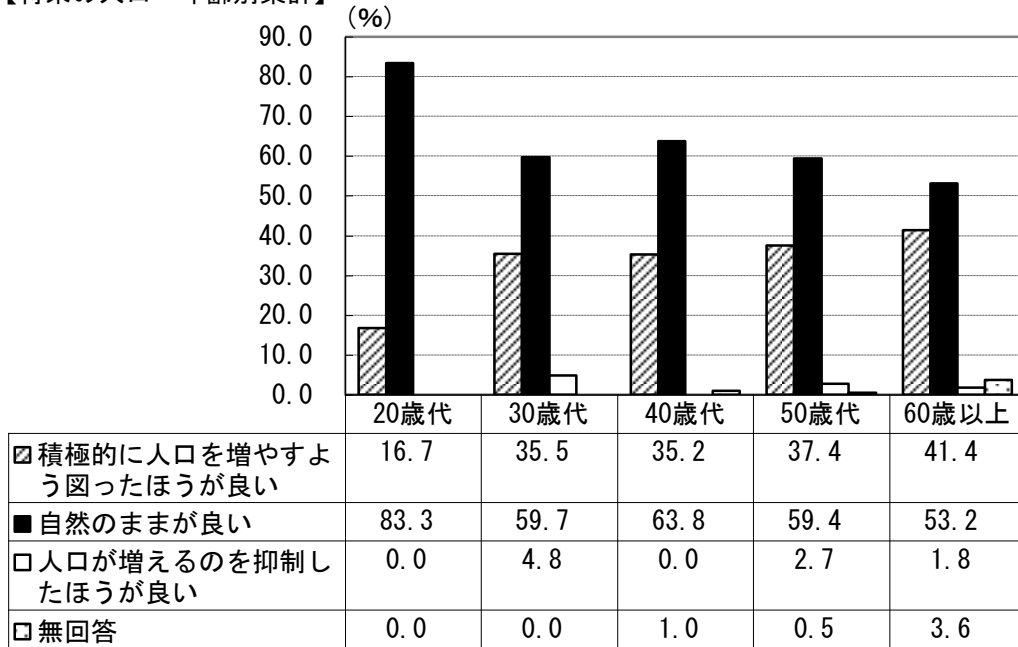
○時系列でみると、「自然のままが良い」が減少し、「積極的に人口を増やすよう図ったほうが良い」が増加している。

【将来の人口 時系列集計】



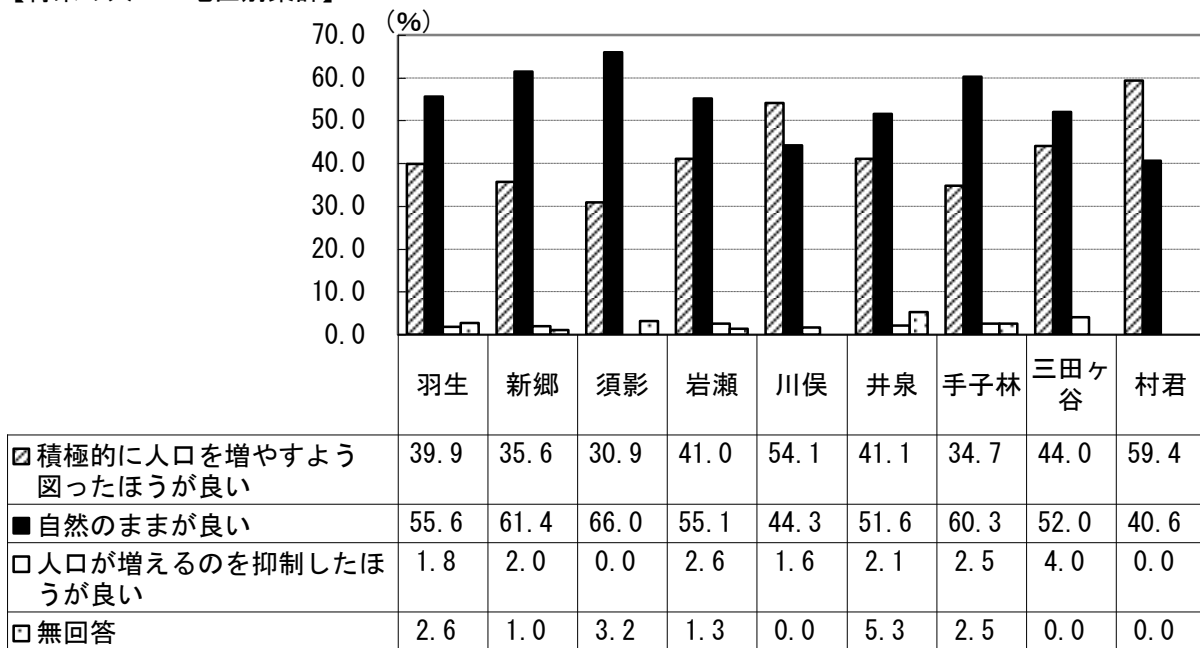
- 年齢別にみると、いずれの年代も「自然のままが良い」が最も多く、次いで「積極的に人口を増やすよう図った方が良い」が多くなっている。
- 年齢が高くなるにつれ「自然のままが良い」の割合が減り、「積極的に人口を増やすよう図った方が良い」の割合が増加する傾向にある。ただし、“40歳代”については、前後の年代に比べ「自然のままが良い」の割合が高く、また「積極的に人口を増やすよう図った方が良い」は低くなっている。

【将来の人口 年齢別集計】



- 地区別にみると、“川俣地区”“村君地区”で「積極的に人口を増やすよう図った方が良い」が最も多く、その他の地区では「自然のままが良い」が最も多くなっている。
- “三田ヶ谷地区”は、他地区に比べ「人口が増えるのを抑制した方が良い」の割合が高くなっている。

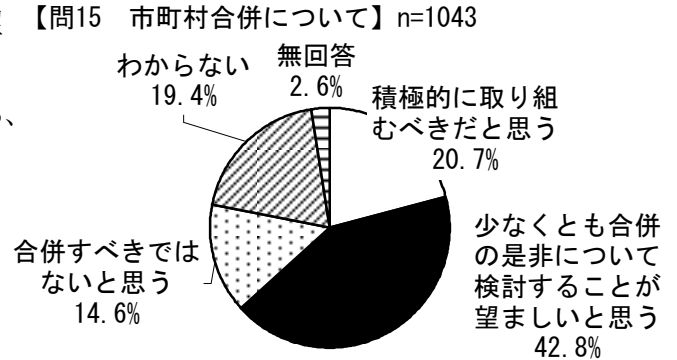
【将来の人口 地区別集計】



### 4-3 市町村合併

【問15】あなたは市町村合併についてどのように思いますか。

○「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」が最も多く 42.8%となっている。次いで「積極的に取り組むべきだと思う」が20.7%、「わからない」が19.4%、「合併すべきではないと思う」が14.6%となっている。

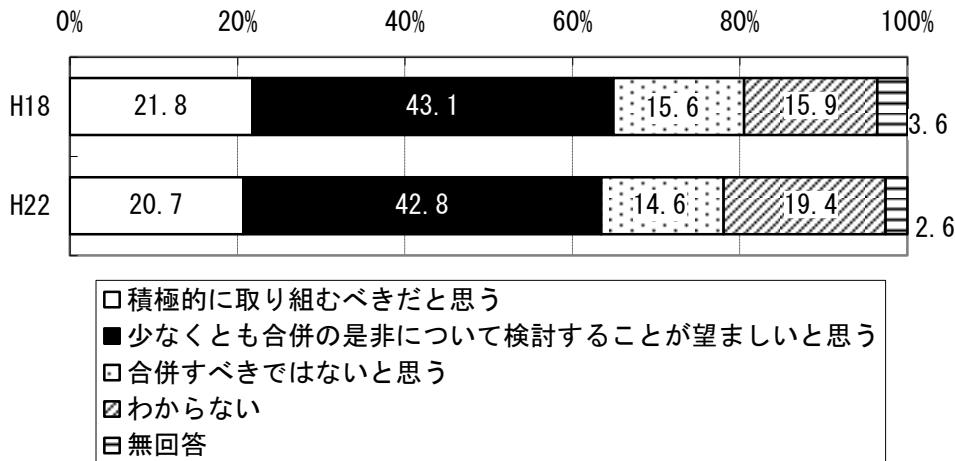


問15 市町村合併について

	件数	%
積極的に取り組むべきだと思う	216	20.7
少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う	446	42.8
合併すべきではないと思う	152	14.6
わからない	202	19.4
無回答	27	2.6
合計	1043	100.0

○時系列でみると、概ね前回調査と同様の結果となっている。「わからない」の割合が増加している。

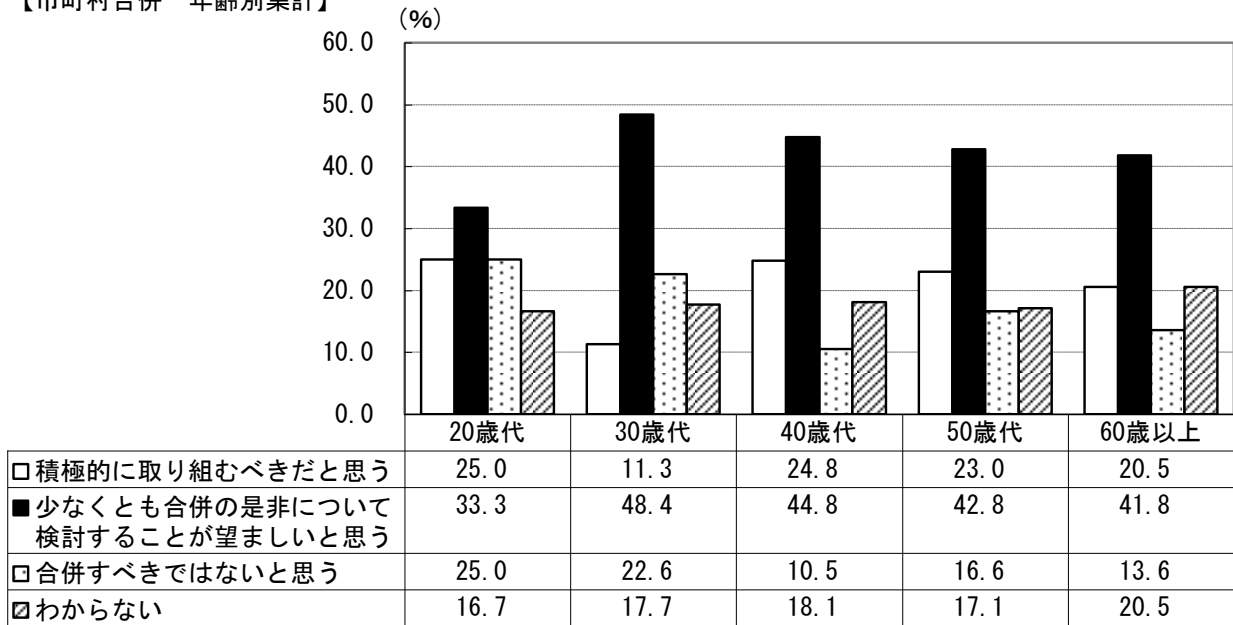
【市町村合併 時系列集計】





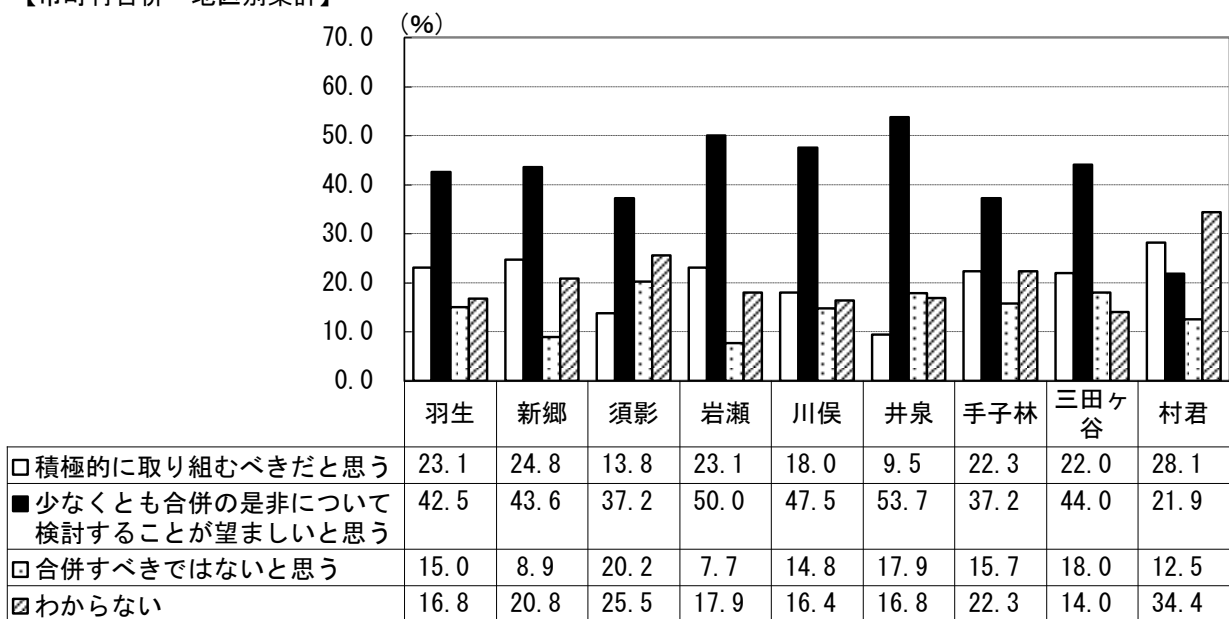
- 年齢別にみると、いずれの年代も「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」が最も多くなっているが、“20歳代”では他の年代に比べ割合が低くなっている。
- “20歳代”“30歳代”では、「合併すべきではない」が多くなっている。
- 「積極的に取り組むべきだと思う」は30歳代で割合が低く、その他の世代では20%を上回る結果となっている。

【市町村合併 年齢別集計】



- 地区別にみると、“村君地区”では「分からない」「積極的に取り組むべきだと思う」が多く、その他の地区では「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」が最も多くなっている。
- 「積極的に取り組むべきだと思う」は、“村君地区”“新郷地区”“羽生地区・岩瀬地区”の順で多く、「合併すべきではないと思う」は“須影地区”“三田ヶ谷地区”“井泉地区”の順で多くなっている。

【市町村合併 地区別集計】



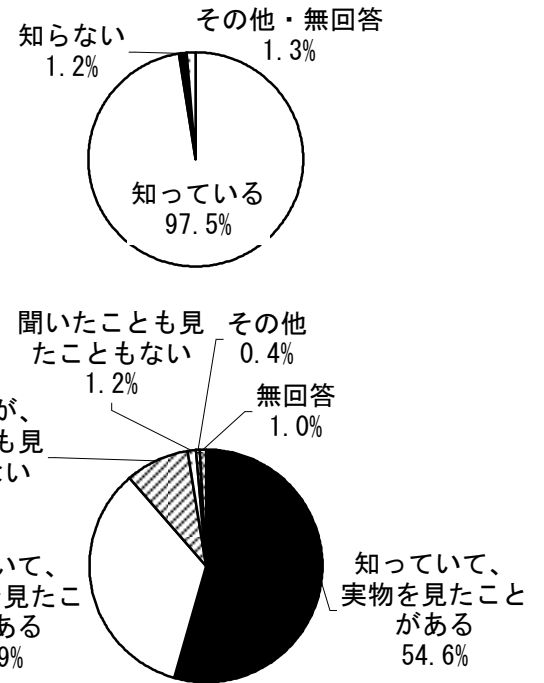
# 5. 市の特徴

## 5-1 ムジナモの認知

【問16】あなたは、食虫植物「ムジナモ」を知っていますか、また見たことはありますか。

- ムジナモについて何らかの情報を“知っている”方が97.5%を占めており、非常に高い認知度となっている。
- 詳細の内訳については、「知っている、実物を見たことがある」が過半数の54.6%を占め、次いで「知っている、写真等で見たことがある」が33.9%となっている。

【問16 ムジナモの認知】n=1043



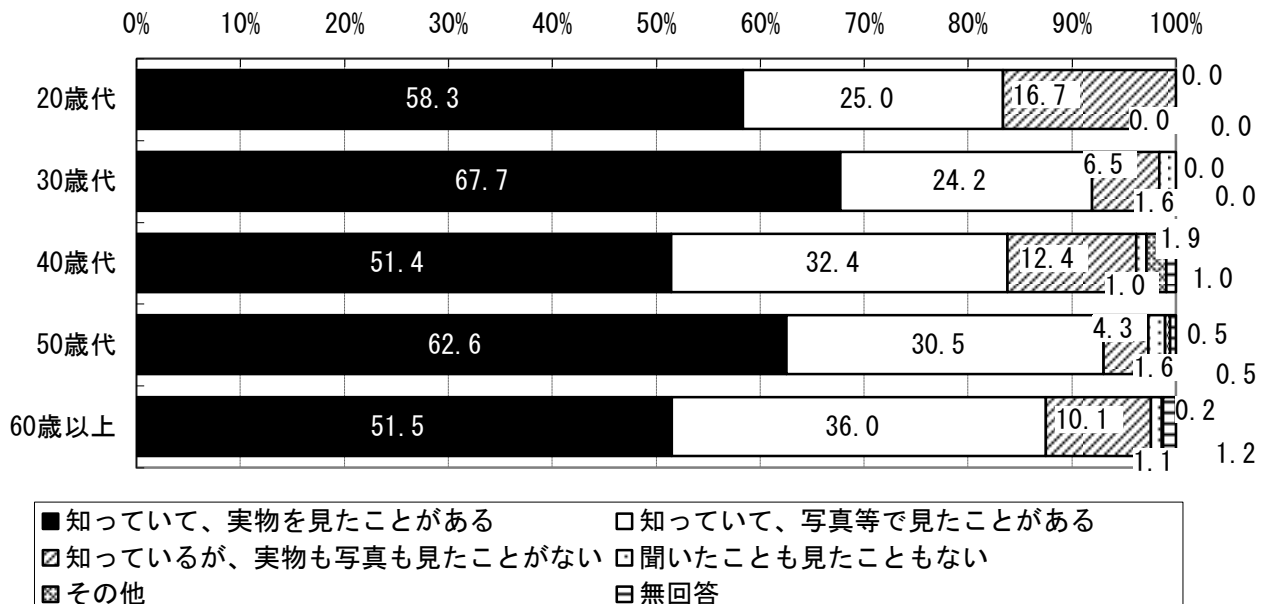
問16 食虫植物「ムジナモ」の認知

	件数	%
知っている、 実物を見たことがある	569	54.6
知っている、 写真等で見たことがある	354	33.9
知っているが、 実物も写真も見なかった	94	9.0
聞いたことも見たこともない	12	1.2
その他	4	0.4
無回答	10	1.0
合計	1043	100.0

※ “知っている”は「知っている、実物を見たことがある」「知っている、写真等で見たことがある」「知っているが、実物も写真も見なかった」の合計とする。(以下同様)

- 年代別にみると、いずれの年代も96%以上の方が“知っている”を占め、非常に高い認知度となっている。また各年代で過半数の方が「知っている、実物を見たことがある」となっている。
- 若い世代の方がより認知度が高くなっているが、“20歳代”“40歳代”では、「知っているが、実物も写真も見なかった」割合が他の年代に比べ高くなっている。

【ムジナモの認知 年齢別集計】



## 5-2 好きな場所・景色

【問 17】羽生市の中で好きな場所や景色について記入してください。【自由記入】

○478人（45.8%）の方の記入があった。

○大きく分類すると「自然系」303件、「都市・にぎわい系」112件、「眺望系」45件、「歴史文化系」11件、「特にない・好きな場所ない」が7件となっている。

○最も多くあげられた場所は「利根川」で、次いで「水郷公園」「イオンモール」となっている。

○また「利根川」については、“堤防から街側をみる”“堤防から山々をみる”“川・流れそのもの”“河川敷・堤防・土手”等、同じ場所でも多様な眺めがあげられている。

### 【好きな場所・景色 自然系の景観】

主な場所	件数	内容	好きな理由等
利根川	153	堤防から街側を	街が見渡せる・田んぼで季節を感じられる
		堤防から山々を	山々が見渡せる・富士山その他の山々が望める・自然が美しいと思える・川の流れとともに広々とした景色・自然に包まれている感がある・堤から見る富士山・くれなずむ頃の色合い、赤富士の眺め
		川・流れそのもの	川の流れ・雄大な自然・のどか・気持ちがなごむ・自然の流れに心休まる・昭和橋と利根大堰に沈む夕日・水は気持を落ち着かせる・変わらない景色に懐かしさを感じる
		河川敷・堤防・土手	サイクリングやウォーキングに良い・散歩をする多くの人と自然を感じる・四季の変化・田山花袋の田舎教師に出てくる・自然が感じられる・心を癒す・子どもの頃の思い出・体育の授業の思い出・釣り、サイクリング、スポーツができる自然・朝と夕方（冬季）すすきの揺れる眺め・夕日が美しい・楽器の練習やバーベキューなどに利用の思い出・春の菜の花・自然が満喫・見晴し良い・シラサギがいる光景が素晴らしい
水郷公園	76	そのもの	癒される・散歩するのに丁度よい・広々としている・安全に楽しく遊べる・四季を感じる・緑が多い・子どもの頃からの思い出・自然が豊か・心休まる・水と緑の組み合わせがよい・静かで落ち着く
		周辺の眺め	田んぼの頃の思い出・故郷を感じる
葛西用水	26	桜並木	満開のとき・子どもの通学姿を思い出す・春を感じる
		散歩道	散歩が安心してできる・やすらぎ・川の流れ・山並み含め絵画のようで感動する・生まれ育った場所・季節感がある
スカイスポーツ公園	15	-	緑が多い・日の出・子どもが楽しそうに遊ぶ眺め・自然の雄大さを感じる・利根川やグライダーの飛行を近くで見ることが出来る・富士山が良く見える
中央公園	8	-	公園の四季・広々としている・子どもと遊べるから・若い人や散歩の人との交流・緑が多い
田園	8	田、農道、手子林、三田ヶ谷	季節を感じる・気が休まるから・東京から帰ってきて田園を見るとホッとする
公園	6	-	高い木を見るのが好き・子どもも大人も楽しめる・遊んだ思い出・心が落ち着く・静か
コスモス畑	3	三田ヶ谷	花が沢山・広々としていて気持が良い・毎年楽しみ
ムジナモ自生地	2	-	昔からの自然の姿が感動する
勘兵衛松	2	-	大名の松が良い
その他の自然	4	豊かな自然・小さな自然	桜の開化時期が好き・自分のふるさと・公表して荒らされることが心配なため秘密・水と緑がある

【好きな場所・景色 都市・にぎわい系の景観】

主な場所	件数	内容	好きな理由等
イオンモール	45	施設そのもの	明るい・賑わい・都会の雰囲気・楽しい・若い人で活気がある・建物構造がよい
		周辺の眺め	富士山や秩父の山などがきれいに見える・山が一望できる・田んぼの眺めが落ち着く
キャッセ羽生	16		心休まる・子どもの遊ぶ姿が見られる・きれい・催し物でにぎわう・動植物がみられる・緑が感じられる・自然がいっぱい・落ち着く
道の駅	14	施設そのもの	きれいだから
		周辺の眺め	遠くに見える山々の景色・利根川の風の気持ち良さ・天気と時間帯により移りかわる山々の姿・利根川及び昭和橋の眺め
さいたま水族館	12	施設そのもの	公園も散歩できる・癒される・駐車場も広くて空気がすんでいる感じがする・孫を遊ばせた思い出
		周辺の眺め	広々としていて気持ち良い・秋のすすきと夕やけがすてき・絵を描いたり写真をとったりしてもきれい
羽生駅	8	施設そのもの	近代的・きれい・都会とのつながりを感じる
		周辺の眺め	線路がどこまでも続く・富士山・山々が見える
工業団地	2	小松台工業団地	池もあって気持ちが落ちつく
		大沼工業団地	冬の寒い日の夕方と富士山
図書館	6		建物の雰囲気がゆったりとしている・緑に囲まれている・落ち着いて静か
施設	8		体育館、産業文化ホール、公民館、華の湯、羽生湯ったり苑
散歩道	1	群馬との境	犬（動物）の散歩等に最適

【好きな場所・景色 眺望系の景観】

主な場所	件数	内容	好きな理由等
昭和橋からの	14	山並み	心が広がる思い・気持ちが晴ればれする・冬の晴れた日の浅間山、赤城山、日光の山が美しい・夕日の沈む山々
		水辺・水面	川面にうつる夕日・利根川の雄大な流れ・見晴らしが良い・土手から見える朝日
		その他	初日の出がすばらしい・南には富士、下には雄大な利根川、東には鉄橋、北は日光連山・朝焼け・夕焼け
山の眺望	10	四方の山並み	富士山、秩父連山、群馬や栃木の山、筑波山がみえる・景色としては最高・心が洗われる・日の出・町の中の生活から開放される気分・心が和む・元気が出てくる
自宅からの	7	-	山並みがきれいに見える、オオタカが飛ぶのが見える
陸橋からの	8	羽生高等学校前	朝の出勤時の富士山・富士山がきれいに見える・山々と桜の眺め
		東武鉄道	夕日が陸橋の西にしずむ様子は心が和む・冬の富士山が素晴らしい
夜空の	2	-	自宅(須影地区)からの夜空がきれい、星がきれい
その他の	4	川俣のメガネ橋	子どもときの思い出
		上岩瀬の牧場	田畑の広がりや薬師様の森が昔からの変わらぬ風景
		市民プラザの駐車場	地元にはない山並みが見えて気分が良い
		羽生ふじ高等学園周辺	富士山が見える。秩父連山は西側前方を面望むと冬は特にすばらしい

【好きな場所・景色 歴史・文化系の景観】

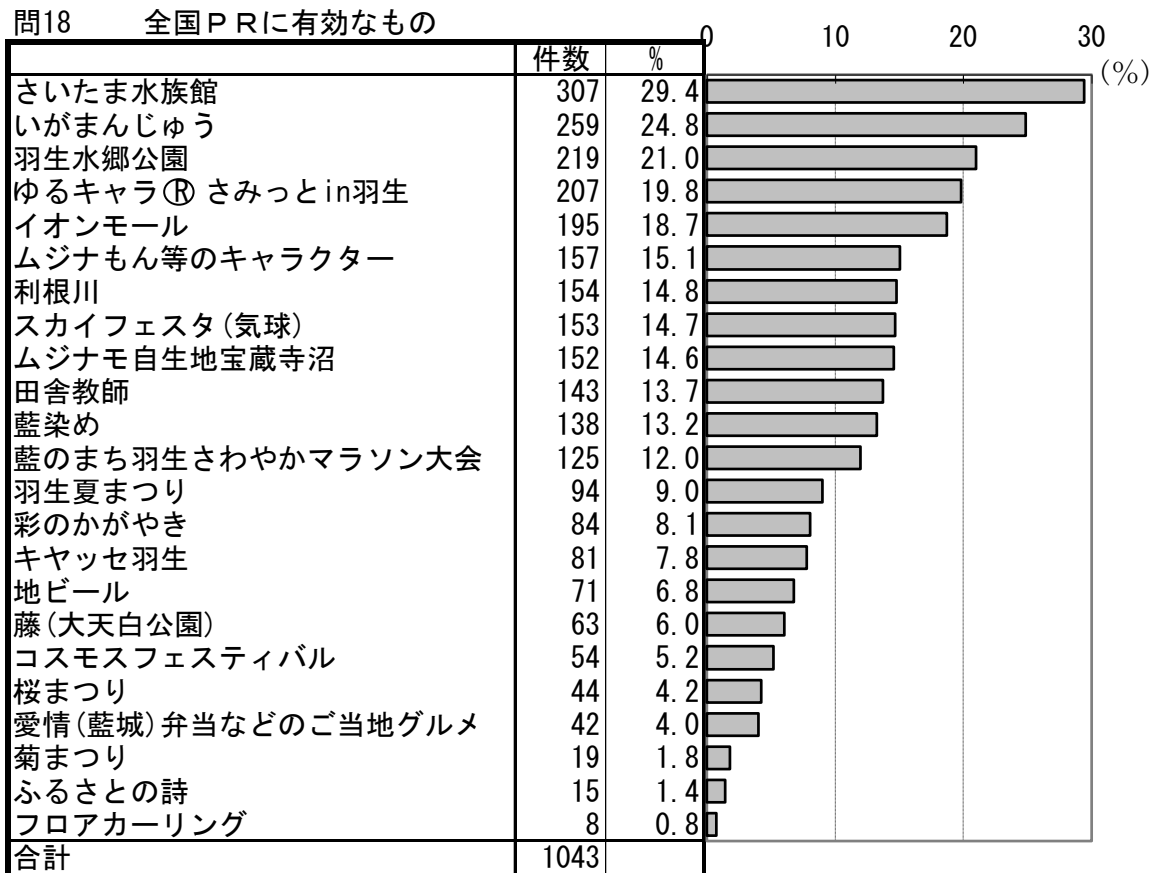
主な場所	件数	内容	好きな理由等
大天白神社	9	公園・神社	あたたかな集いの場所・昔から変わらずそこにあるという安心感・子どもの頃遊んだ思い出の場所
羽生城址	1		思い出がある
小松神社	1		生まれ育ったところ・初詣の思い出

### 5-3 全国PRに有効なもの

【問 18】 下表に記す地場産品、施設、イベントについて、羽生市を全国にPRするために有効だと思うものはどれですか。【複数回答】

○選択が分散し、いずれも30%未満となっている。最も多いのは「さいたま水族館」で29.4%、次いで「いがまんじゅう」24.8%、「羽生水郷公園」21.0%、「ゆるキャラ<sup>®</sup> さみっと in 羽生」19.8%、「イオンモール」18.7%となっている。

○上位項目をみると、施設名所、イベント、名物、キャラクター等、多様な分野のものが選ばれている。



○年代別にみると“60歳以上”では「さいたま水族館」が最も多くなっているが、それ以外の世代では「いがまんじゅう」が最も多くなっている。

○年代別の上位5項目についてみると、全体平均での上位6項目に含まれるものが多いが、“20歳代”では「藍染め」「地ビール」が、“60歳以上”では「利根川」が上位に入っている。また「羽生水郷公園」は年齢の高い代で上位に入っているのに対し、若い世代では低く、「イオンモール」については、若い年代で上位に入っているのに対し、年齢の高い代では低くなっている。

○地域別にみると、いずれの地区も「さいたま水族館」が上位項目にあげられている。その他の項目については、各地域で上位項目にばらつきがみられる。

【全国PRに有効なもの 年齢別集計】

	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上	
	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位
さいたま水族館	16.7	6	25.8	4	27.6	2	28.3	2	30.4	1
いがまんじゅう	58.3	1	35.5	1	29.5	1	29.9	1	20.8	3
羽生水郷公園	0.0	14	12.9	8	13.3	8	21.9	4	23.4	2
ゆるキャラ® さみっとin羽生	8.3	9	35.5	1	23.8	4	23.0	3	17.1	4
イオンモール	41.7	2	33.9	3	26.7	3	20.9	6	15.1	7
ムジナもん等のキャラクター	25.0	3	25.8	4	21.0	5	21.4	5	11.2	12
利根川	8.3	9	3.2	16	11.4	10	14.4	9	16.5	5
スカイフェスタ(気球)	8.3	9	19.4	6	20.0	6	15.5	8	13.4	10
ムジナモ自生地宝蔵寺沼	8.3	9	8.1	10	8.6	12	16.6	7	16.0	6
田舎教師	0.0	14	9.7	9	12.4	9	11.2	11	15.1	7
藍染め	25.0	3	8.1	10	15.2	7	12.8	10	13.3	11
藍のまち羽生さわやかマラソン大会	0.0	14	6.5	13	4.8	17	8.6	12	14.8	9
羽生夏まつり	0.0	14	6.5	13	8.6	12	6.4	14	10.4	13
彩のかがやき	16.7	6	3.2	16	6.7	14	7.0	13	8.6	15
キヤッセ羽生	0.0	14	6.5	13	6.7	14	4.8	17	8.9	14
地ビール	25.0	3	14.5	7	11.4	10	5.9	15	5.3	19
藤(大天白公園)	16.7	6	1.6	19	3.8	18	4.3	18	6.9	16
コスモスフェスティバル	0.0	14	0.0	22	2.9	19	5.3	16	6.2	17
桜まつり	0.0	14	1.6	19	1.9	20	2.7	20	5.4	18
愛情(藍城)弁当などのご当地グルメ	8.3	9	8.1	10	6.7	14	4.3	18	2.9	20
菊まつり	0.0	14	1.6	19	0.0	22	0.5	23	2.6	21
ふるさとの詩	0.0	14	0.0	22	1.9	20	1.1	21	1.7	22
フロアカーリング	0.0	14	3.2	16	0.0	22	1.1	21	0.6	23

【全国PRに有効なもの 地区別集計】

	羽生		新郷		須影		岩瀬		川俣		井泉		手子林		三田ヶ谷		村君	
	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位
さいたま水族館	27.6	1	29.7	1	23.4	3	33.3	1	27.9	1	30.5	1	33.1	1	34.0	2	28.1	2
いがまんじゅう	23.1	3	24.8	2	29.8	1	26.9	2	21.3	4	17.9	6	31.4	2	24.0	5	34.4	1
羽生水郷公園	20.2	4	16.8	5	16.0	6	12.8	10	18.0	6	22.1	4	22.3	3	52.0	1	25.0	4
ゆるキャラ® さみっとin羽生	23.6	2	11.9	11	20.2	4	19.2	5	14.8	8	23.2	3	14.9	7	26.0	4	15.6	6
イオンモール	19.2	5	13.9	9	25.5	2	20.5	4	13.1	11	29.5	2	13.2	9	8.0	12	12.5	9
ムジナもん等のキャラクター	15.5	6	15.8	6	11.7	9	16.7	7	9.8	13	14.7	7	19.0	4	14.0	8	15.6	6
利根川	14.2	9	18.8	4	12.8	8	17.9	6	26.2	2	12.6	9	11.6	11	6.0	14	15.6	6
スカイフェスタ(気球)	15.5	6	15.8	6	10.6	11	21.8	3	14.8	8	14.7	7	14.9	7	8.0	12	6.3	14
ムジナモ自生地宝蔵寺沼	12.9	11	15.8	6	10.6	11	14.1	8	23.0	3	9.5	11	18.2	5	22.0	6	28.1	2
田舎教師	12.1	12	12.9	10	11.7	9	9.0	13	21.3	4	7.4	15	15.7	6	28.0	3	21.9	5
藍染め	13.1	10	19.8	3	19.1	5	14.1	8	9.8	13	8.4	14	12.4	10	4.0	15	9.4	13
藍のまち羽生さわやかマラソン大会	11.3	13	9.9	14	8.5	14	12.8	10	16.4	7	22.1	4	6.6	15	16.0	7	12.5	9
羽生夏まつり	14.4	8	6.9	16	2.1	21	5.1	15	8.2	15	10.5	10	5.8	16	4.0	15	6.3	14
彩のかがやき	4.2	19	10.9	12	10.6	11	10.3	12	14.8	8	9.5	11	9.9	13	10.0	10	12.5	9
キヤッセ羽生	5.0	16	8.9	15	13.8	7	3.8	18	8.2	15	7.4	15	10.7	12	12.0	9	6.3	14
地ビール	8.1	15	10.9	12	6.4	15	5.1	15	4.9	17	9.5	11	3.3	19	2.0	17	3.1	17
藤(大天白公園)	9.7	14	5.0	17	5.3	16	2.6	19	11.5	12	2.1	19	1.7	21	0.0	20	0.0	19
コスモスフェスティバル	5.0	16	2.0	20	2.1	21	9.0	13	3.3	18	5.3	17	7.4	14	10.0	10	3.1	17
桜まつり	5.0	16	4.0	18	5.3	16	2.6	19	3.3	18	4.2	18	5.8	16	0.0	20	0.0	19
愛情(藍城)弁当などのご当地グルメ	3.9	20	3.0	19	5.3	16	5.1	15	1.6	20	1.1	21	5.0	18	2.0	17	12.5	9
菊まつり	1.8	21	0.0	22	4.3	19	1.3	22	1.6	20	1.1	21	3.3	19	2.0	17	0.0	19
ふるさとの詩	1.3	22	2.0	20	3.2	20	2.6	19	1.6	20	2.1	19	0.0	23	0.0	20	0.0	19
フロアカーリング	0.5	23	0.0	22	1.1	23	1.3	22	1.6	20	1.1	21	1.7	21	0.0	20	0.0	19

## 5-4 観光交流人口を増やすために

【問 19】市では、観光交流人口 100 万人を目指して施策を実施していますが、上記(問 18)に記載されている他に、羽生市の観光交流人口を増やすために有効だと思うイベント、場所、施設等があれば下欄にご記入ください。【自由記入】

- 169 人(16.2%)の方から 267 の意見が記入された。
- 意見の内容を分類すると、「施設」の活用や新設、「イベント」の活性化や実施、「交通施設」の活用や新設に関する意見が多くあげられた。その他「食」「自然」「もの」「場所」「文化」「産業」の活用等に関すること、また各観光資源等に関する「発信」、ボランティア等の「人」に関することもあげられた。
- あわせて、観光に限らずまちをPRするための「まちづくり」全体に関すること、「その他」として“市への要望”、また観光施策の振興は“必要ない”との意見もあげられた。

### 【観光交流人口を増やすために 意見概要一覧】

分類	件数	内容	件数	補足・提案
施設	68	水郷公園	16	埼玉県一といわれるよう草花や植木を植える・低料金(また、無料)遊具や室内体験施設の設置・日本一のすべり台やアスレチック施設の設置等・南側駐車場付近に桜の木を植えて桜まつりを実施・バーベキュー公園に・ホテルの池として夏にホテルが舞う池に・池を無料魚釣り場にして開放・公園付近の土地利用・活性化
		キャッセ羽生	14	桜並木や花を植えて観光地化・田舎教師の資料館を作る・積極的な活用を望む・物産展
		イオンモール	9	イオンモールに来た人たちが立ち寄る施設や企画・市外の方が大勢来られるので年間を通して見られる花等の観光施設を
		さいたま水族館	8	改善してもっとPR・大規模に・“さかなくん”を呼んでイベント
		産業文化ホール	6	文化交流・コンサート等・音楽祭(ハーモニカ、コーラス等身近で誰でも参加できるようなもの)の開催
		スポーツ施設	5	公式サッカー場・運動公園の野球場の利用・クイック羽生(カートレース場)・釣り場・温水プール
		広場・公園等	3	村君にあるスカイスポーツ公園・こども動物園・広場
		ホテル	2	ルートイン(ホテル)・ルートインの風呂と宿泊
		その他	5	オートキャンプ場の新設・イベントホールをつくり、コンサート等多くのイベントをする・市民プラザ・焼却炉・地域の会館の活用

分類	件数	内容	件数	補足・提案
イベント	47	スカイフェスタ	10	気球の常設または定期化・グライダーに乗れる、遠くの人もくるのでもう少し充実
		祭り	7	羽生夏まつり・商工まつりの頻度を多くする・町内だけの神輿だけでなく町中の神輿
		見学・ツアー等	6	市内七福神めぐり・市内ハイキングコース・工場見学（酒蔵、野菜工場等）・歴史と文化の探索・羽生駅発一藍染一水族館等の観光コース
		コスモス	5	大規模なコスモスフェスティバル
		スポーツ	3	気軽にできるもの・市体育館でのイベント・グラウンドゴルフ選手権大会
		マラソン・ウォーキング	3	ふるさと散歩のウォーキング大会・羽生さわやかマラソン大会・マラソン大会・羽生・明和橋上駅伝大会
		動植物	3	季節の花まつり・桜まつり・国内に残る希少植物・動物を考えるイベント
		物産展等	3	全国の物産展・朝市・大規模なフリーマーケット、バザー
		イルミネーション	2	個人宅でのイルミネーション・外部から集客するイルミネーション
		花火	2	花火大会
その他	3	“田舎教師”の登場人物に扮した仮装行列・歌手等のキャンペーン・国際交流会		
交通	42	道の駅	22	“道の駅”の拡張と産地物の販売・農産物直売や地場産加工を活発に・大規模イベントの開催
		P a s a r 羽生	8	ハイウェイオアシスにする・羽生の農産物等の販売拡大をする
		羽生駅	5	駅及び周辺の活用整備・駅自由通路での地ビール販売・周辺を川越のようなまちづくり
		羽生 I C	3	人々が集まる様な催物・ファミリーが1日ゆっくりできるエリアづくり（水族館、公園、キャッセ羽生等と連携）
		鉄道	1	J Rがない
		ご当地ナンバー	1	ご当地ナンバー、バイクなどの地方ナンバー
		バス	1	駅からさいたま水族館への定期バスの運行
		遊歩道	1	お花見のできる遊歩道を作る
食	21	B級グルメ	17	羽生発B級グルメ・B級グルメサミット(大会・祭)
		グルメ	4	飲食物・地酒を支援してアピールをする・地産地消・バーベキュー
自然	17	利根川	14	親子が遊べるキャンプ場を・サイクリングロード・河川敷の有効活用・散歩道・スポーツ施設、自由広場、アスレチックなど・
		花	2	フラワースポットを作る（芝桜、巾着田のヒガンバナ等）・地域別に花を特定した観光施設等を作り緑豊かなPRを
		ムジナモ	1	ムジナモの自生地としてPRを積極的に
もの	14	ゆるキャラ	10	ゆるキャラ・ゆるキャラさみっと・もっと市内の人にも集まるよう街中でイベントを実施
		田舎教師	4	建福寺・映画化してイオンで公開



分類	件数	内容	件数	補足・提案
場所	14	温泉	9	羽生の湯・温泉施設の新設（高齢者と孫で利用できるよう）・温泉施設をピーアール
		展望台	2	昭和橋付近に朝日夕日の展望台・隣県の山々が見える展望台を
		まち並み	1	しろばし屋さんから中原病院に抜ける昭和の香のするレトロな街並みは映画「三丁目の夕日」のよう
		工業団地	1	工業団地
		散歩道	1	古利根散歩道を充実
文化	13	歴史資源	4	羽生城の復元・永明寺古墳の整備・上村河岸、千津井の渡しの復活・川俣関所址
		藍染	3	藍染体験・藍染めの良さを国民に理解してもらうフェスティバル
		学習	2	郷土資料館でのものづくり・体験学習の場を設けて欲しい
		国際交流	1	国内での交換留学生
		姉妹都市	1	姉妹都市との交流をもっと活発にする
		寺	1	自由に寄れる寺
		文化	1	文化村
産業	12	農業	8	機械化した農業の体験・貸農園と管理小屋（そば、うどん、貸農機具）・遊休農地や市内ホテルを活用した「農業ショートステイ」・農林祭り
		商業施設・企業誘致	4	大きなホームセンター（コストコ・I K E Aなど施設）・大企業誘致・出店を多く
発信	6	情報発信	5	メディアを活用・テレビPR・彩のかがやきのPR不足・アニメやゲームに羽生市を取り入れてもらう・観光カンバンを増やす
		ニーズ把握	1	観光の会社からアンケートをとる
人	4	ボランティア	3	各種イベントのお客様への市民の親切、笑顔・市民同士のふれあい・多くの人のボランティア
		活動支援	1	イベント補助
まちづくり	3	力をいれて取り組む	3	リサイクル・周辺環境整備・保育所の待機児童ゼロをアピールし安心して子育てをしてもらう
その他	6	市への要望	3	施設を一括化してほしい・施策を知らない・市役所でもっと話し合いを
		必要ない	3	高いレベルの活動が見込めないため・自然と空気を維持するため人を増やすことはない・自分が市外に住んでいても羽生には観光に来ないと思う

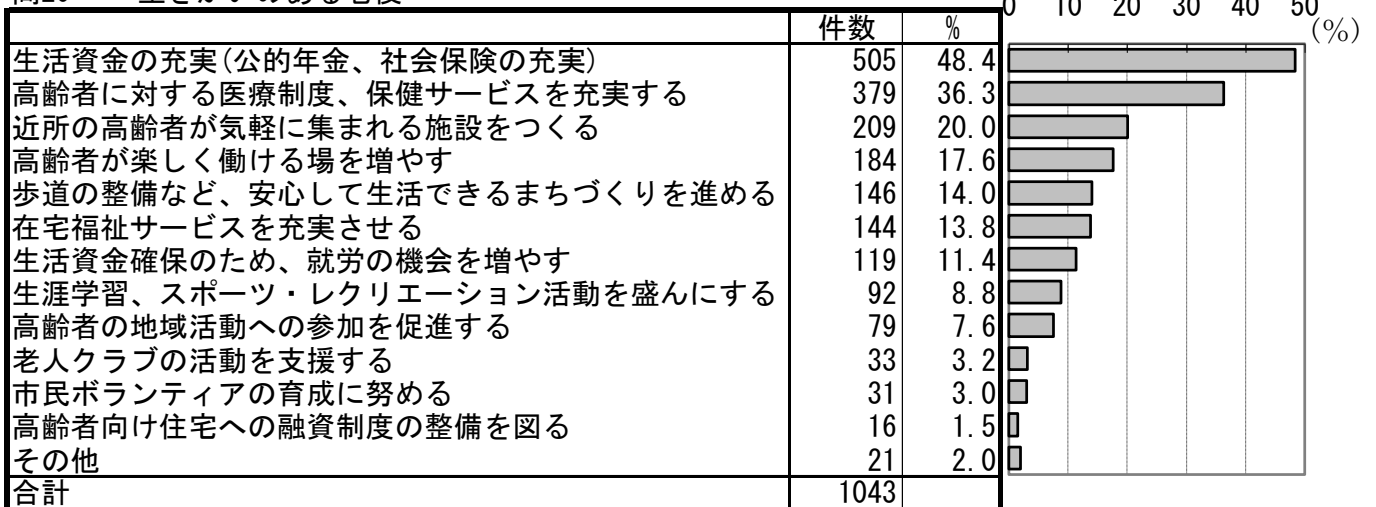
# 6. 福祉・リサイクル・交通について

## 6-1 生きがいのある老後

【問 20】 今後、高齢化がますます進むことが予想されますが、幸せで生きがいのある老後を送るために、あなたは何が大切だとお考えですか【複数回答】

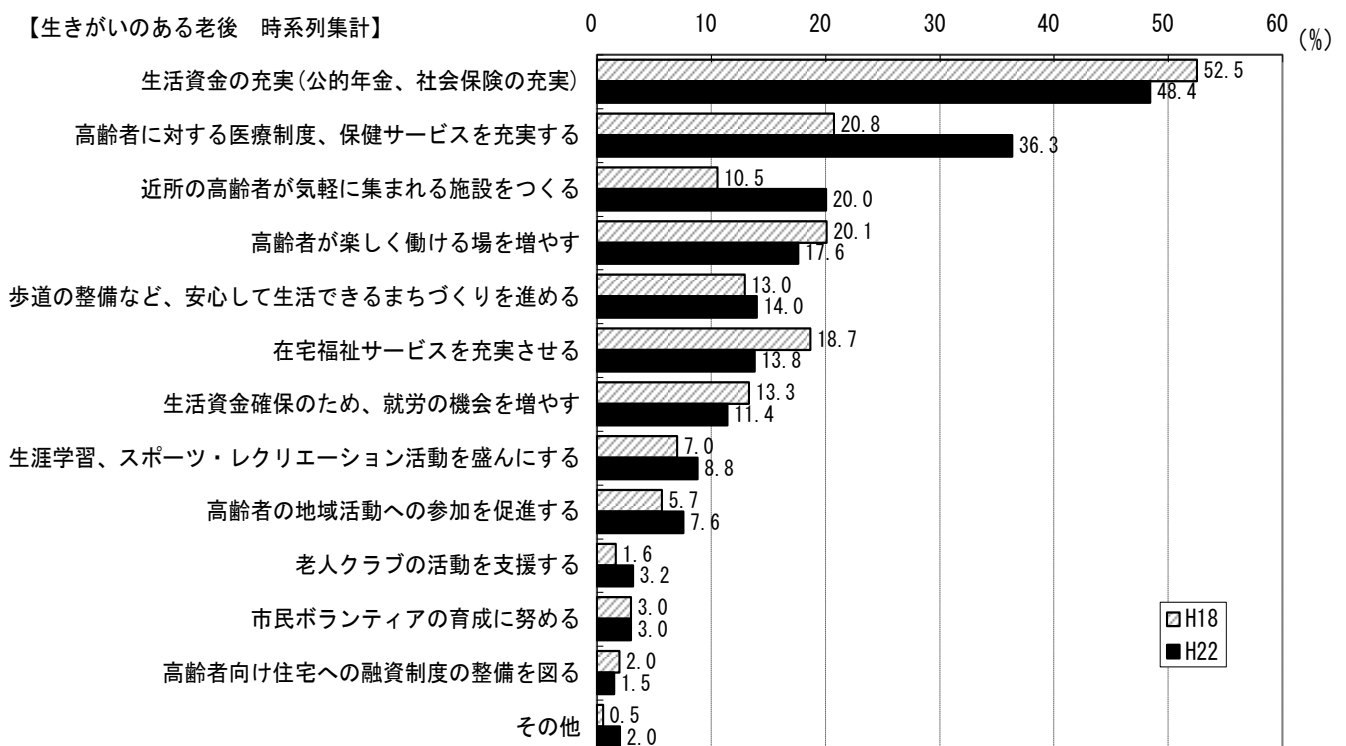
○生きがいのある老後のために大切だと考えるものは「生活資金の充実(公的年金、社会保険の充実)」が48.4%と最も多く、次いで「高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する」が36.3%と多くなっている。

問20 生きがいのある老後



○時系列でみると、概ね同様の順位となっているが、「高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する」「近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる」が高い伸びを示している。

【生きがいのある老後 時系列集計】



○年齢別にみると、いずれの世代も「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が最も多くなっている。次いで、20歳代では「近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる」が、その他の世代では「高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する」が多くなっている。

【生きがいのある老後 年齢別集計】

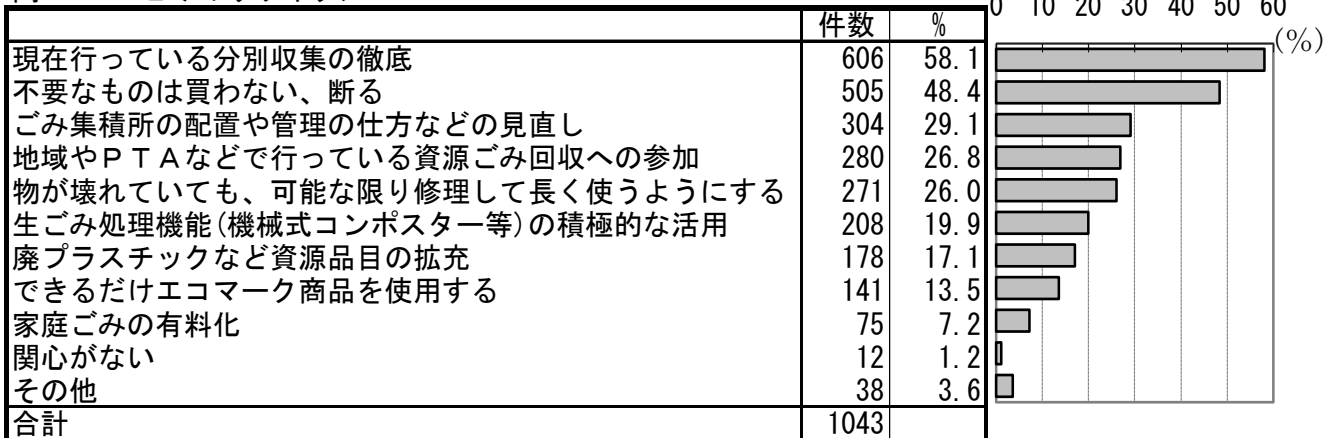
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
生活資金の充実 （公的年金、社会保険の充実）	50.0	46.8	58.1	58.3	43.8
高齢者に対する医療制度、保健 サービスを充実する	16.7	25.8	34.3	25.7	40.8
近所の高齢者が気軽に集まれる 施設をつくる	41.7	19.4	10.5	14.4	23.0
高齢者が楽しく働ける場を増やす	16.7	19.4	18.1	21.9	16.2
歩道の整備など、安心して生活 できるまちづくりを進める	0.0	22.6	9.5	14.4	14.2
在宅福祉サービスを充実させる	0.0	8.1	11.4	10.7	16.0
生活資金確保のため、就労の機会 を増やす	0.0	8.1	22.9	14.4	9.4
生涯学習、スポーツ・レクリエー ション活動を盛んにする	33.3	19.4	11.4	9.6	6.9
高齢者の地域活動への参加を 促進する	8.3	6.5	1.0	9.6	8.0
老人クラブの活動を支援する	8.3	1.6	2.9	3.2	3.3
市民ボランティアの育成に努める	0.0	6.5	1.9	4.3	2.4
高齢者向け住宅への融資制度の 整備を図る	0.0	1.6	3.8	3.2	0.8
その他	0.0	6.5	1.9	1.6	1.8

## 6-2 ごみのリサイクル

【問 21】最近、ごみ問題への関心が高まってきていますが、その課題の一つとして家庭ごみの減量があげられます。家庭のごみを減らしたり、リサイクル(再利用・再資源)をすすめていくうえで、どのようなことが必要だとお考えですか。【複数回答】

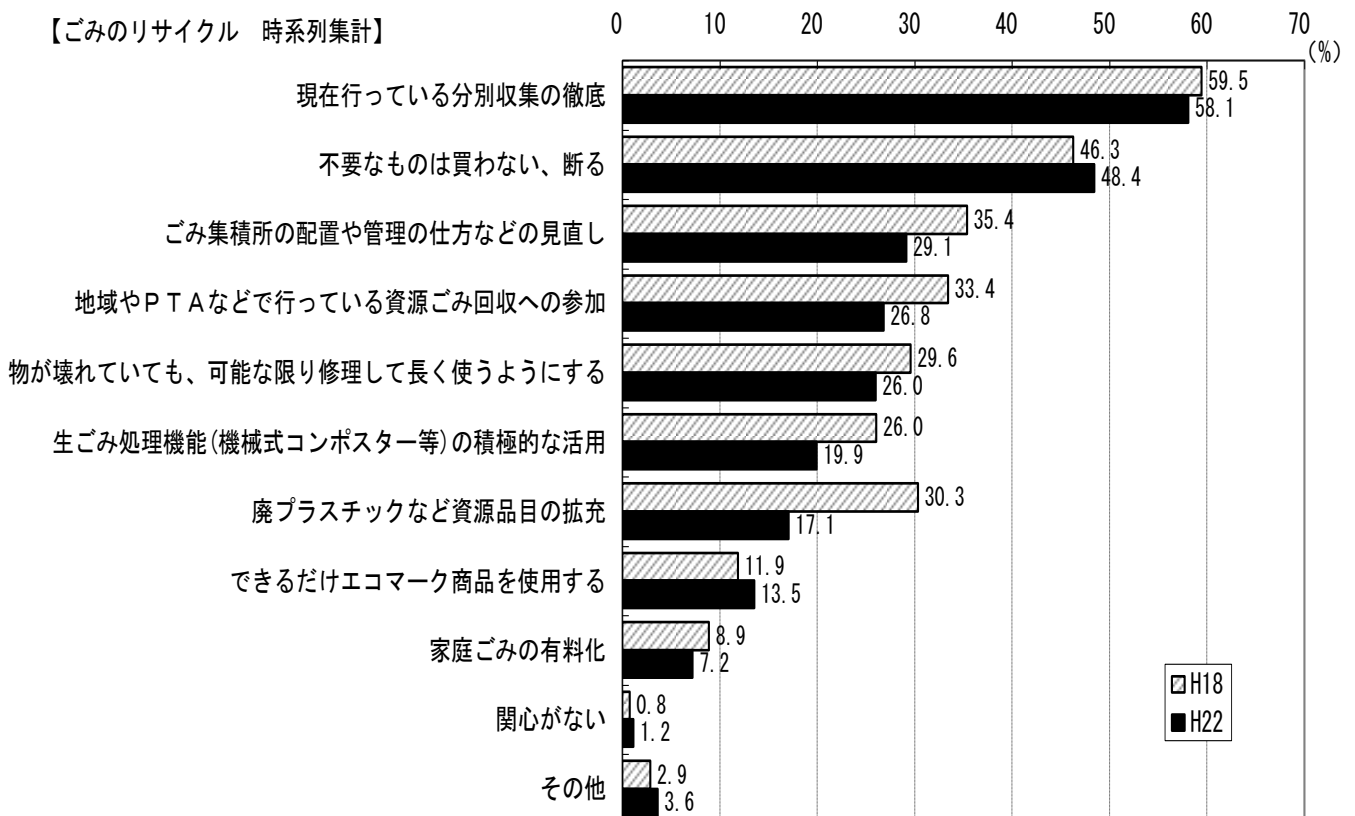
- ごみ問題の対策として家庭ごみを減量するうえで何が必要であるかについては、「現在行っている分別収集の徹底」が最も多く過半数の58.1%を占め、次いで「不要なものを買わない、断る」が48.4%となっている。
- 「関心がない」は1.2%にとどまっている。

問21 ごみのリサイクル



- 時系列でみると、ほぼ同様の順位となっているが、「不要なものを買わない、断る」「できるだけエコマーク商品を使用する」の割合が増え、その他の項目については若干減少している。

【ごみのリサイクル 時系列集計】



## 6-3 交通

【問 22】羽生市の交通についてこれから必要だと思うものは何ですか。【複数回答】

○「歩道の整備(安全な歩道幅の確保、段差の解消)」が最も多く 52.6%と過半数で、次いで「身近な生活道路の整備」が 46.0%となっている。

問22 交通についてこれから必要と思うものは

	件数	%
歩道の整備(安全な歩道幅の確保、段差の解消)	549	52.6
身近な生活道路の整備	480	46.0
自転車道の整備	378	36.2
鉄道やバスなどの公共交通施設の充実	367	35.2
駅周辺や中心市街地の駐車場の整備	300	28.8
近隣市町を結ぶ幹線道路の整備	158	15.1
地域間を結ぶ幹線道路の整備	157	15.1
その他	34	3.3
合計	1043	

○年齢別にみると、“50 歳代”を除く各世代で「歩道の整備(安全な歩道幅の確保、段差の解消)」、「20 歳代」で「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」、「50 歳代」で「身近な生活道路の整備」が多くなっている。

【交通 年齢別集計】

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
歩道の整備(安全な歩道幅の確保、段差の解消)	50.0%	53.2%	47.6%	48.1%	55.0%
身近な生活道路の整備	8.3%	38.7%	31.4%	51.9%	48.0%
自転車道の整備	16.7%	22.6%	35.2%	30.5%	40.2%
鉄道やバスなどの公共交通施設の充実	50.0%	50.0%	43.8%	35.8%	31.9%
駅周辺や中心市街地の駐車場の整備	25.0%	19.4%	31.4%	29.4%	29.0%
近隣市町を結ぶ幹線道路の整備	8.3%	17.7%	19.0%	17.1%	13.9%
地域間を結ぶ幹線道路の整備	0.0%	19.4%	10.5%	21.4%	13.9%
その他	16.7%	4.8%	1.9%	2.7%	3.2%

○地区別にみると“羽生地区”“新郷地区”“井泉地区”“手子林地区”で「歩道の整備(安全な歩道幅の確保、段差の解消)」が最も多く、また同率で“井泉地区”及び“須影地区”“岩瀬地区”“川俣地区”“三田ヶ谷地区”“村君地区”で「身近な生活道路の整備」が最も多くなっている。更に“村君地区”では「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」も多くあげられている。

【交通 地区別集計】

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
歩道の整備(安全な歩道幅の確保、段差の解消)	56.4	57.4	54.3	53.8	49.2	49.5	53.7	48.0	25.0
身近な生活道路の整備	34.4	50.5	56.4	57.7	55.7	49.5	51.2	56.0	50.0
自転車道の整備	42.3	28.7	39.4	35.9	31.1	22.1	38.0	30.0	21.9
鉄道やバスなどの公共交通施設の充実	38.6	32.7	27.7	30.8	32.8	33.7	33.1	38.0	50.0
駅周辺や中心市街地の駐車場の整備	31.0	20.8	25.5	24.4	23.0	34.7	32.2	36.0	21.9
近隣市町を結ぶ幹線道路の整備	15.7	12.9	12.8	15.4	19.7	18.9	9.9	10.0	31.3
地域間を結ぶ幹線道路の整備	11.0	13.9	10.6	14.1	27.9	18.9	14.9	22.0	31.3
その他	3.4	4.0	3.2	1.3	0.0	0.0	6.6	2.0	6.3

## 6-4 最終電車時刻

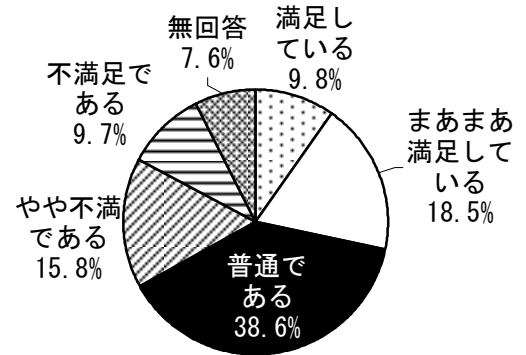
【問23】最終電車時刻の満足度について伺います。

- 「普通である」が最も多くなっている。
- “満足”は28.3%、“不満足”は25.5%で、同程度となっている。

【問23 最終電車時刻】 n=1043

問23 最終電車時刻

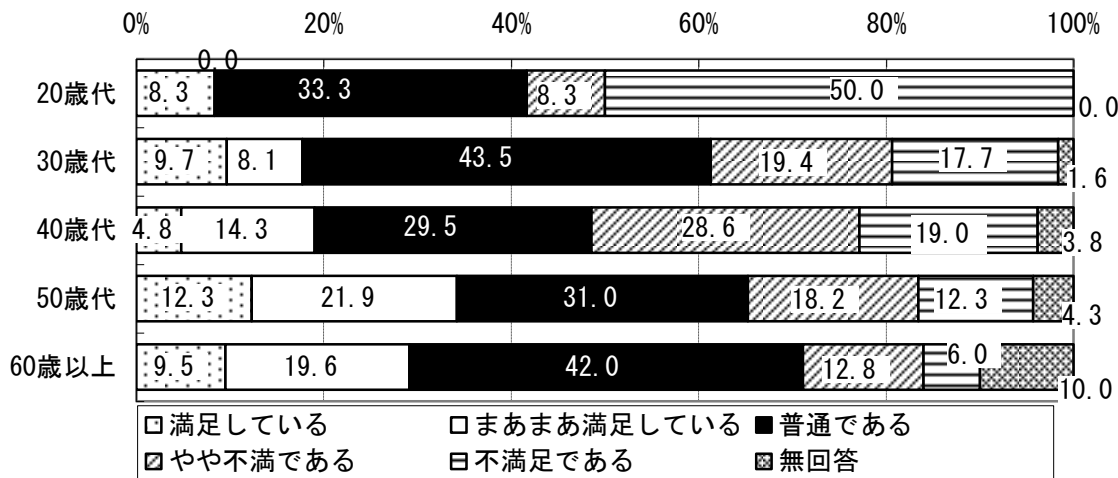
	件数	%
満足している	102	9.8
まあまあ満足している	193	18.5
普通である	403	38.6
やや不満である	165	15.8
不満足である	101	9.7
無回答	79	7.6
合計	1043	100.0



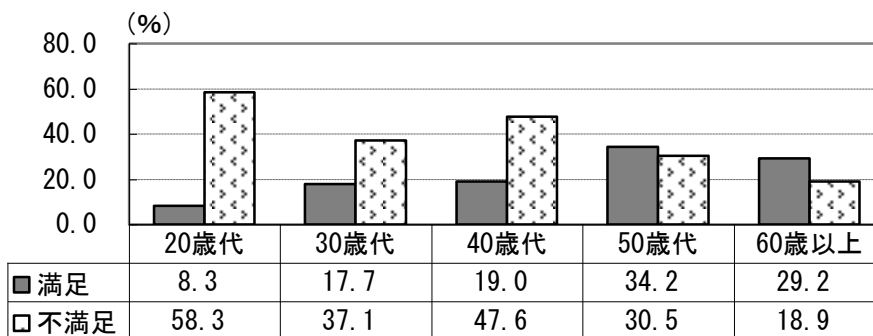
※“満足”は「満足している」と「まあまあ満足している」の合計、“不満足”は「やや不満である」と「不満足である」の合計とする。(以下同様)

○年齢別にみると、年齢が高くなるほど満足傾向が強く、若い世代ほど不満が強い傾向となっている。

【最終電車時刻 年齢別集計】

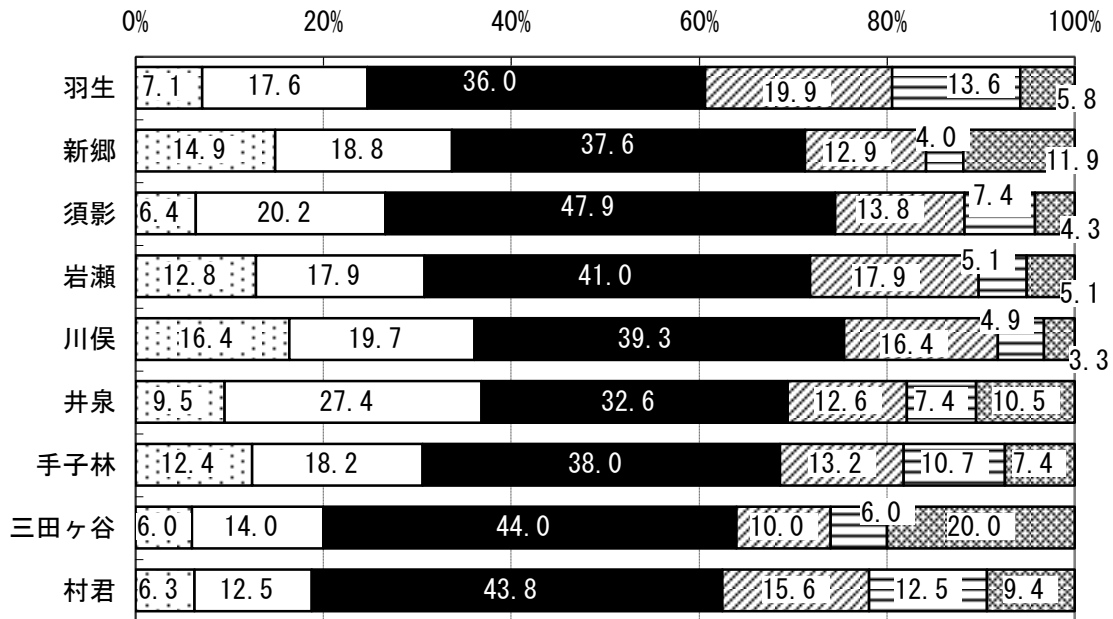


【最終電車時刻 満足・不満足 年齢別集計】



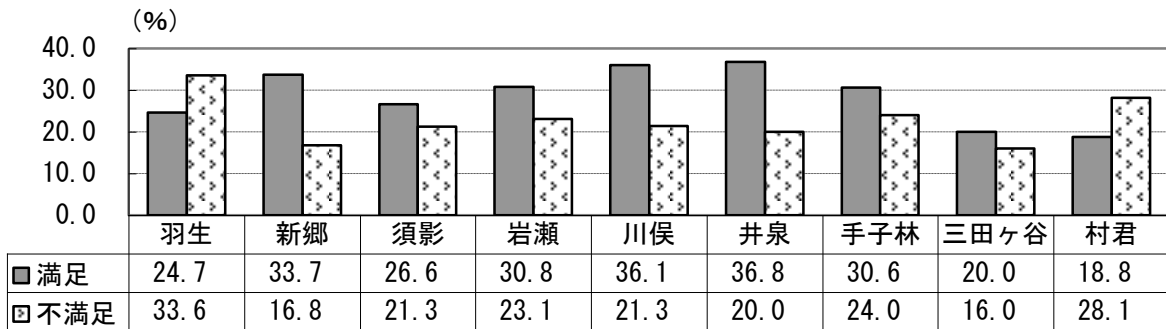
○地区別にみると、“羽生地区”“村君地区”では不満が強く、その他の地区では満足が強くなっている。  
特に“川俣地区”“井泉地区”で満足が強い。

【最終電車時刻 地区別集計】



□満足している □まあまあ満足している ■普通である ▨やや不満である □不満足である ▩無回答

【最終電車時刻 満足・不満足 地区別集計】



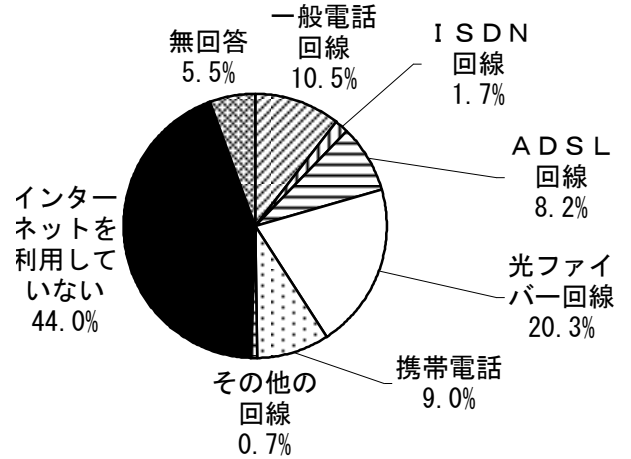
# 7. 通信環境等について

## 7-1 インターネット環境

【問24】あなたは、インターネットをどのような環境で利用していますか。

- 「インターネットを利用していない」が最も多く 44.0% を占めている。
- 利用している内容では「光ファイバー」が最も多く 20.3%、次いで「一般電話回線」が 10.5% となっている。

【問24 インターネット環境】 n=1043



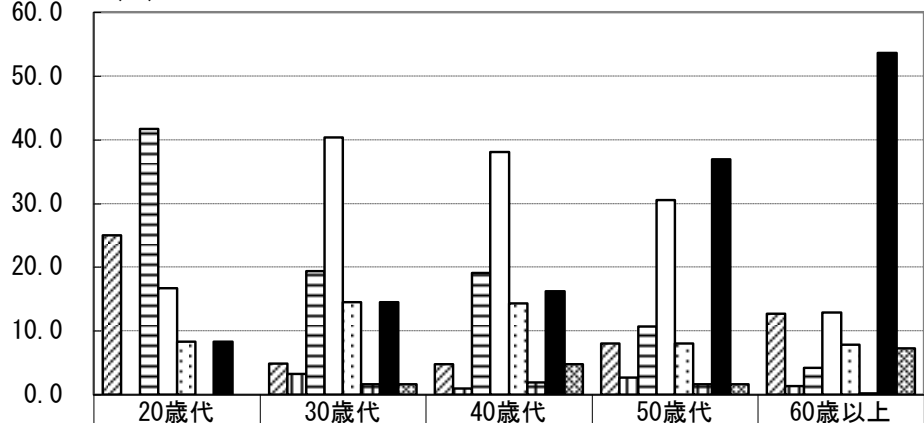
問24 インターネット環境

	件数	%
一般電話回線	110	10.5
ISDN回線	18	1.7
ADSL回線	86	8.2
光ファイバー回線	212	20.3
携帯電話	94	9.0
その他の回線	7	0.7
インターネットを利用していない	459	44.0
無回答	57	5.5
合計	1043	100.0

- 年齢別にみると、年齢があがるほど「インターネットを利用していない」が多くなっている。
- “20歳代”では「ADSL回線」「一般電話回線」が多く、“30～50歳代”では「光ファイバー回線」が多くなっている。

【インターネット環境 年齢別集計】

(%)



	20歳代 (%)	30歳代 (%)	40歳代 (%)	50歳代 (%)	60歳以上 (%)
■ 一般電話回線	25.0	4.8	4.8	8.0	12.7
▨ ISDN回線	0.0	3.2	1.0	2.7	1.4
▩ ADSL回線	41.7	19.4	19.0	10.7	4.2
□ 光ファイバー回線	16.7	40.3	38.1	30.5	12.8
□ 携帯電話	8.3	14.5	14.3	8.0	7.9
▨ その他の回線	0.0	1.6	1.9	1.6	0.2
■ インターネットを利用していない	8.3	14.5	16.2	36.9	53.6
▩ 無回答	0.0	1.6	4.8	1.6	7.3



## 7-2 市のホームページ利用状況

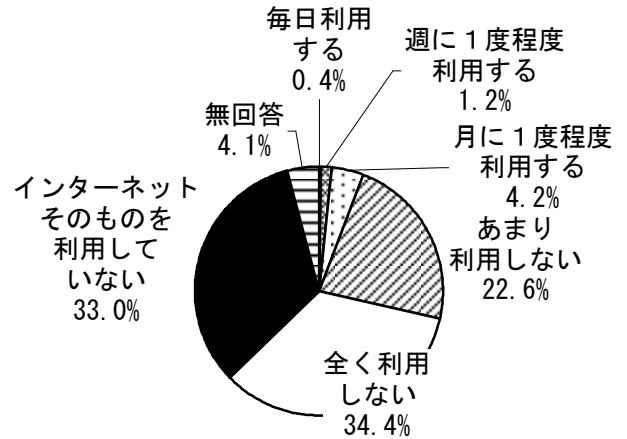
【問25】あなたは、羽生市のホームページを利用していますか。

○「全く利用していない」が最も多く 34.4%、次いで「インターネットそのものを利用していない」が 33.0%となっており、閲覧していない方が過半数を占めている。

【問25 市のホームページ利用状況】n=1043

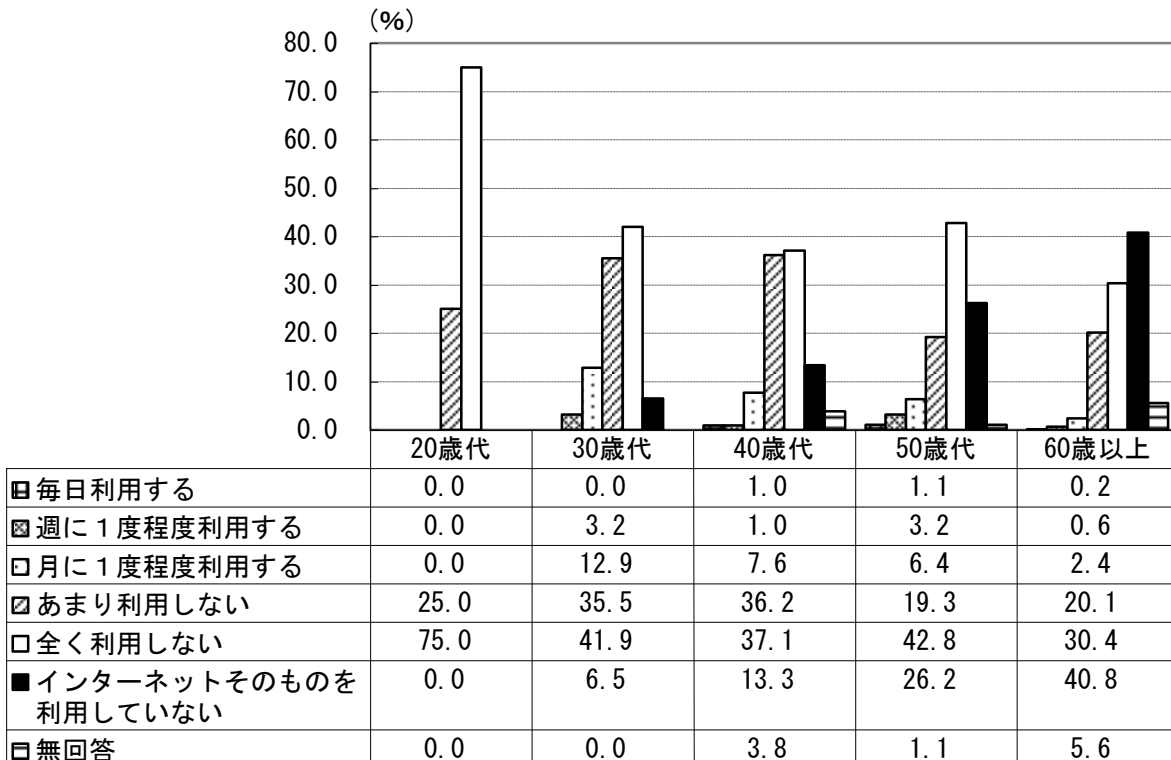
問25 市のホームページ利用状況

	件数	%
毎日利用する	4	0.4
週に1度程度利用する	13	1.2
月に1度程度利用する	44	4.2
あまり利用しない	236	22.6
全く利用しない	359	34.4
インターネットそのものを利用していない	344	33.0
無回答	43	4.1
合計	1043	100.0



○年齢別にみると、「インターネットそのものを利用していない」は年齢が上がるほど多くなっているが、「全く利用していない」は若い世代ほど多い傾向にある（ただし、「50歳代」は、前後の年代に比べ高くなっている。）。

【市のホームページ利用状況 年齢別集計】

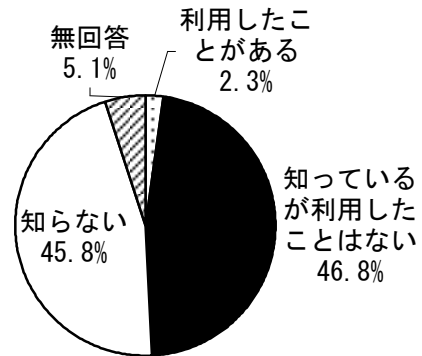


### 7-3 電子申請・届出サービス

【問26】羽生市の電子申請・届出サービスについてご存じですか。

- 電子申請・届出サービスについては「知っているが利用したことはない」が最も多く46.8%、次いで「知らない」が45.8%と多くなっている。
- 「利用したことがある」は2.3%にとどまっている。

【問26 電子申請・届出サービス】n=1043

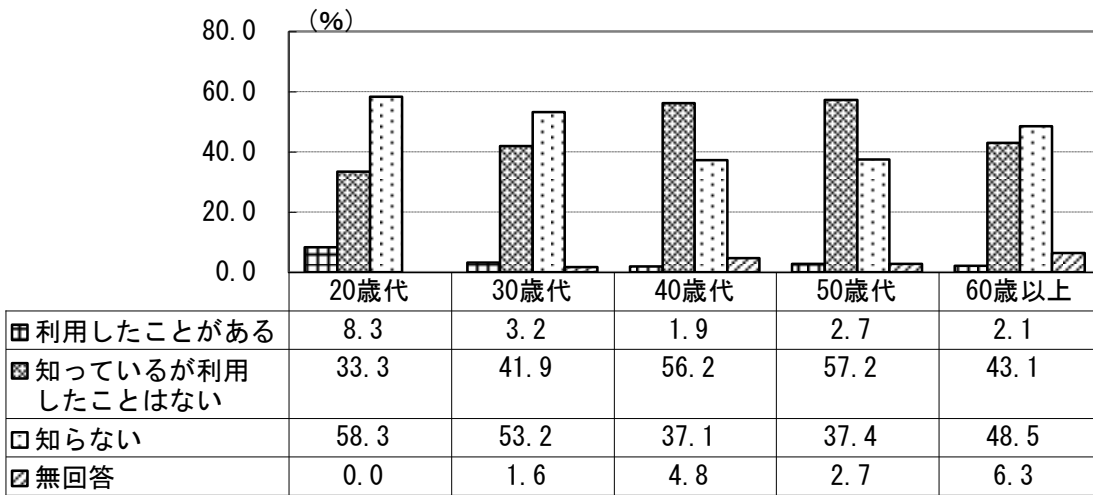


問26 電子申請・届出サービス

	件数	%
利用したことがある	24	2.3
知っているが利用したことはない	488	46.8
知らない	478	45.8
無回答	53	5.1
合計	1043	100.0

- 年齢別にみると、「利用したことがある」が比較的多いのは“20歳代”であるが、8.3%にとどまっている。一方、「知らない」が多いのも“20歳代”となっている。
- “40歳代”“50歳代”では知っている方が過半数を占めているが、その他の世代では、知らない方が多く、低い認知度となっている。

【電子申請・届出サービス 年齢別集計】



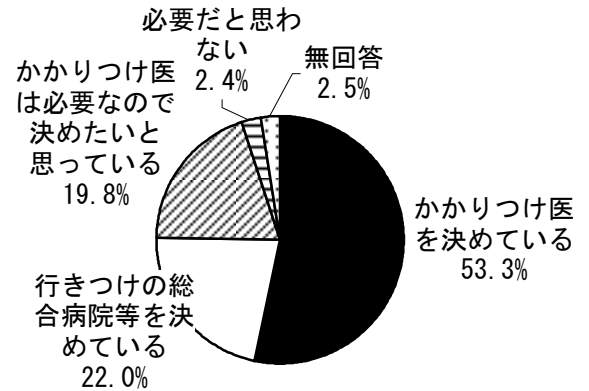
# 8. 医療・防災・防犯

## 8-1 かかりつけ医

【問27】あなたは、かかりつけ医または診療所(医院)・病院を決めていますか。

○「かかりつけ医を決めている」が最も多く 53.3%と過半数を占めている。次いで多い「行きつけの総合病院等を決めている」22.0%を合わせ、何らかの行きつけを決めている方が 75.3%となっている。

【問27 かかりつけ医】 n=1043



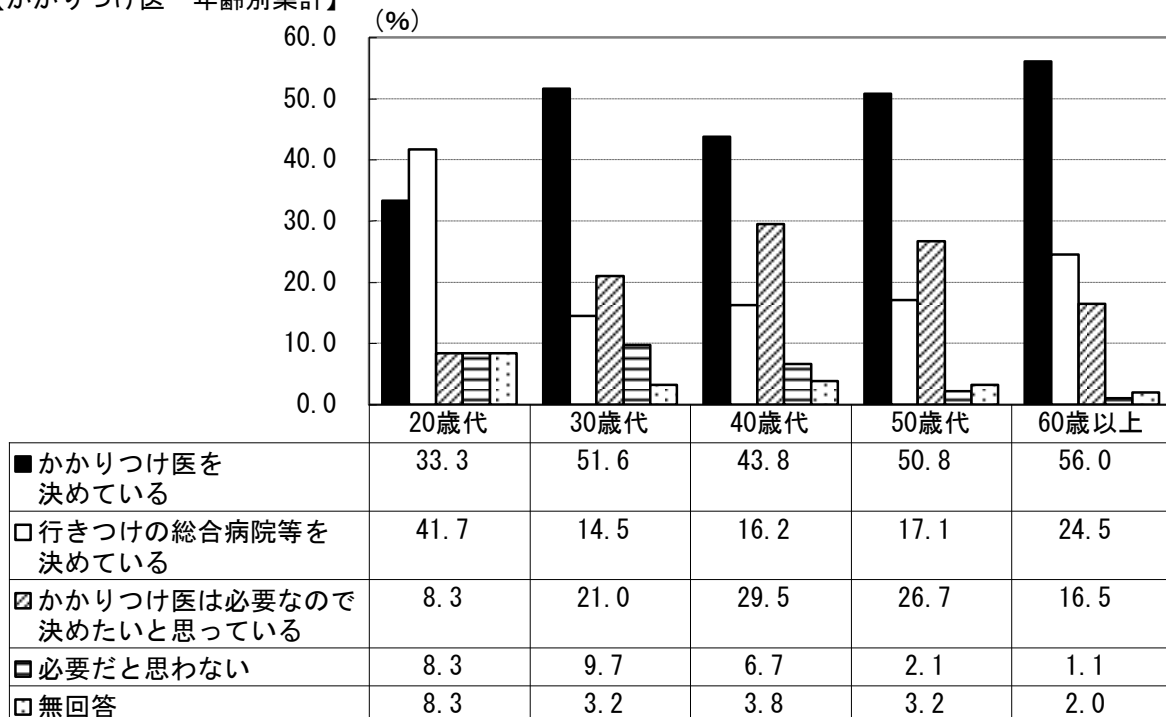
問27 かかりつけ医

	件数	%
かかりつけ医を決めている	556	53.3
行きつけの総合病院等を決めている	229	22.0
かかりつけ医は必要なので決めたいと思っている	207	19.8
必要だと思わない	25	2.4
無回答	26	2.5
合計	1043	100.0

○「かかりつけ医を決めている」は“30歳代”及び年齢の高い世代で多く、「行きつけの総合病院等を決めている」は“20歳代”で多くなっている。

○年齢の若い世代ほど「必要だと思わない」が多い傾向にある。

【かかりつけ医 年齢別集計】

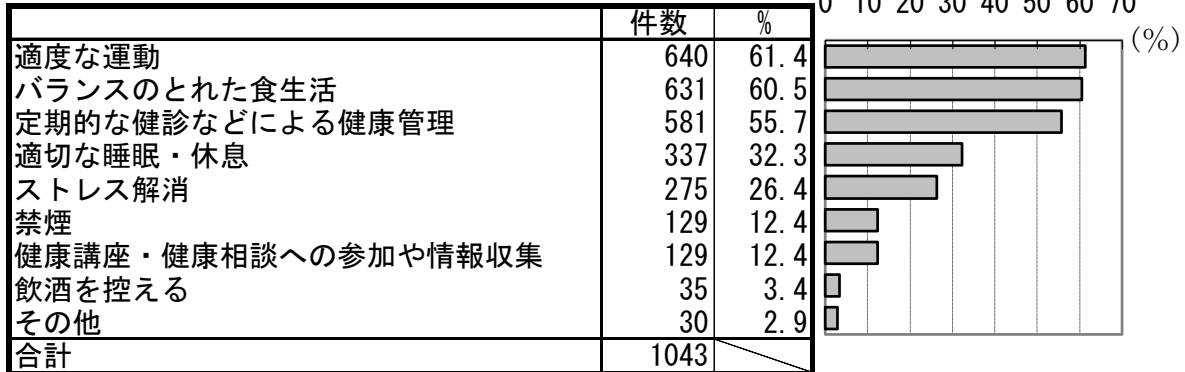


## 8-2 医療費

【問28】市の国民健康保険における一人当たりの医療費は、県内40市中第2位に位置する高い額となっています。そこで、医療費の増加を抑え、健康でいきいきと暮らすためには、何が大切だと思いますか。【複数回答】

○「適度な運動」が最も多く61.4%、次いで「バランスのとれた食生活」60.5%、「定期的な健診などによる健康管理」55.7%となっており、いずれも過半数を占めている。

問28 医療費



- 年齢別にみると、いずれの世代も「適度な運動」が上位項目となっており過半数を占めている。
- “20歳代”では「適切な睡眠・休息」が、30歳代以上では「バランスのとれた食生活」が、また“30歳代”では「定期的な健診などによる健康管理」も上位項目となっている。

【医療費 年齢別集計】

(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
適度な運動	66.7	61.3	61.9	59.4	61.3
バランスのとれた食生活	25.0	48.4	61.9	62.0	62.2
定期的な健診などによる健康管理	33.3	48.4	52.4	48.1	58.9
適切な睡眠・休息	41.7	38.7	41.0	27.3	31.7
ストレス解消	16.7	33.9	22.9	33.7	24.5
禁煙	25.0	14.5	10.5	12.8	12.2
健康講座・健康相談への参加や情報収集	8.3	19.4	5.7	12.3	12.7
飲酒を控える	16.7	4.8	5.7	3.7	2.4
その他	0.0	3.2	3.8	5.3	2.0

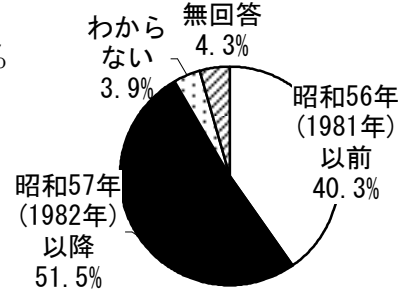
## 8-3 地震と家屋

【問 29】近年、日本各地で大規模な地震が発生し、大きな被害が出ています。被害を最小限に抑えるためには、建物の耐震化が必要とされています。そこで、あなたのお住まいの住宅について伺います。

(1) お住まいの家が建てられた時期はいつですか。

- 建築基準法新耐震基準の施行後「昭和57年(1982年)以降」に建てられた住宅が過半数の51.5%となっている。
- 一方、旧耐震基準「昭和56年(1981年)以前」の住宅も40.3%となっている。

【問29-1 建てられた時期】 n=1043



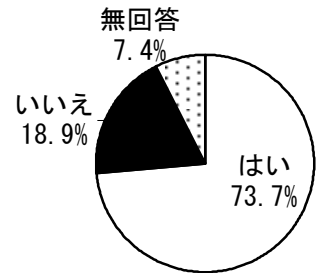
問29-1 建てられた時期は

	件数	%
昭和56年(1981年)以前	420	40.3
昭和57年(1982年)以降	537	51.5
わからない	41	3.9
無回答	45	4.3
合計	1043	100.0

(2) お住まいの家が地震に対してどの程度安全か知りたいですか。

- 地震に対して安全かを知りたい方は73.7%と過半数をしめており、住宅の安全度に対する関心は高くなっている。

【問29-2 安全度を知りたいか】 n=1043



問29-2 安全度を知りたいか

	件数	%
はい	769	73.7
いいえ	197	18.9
無回答	77	7.4
合計	1043	100.0

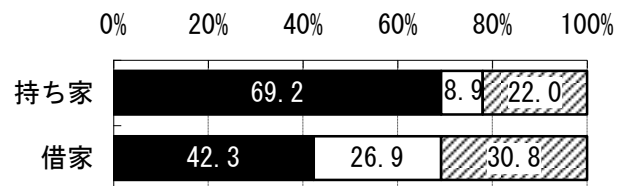
(3) お住まいの家が、大地震の際に安全性に問題があると分かった場合、どうしますか。

- 大規模地震に対する安全性の問題が分かった場合、「持ち家」「借家」とともに「耐震補強工事をする／所有者に耐震補強工事を求める」が最も多くなっている。また、「借家」では「住み替える」が26.9%を占めるのに対し、「持ち家」では「建て替える」が8.9%となっている。

問29-3-1 問題がある場合(持ち家)

	件数	%
耐震補強工事をする	648	69.2
建て替える	83	8.9
何もしない	206	22.0
合計	937	100.0

【問29-3 住宅に問題がある場合】 n=1043



問29-3-2 問題がある場合(借家)

	件数	%
所有者に耐震補強工事を求める	22	42.3
住み替える	14	26.9
何もしない	16	30.8
合計	52	100.0

■ 耐震補強工事をする  
□ 建て替える  
▨ 何もしない／住み替える

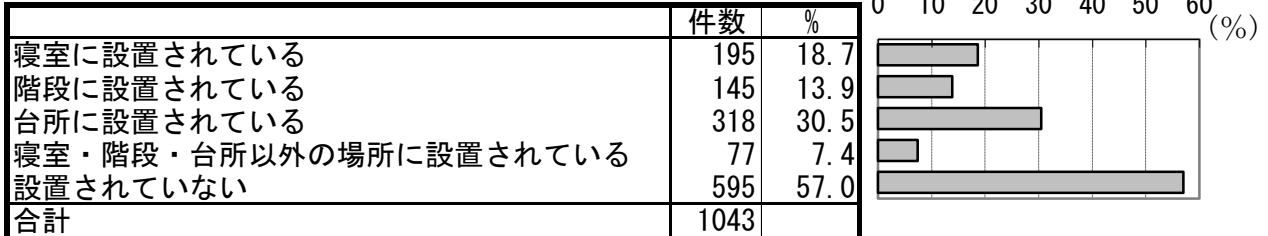
## 8-4 火災警報器

【問30】 あなたの家に住宅用火災警報器は設置されていますか。【複数回答】

○住宅用火災警報器については、「設置されていない」が最も多く57.0%と過半数を占めている。

○設置されている場所については、「台所」が最も多く30.5%、次いで「寝室」18.7%、「階段」13.9%となっている。

問30 家に住宅用火災警報器は設置されているか



○「寝室」「階段」「台所」「その他の場所」いずれの場所にも設置している方は1.1%にとどまっている。

○また“1か所”のみに設置している方は「台所」が最も多くなっている。

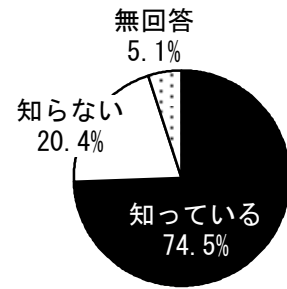
	設置場所				件数	%	合計	
	寝室	階段	台所	その他			件数	%
4か所以上	○	○	○	○	11	1.1%	11	1.1%
3か所	○	○	○		62	5.9%	85	8.1%
	○	○		○	1	0.1%		
	○		○	○	19	1.8%		
		○	○	○	3	0.3%		
2か所	○	○			16	1.5%	119	11.4%
	○		○		50	4.8%		
	○			○	6	0.6%		
		○	○		32	3.1%		
		○		○	3	0.3%		
			○	○	12	1.2%		
1か所	○				30	2.9%	198	19.0%
		○			17	1.6%		
			○		129	12.4%		
				○	22	2.1%		
設置なし					594	57.0%	594	57.0%
無回答					36	3.5%	36	3.5%
				合計	1043	100.0%	1043	100.0%

## 8-5 避難場所

【問31】あなたは、災害時の避難場所をご存じですか。

- 災害時の避難場所を「知っている」人が74.5%を占めている。
- しかし、その一方で20.4%が避難場所も知らないという結果でもある。

【問31 避難場所】 n=1043

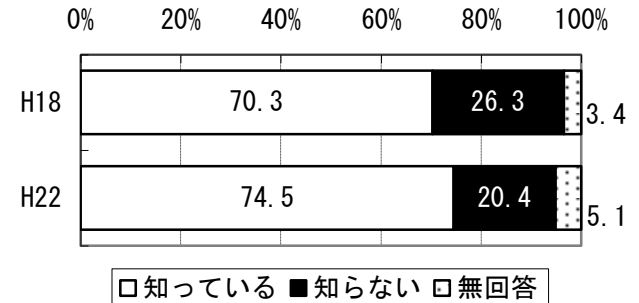


問31 避難場所

	件数	%
知っている	777	74.5
知らない	213	20.4
無回答	53	5.1
合計	1043	100.0

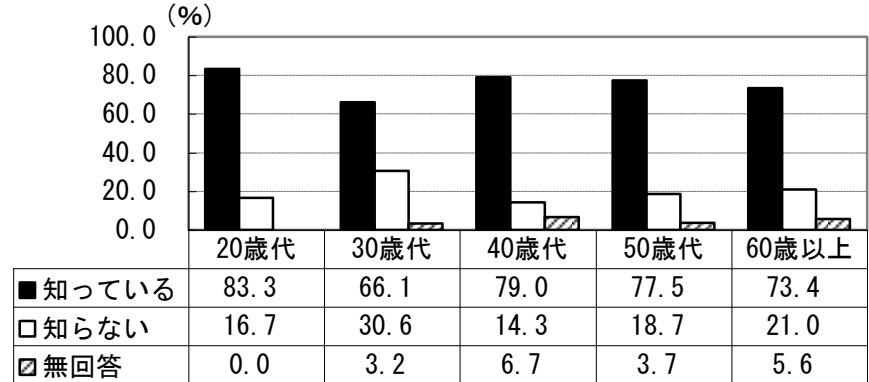
- 時系列でみると、「知っている」が増加し、「知らない」が減少しており、わずかながらも、避難場所の認知度は上がっている。

【避難場所 時系列集計】



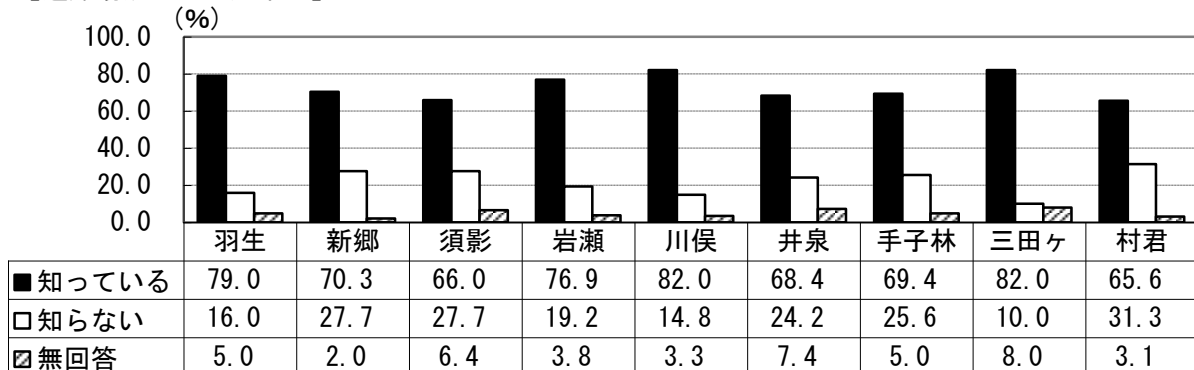
- 年齢別にみると、“20歳代”で「知っている」が高いのに対し、“30歳代”で認知度が低くなっている。また年齢が高くなるにつれ認知度が低くなっている。

【避難場所 年齢別集計】



- 地区別にみると、“新郷地区” “須影地区” “井泉地区” “手子林地区” “村君地区”で認知度が低くなっている。

【避難場所 地区別集計】



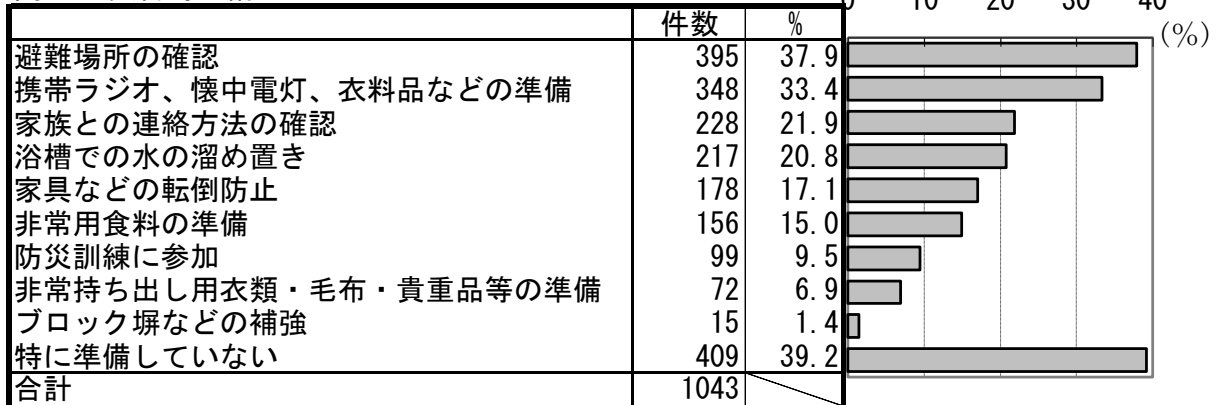
## 8-6 災害時の備え

【問 32】あなたの家では、地震などの災害時に備えてどのような準備をしていますか。

【複数回答】

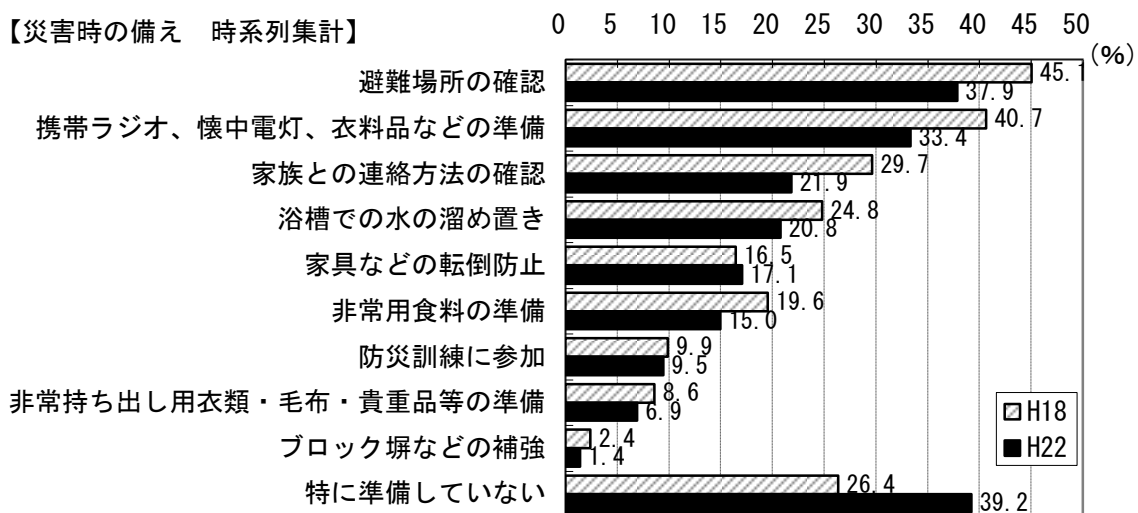
- 「特に準備していない」が最も多く 39.2%を占め、災害への備えに対する意識が低くなっている。
- 災害時の備えの内容については「避難場所の確認」が最も多く 37.9%、次いで「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」「家族との連絡方法の確認」となっている。家庭内部の準備については上位項目となっている一方、外部に対しての「ブロック塀などの補強」は 1.4%にとどまっている。

問32 災害時の備え



- 時系列でみると、順位はほぼ同様の結果となっている。いずれの備えも前回に比べ減少し、「特に準備していない」が増加している。

【災害時の備え 時系列集計】



- 年齢別にみると、いずれの世代も「特に準備していない」が最も多くなっており、備えに対する意識が低い結果となっている。

【災害時の備え 年齢別集計】

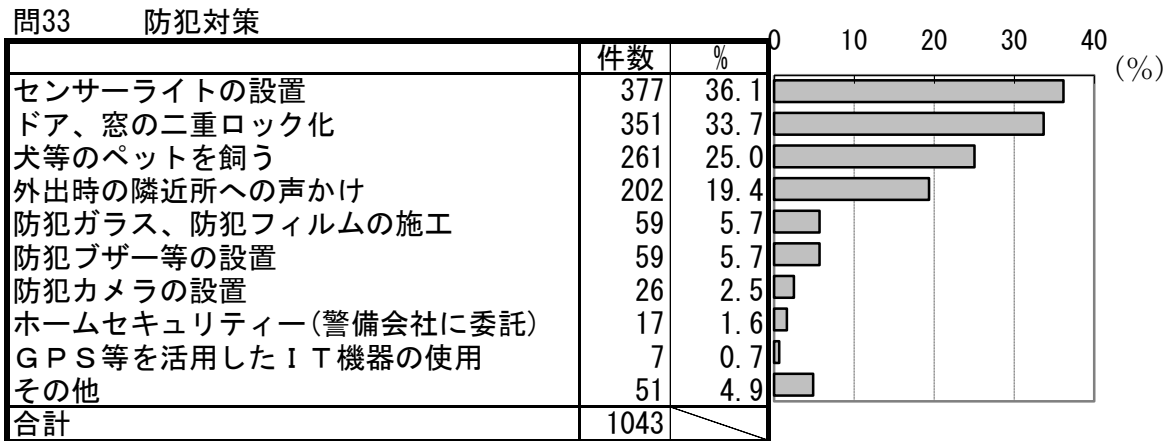
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
避難場所の確認	41.7	29.0	36.2	39.0	38.1
携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備	8.3	22.6	24.8	25.7	38.2
家族との連絡方法の確認	8.3	17.7	20.0	24.1	22.2
浴槽での水の溜め置き	16.7	11.3	9.5	20.3	23.6
家具などの転倒防止	16.7	12.9	14.3	15.5	18.4
非常用食料の準備	0.0	21.0	10.5	11.2	16.6
防災訓練に参加	0.0	11.3	3.8	8.6	10.7
非常持ち出し用衣類・毛布・貴重品等の準備	0.0	0.0	6.7	3.7	8.6
ブロック塀などの補強	0.0	1.6	2.9	2.1	1.1
特に準備していない	41.7	40.3	39.0	40.6	39.0



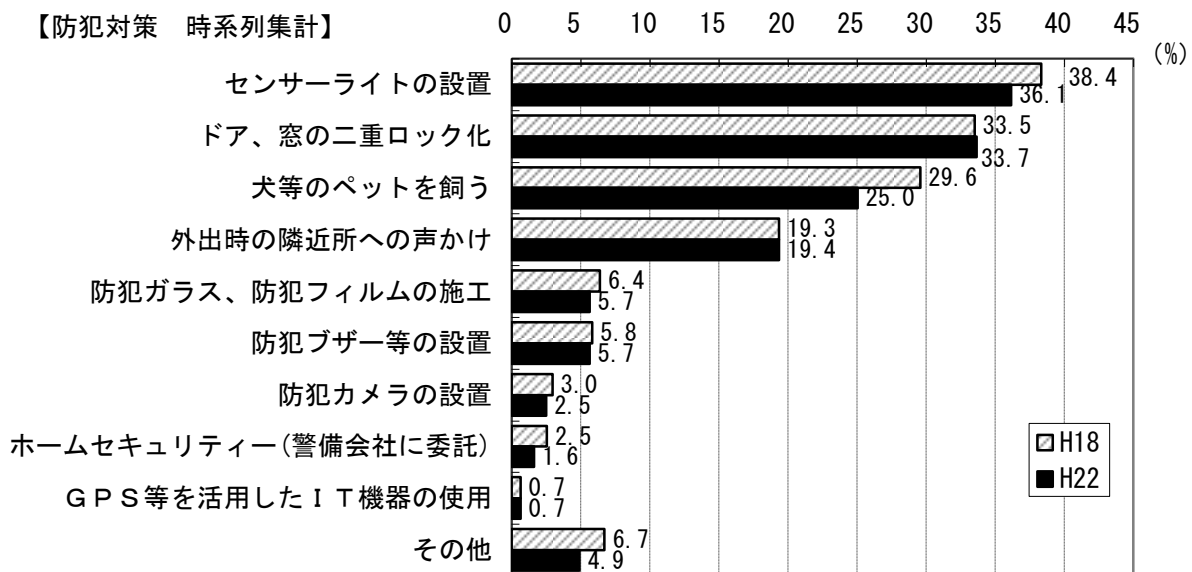
## 8-7 防犯対策

【問33】あなたが現在行っている防犯対策は何ですか。【複数回答】

○防犯対策については、「センサーライトの設置」が最も多く36.1%、次いで「ドア、窓の二重ロック化」33.7%、「犬等のペットを飼う」25.0%となっている。



○時系列でみると、大きく伸びた対策はなく、ほぼ同様の結果となっている。



○年齢別でみると、上位項目は同様の結果となっているが、若い世代では「外出時の隣近所への声かけ」が低くなっている。

【防犯対策 年齢別集計】 (単位：%)

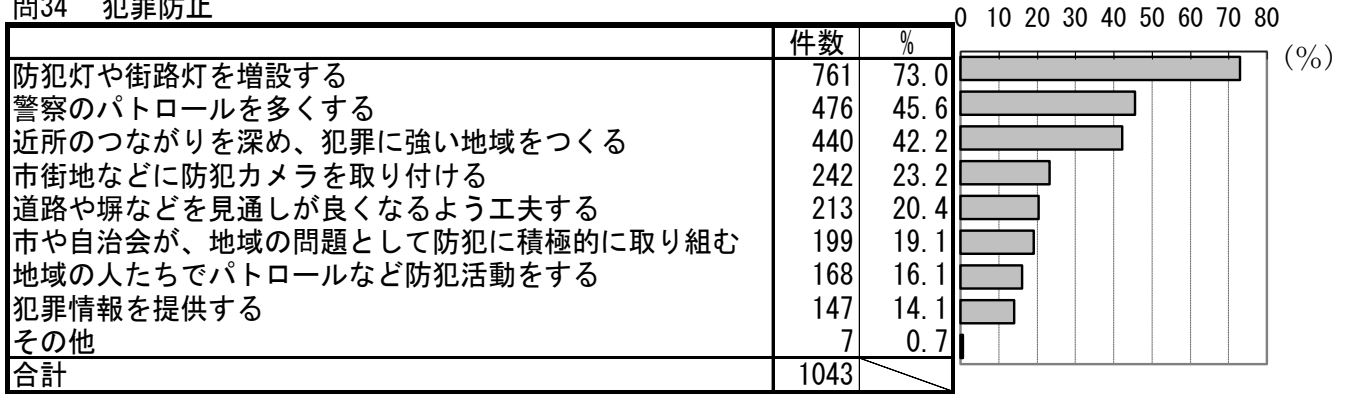
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
センサーライトの設置	25.0	30.6	38.1	43.3	34.6
ドア、窓の二重ロック化	33.3	37.1	45.7	25.1	33.8
犬等のペットを飼う	16.7	33.9	22.9	31.0	22.5
外出時の隣近所への声かけ	0.0	8.1	7.6	17.6	22.8
防犯ガラス、防犯フィルムの施工	8.3	6.5	6.7	8.6	4.7
防犯ブザー等の設置	8.3	9.7	7.6	3.2	5.4
防犯カメラの設置	0.0	3.2	0.0	4.3	2.4
ホームセキュリティ(警備会社に委託)	0.0	0.0	1.0	2.1	1.8
GPS等を活用したIT機器の使用	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9
その他	0.0	1.6	4.8	2.7	5.9

## 8-8 犯罪防止

【問 34】 あなたの身の回りで起きる犯罪を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

○犯罪を防止するために、「防犯灯や街路灯を増設する」が最も多く 73.0%と過半数を占め、次いで「警察のパトロールを多くする」「近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる」が多くなっている。

問34 犯罪防止



○年齢別にみると、いずれの世代も「防犯灯や街路灯を増設する」が最も多くなっている。他の世代で2番目に多い「警察のパトロールを多くする」は、“20歳代”では低く、「近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる」が多い結果となっている。

【防犯対策 年齢別集計】

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
防犯灯や街路灯を増設する	83.3	74.2	81.9	71.7	71.9
警察のパトロールを多くする	16.7	46.8	43.8	42.8	47.1
近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる	41.7	32.3	41.0	41.7	43.2
市街地などに防犯カメラを取り付ける	0.0	22.6	24.8	21.9	23.4
道路や塀などを見通しが良くなるよう工夫する	8.3	11.3	27.6	21.4	19.9
市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む	0.0	21.0	12.4	13.4	22.1
地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする	16.7	22.6	9.5	16.0	16.6
犯罪情報を提供する	16.7	17.7	21.9	16.0	12.2
その他	0.0	0.0	0.0	1.6	0.5

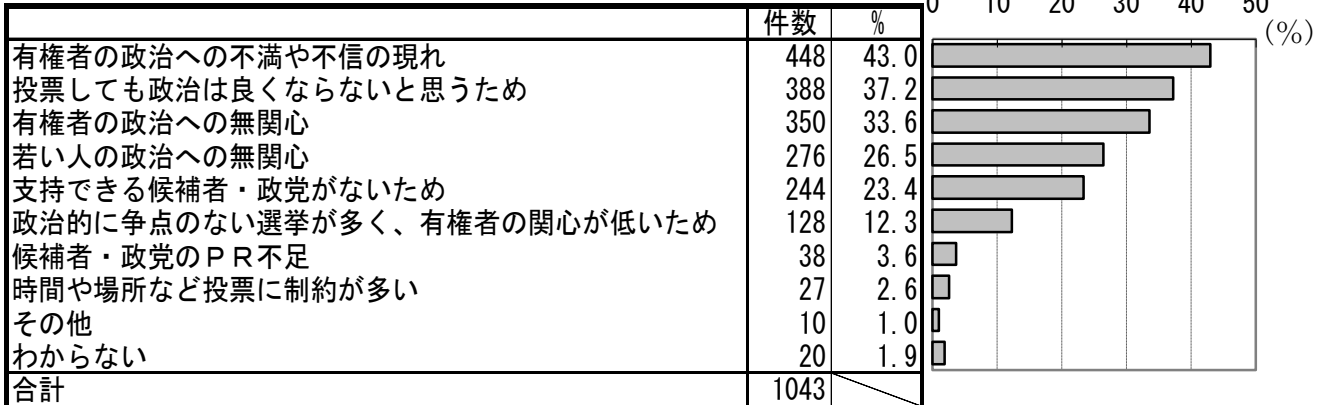
# 9. 選挙

## 9-1 投票率の低い理由

【問 35】最近、選挙の投票率の低い状況が続いています。あなたは、その理由は何だと思えますか。【複数回答】

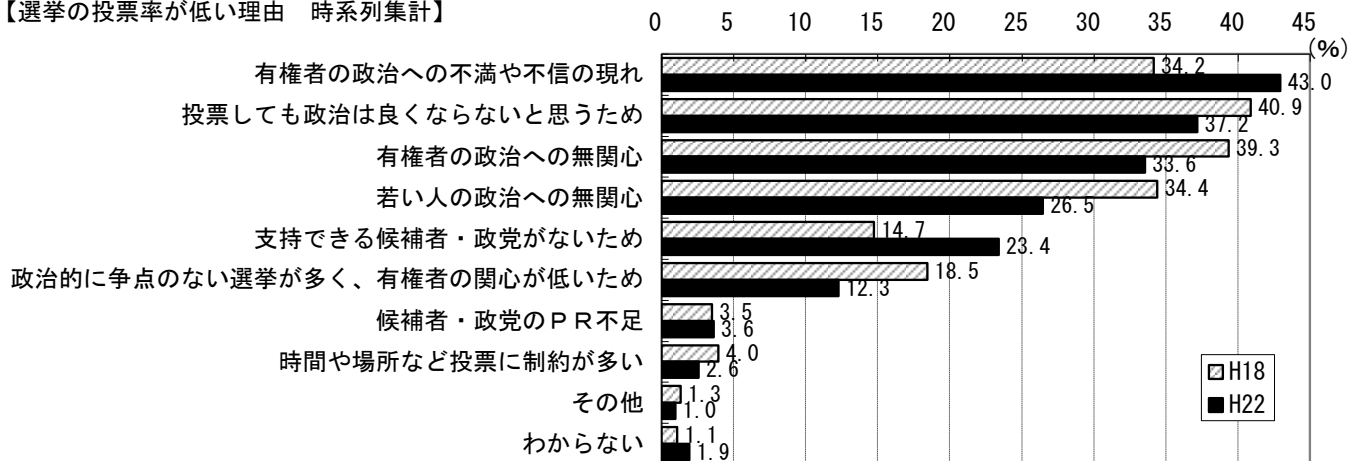
○投票率が低い理由については「有権者の政治への不満や不信の現れ」が最も多く 43.0%、次いで「投票しても政治は良くなると思うため」37.2%、「有権者の政治への無関心」33.6%となっている。

問35 選挙の投票率が低い理由



○時系列でみると、ほぼ同様の順位となっているが、「有権者の政治への不満や不信の現れ」「指示できる候補者・政党がないため」の割合が増加しており、政治不信が強くなっている。

【選挙の投票率が低い理由 時系列集計】



○年齢別にみると、いずれの世代も「投票しても政治は良くなると思うため」が上位項目となっている。40歳以上では「有権者の政治への不満や不信の現れ」が、「20歳代」「30歳代」では「有権者の政治への無関心」が上位項目となっている。

【選挙の投票率が低い理由 年齢別集計】

(単位：%)

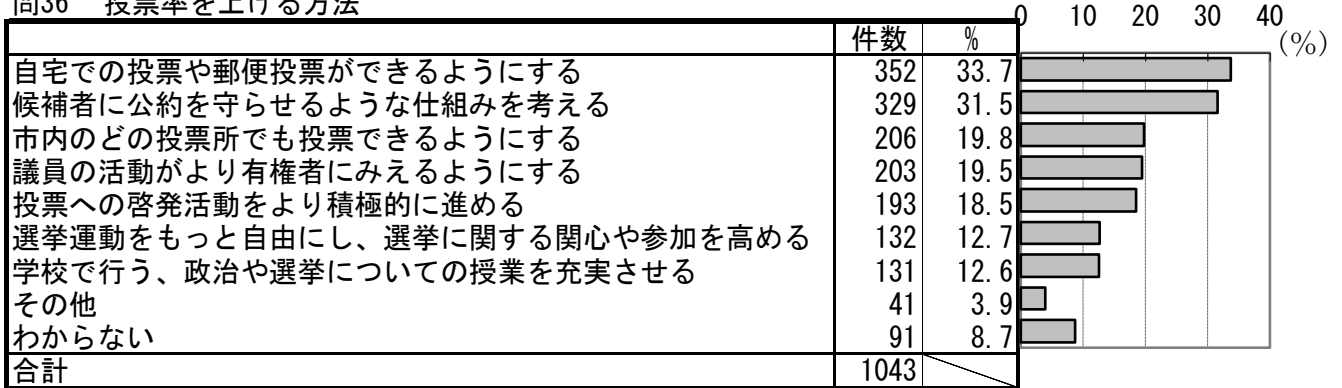
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
有権者の政治への不満や不信の現れ	25.0	35.5	44.8	38.0	45.0
投票しても政治は良くなると思うため	41.7	48.4	37.1	38.0	36.6
有権者の政治への無関心	41.7	41.9	34.3	31.6	32.6
若い人の政治への無関心	16.7	22.6	13.3	18.7	31.4
支持できる候補者・政党がないため	16.7	24.2	34.3	31.6	19.8
政治的に争点のない選挙が多く、有権者の関心が低い	8.3	3.2	13.3	16.0	11.9
候補者・政党のPR不足	0.0	1.6	5.7	4.3	3.5
時間や場所など投票に制約が多い	8.3	4.8	2.9	4.8	1.4
その他	0.0	0.0	1.9	1.1	0.8
わからない	0.0	0.0	1.0	2.1	2.3

## 9-2 投票率を上げる方法

【問 36】 選挙の投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。【複数回答】

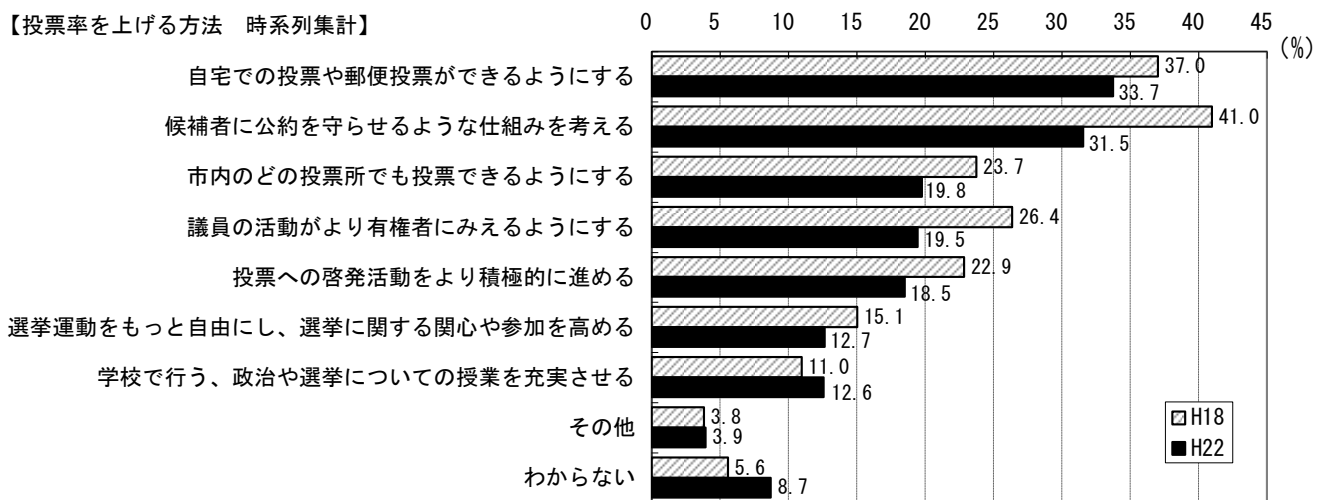
○投票率をあげる方法は「自宅での投票や郵便投票ができるようにする」が最も多く 33.7%、次いで「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」が 31.5%となっている。

問36 投票率を上げる方法



○時系列でみると、ほとんどの項目で割合が減少しているが、概ね同様の順位となっており、投票の仕組み、候補者に対する意見が多くなっている。

【投票率を上げる方法 時系列集計】



○年齢別にみると、いずれの年代も「自宅での投票や郵便投票ができるようにする」が上位項目となっている。“20歳代”では同率で「市内のどの投票所でも投票できるようにする」が多く、投票の仕組みへの対応が求められている。その他の世代では、「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」が多く、投票の仕組みや候補者に対する意見もともに多くなっている。

【投票率を上げる方法 年齢別集計】

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
自宅での投票や郵便投票ができるようにする	33.3	40.3	47.6	38.0	29.9
候補者に公約を守らせるような仕組みを考える	8.3	33.9	36.2	26.7	32.3
市内のどの投票所でも投票できるようにする	33.3	17.7	21.9	17.6	19.5
議員の活動がより有権者にみえるようにする	8.3	16.1	17.1	25.1	18.9
投票への啓発活動をより積極的に進める	0.0	9.7	12.4	20.9	19.9
選挙運動をもっと自由にし、選挙に関する関心や参加を高める	8.3	9.7	6.7	12.3	14.2
学校で行う、政治や選挙についての授業を充実させる	25.0	9.7	7.6	11.8	13.6
その他	16.7	4.8	6.7	5.9	2.4
わからない	0.0	8.1	7.6	5.3	10.3

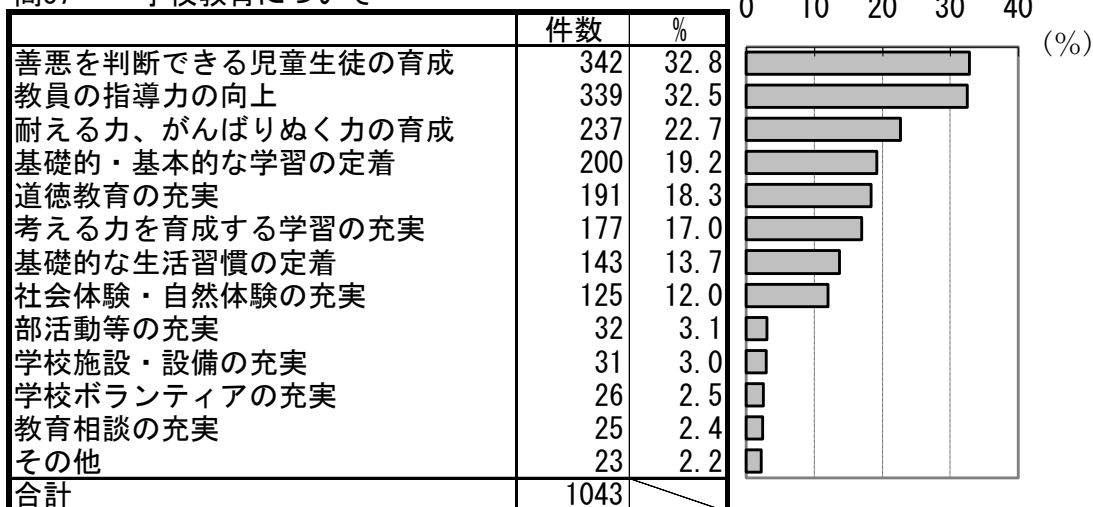
# 10. 教育・スポーツ

## 10-1 学校教育について

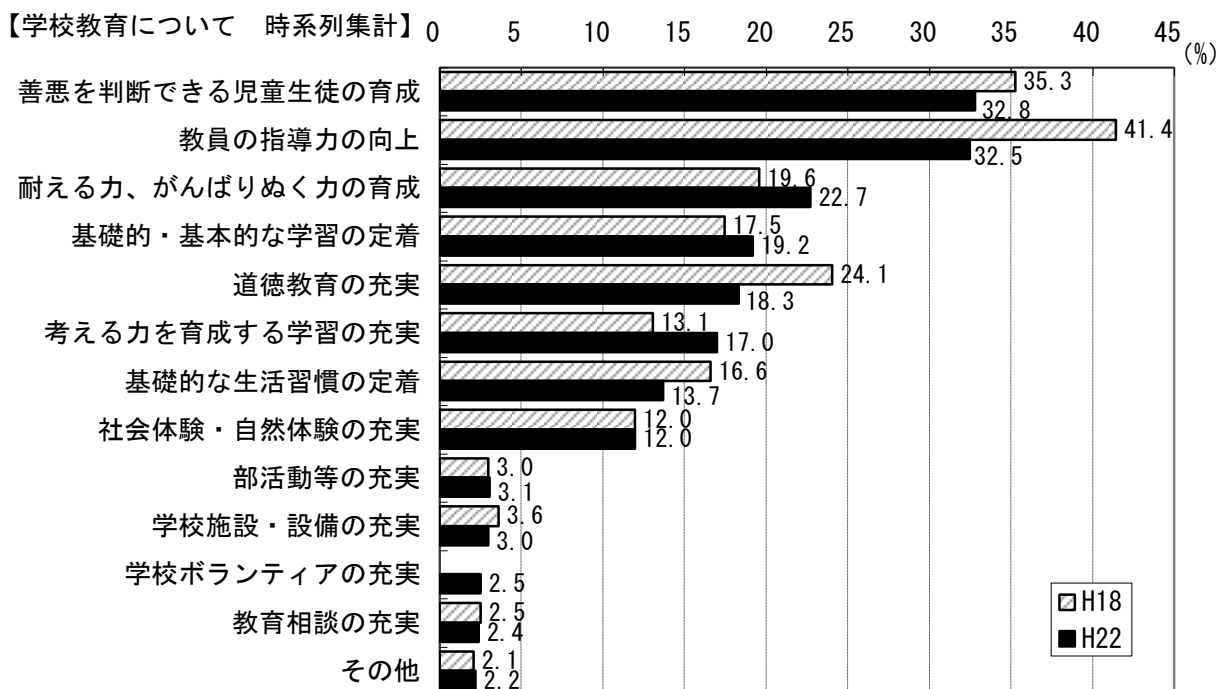
【問 37】あなたは、羽生市の学校教育をさらに行き届いたものにするためには、特に何に力を注ぐべきだと思いますか。【複数回答】

○学校教育で特に力を注ぐべき項目については「善悪を判断できる児童生徒の育成」が最も多く 32.8%、次いで「教員の指導力の向上」32.5%、「耐える力、がんばりぬく力の育成」22.7%となっており、児童生徒の精神面での育成や教員の資質についての意見が多く、「学校施設・設備の充実」は3.0%にとどまっている。

問37 学校教育について



○時系列でみると、「教員の指導力の向上」「道徳教育の充実」の割合が減少し、「耐える力、がんばりぬく力の育成」「考える力を育成する学習の充実」が増加している。より精神面での育成を望む方が増加している結果となっている。

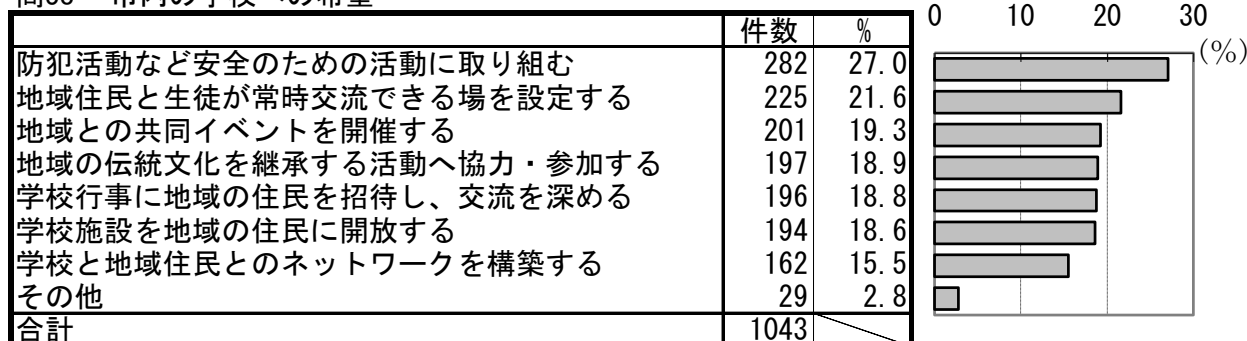


## 10-2 市内の学校への希望

【問38】あなたは、市内の学校にどのようなことを望みますか。【複数回答】

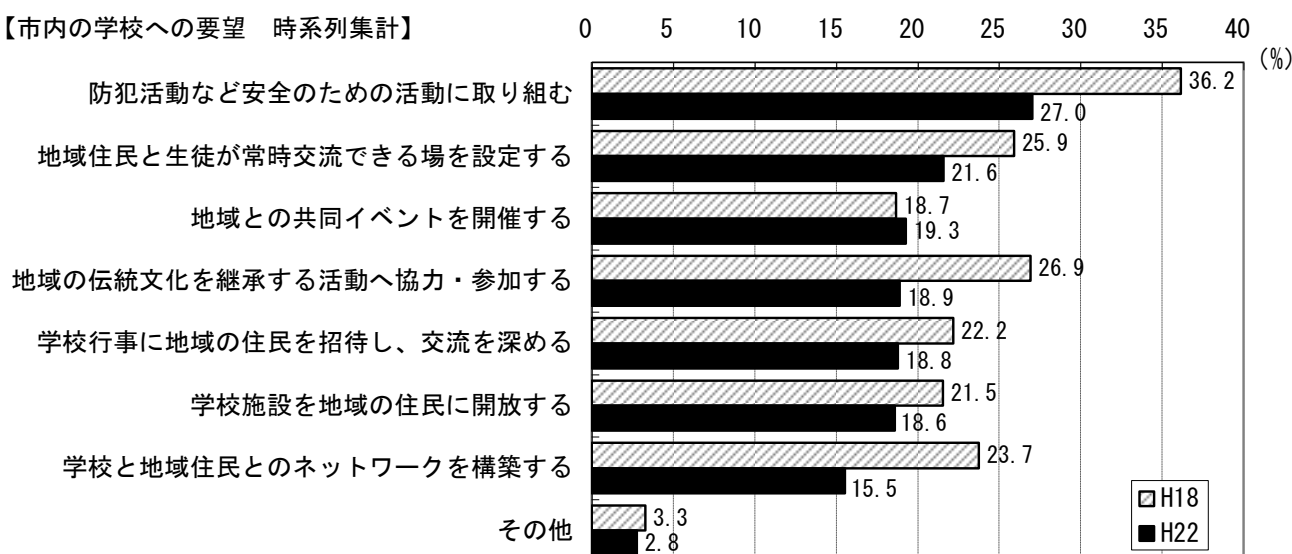
○学校に望むことについては、「防犯活動など安全のための活動に取り組む」が最も多く27.0%となっている。意見が分散しており、その他の項目については20%前後となっている。

問38 市内の学校への希望



○時系列でみると、前回調査においても「防犯活動など安全のための活動に取り組む」が最も多くなっている。「地域住民と生徒が常時交流できる場を設定する」「学校と地域住民とのネットワークを構築する」など地域交流に関する項目は前回調査に比べ、減少傾向にある。

【市内の学校への要望 時系列集計】



### 10-3 スポーツ頻度と理由

【問39】あなたは、どれ位の頻度でスポーツを行っていますか。

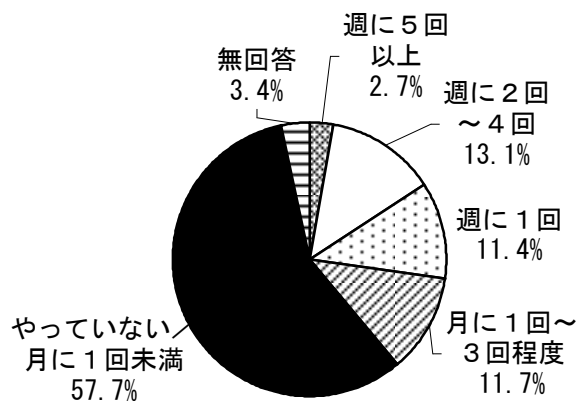
○スポーツについて「やっていない／月に1回未満」が最も多く 57.7%と過半数を占めている。

○定期的にスポーツを行っている方の中では「週に2回～4回」が最も多く 13.1%、次いで「月に1回～3回程度」が 11.7%となっている。

問39 スポーツをする頻度

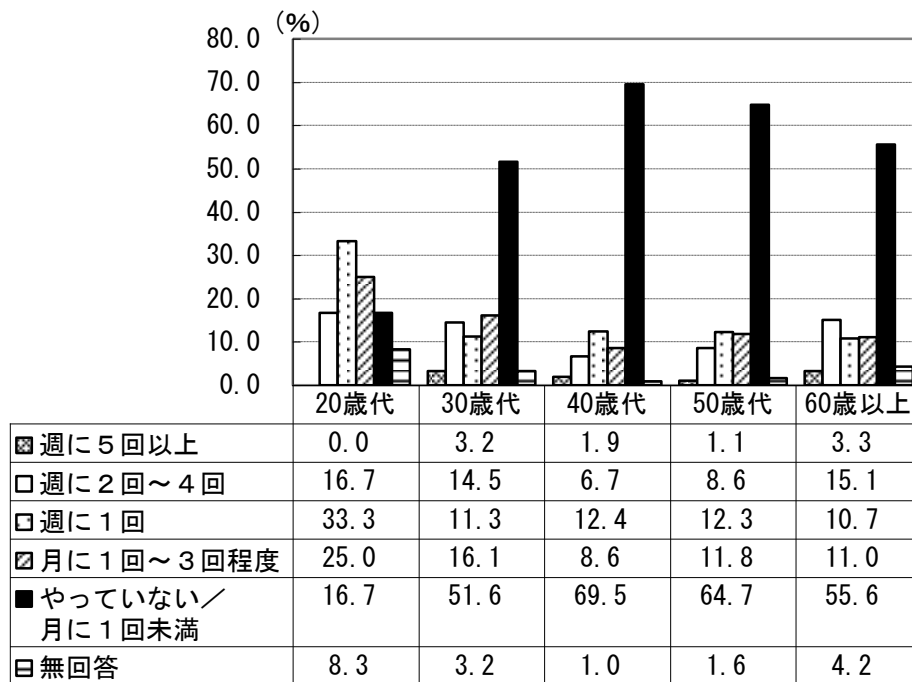
	件数	%
週に5回以上	28	2.7
週に2回～4回	137	13.1
週に1回	119	11.4
月に1回～3回程度	122	11.7
やっていない／月に1回未満	602	57.7
無回答	35	3.4
合計	1043	100.0

【問39 スポーツをする頻度】n=1043



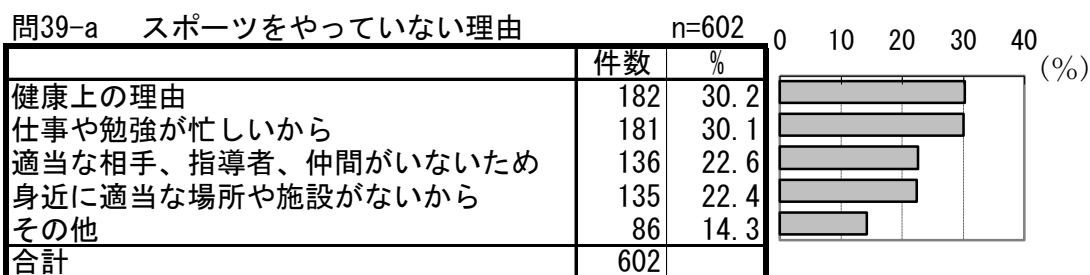
○年齢別にみると、「やっていない／月に1回未満」は“20歳代”が最も少なく、“40歳代”が最も多くなっている。また、“40歳代”“50歳代”では、週に2回以上の高い頻度でスポーツをしている方が少ない結果となっている。

【スポーツをする頻度 年齢別集計】



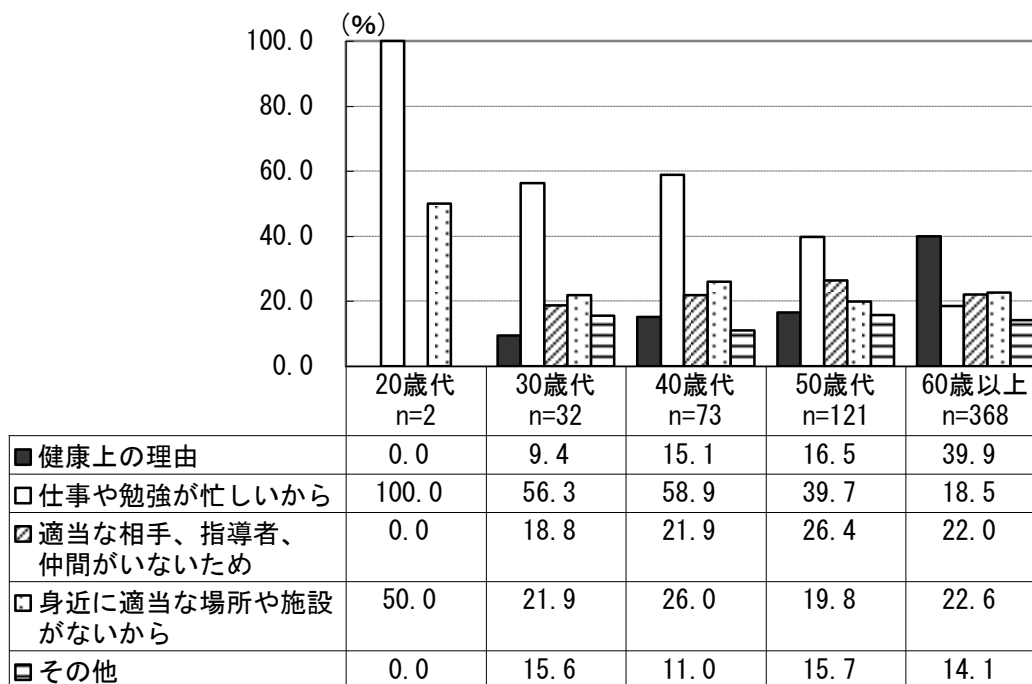
【問 39-a】問 39 でやっていない/月に 1 回未満(5)を選んだ方にお伺いします。スポーツをやっていない理由は何ですか。【複数回答】

○スポーツをしない理由については「健康上の理由」「仕事や勉強が忙しいから」が多くなっている。



○年齢別にみると、年齢が若いほど「仕事や勉強が忙しいから」が多く、年齢が高くなるほど「健康上の理由」が多くなっている。

【スポーツをやっていない理由 年齢別集計】





# 11. 人権・男女平等観

## 11-1 基本的人権

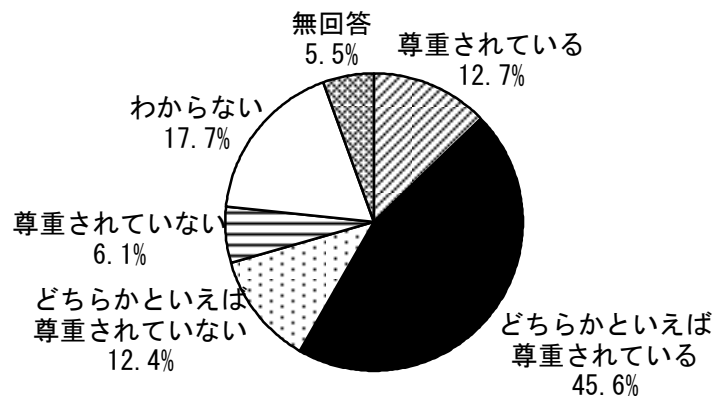
【問40】「人権」とは誰もが生まれながらにして持っている権利であり、幸せに生きるためになくってはならないものです。あなたは、今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。

○基本的人権について、最も多い「どちらかといえば尊重されている」45.6%と、次いで多い「尊重されている」12.7%を合わせると、「尊重されている」とする方は過半数を占めている。

問40 基本的人権

	件数	%
尊重されている	132	12.7
どちらかといえば尊重されている	476	45.6
どちらかといえば尊重されていない	129	12.4
尊重されていない	64	6.1
わからない	185	17.7
無回答	57	5.5
合計	1043	100.0

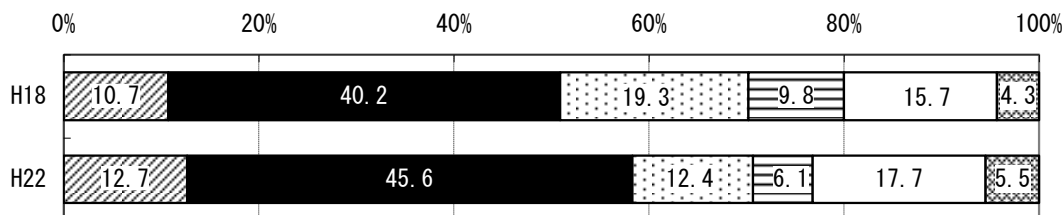
【問40 基本的人権】n=1043



※「尊重されている」は「尊重されている」と「どちらかといえば尊重されている」の合計、「尊重されていない」は「どちらかといえば尊重されていない」と「尊重されていない」の合計とする。(以下同様)

○時系列でみると、「尊重されている」は増加し、「尊重されていない」は減少している。

【基本的人権 時系列集計】



■ 尊重されている ■ どちらかといえば尊重されている □ どちらかといえば尊重されていない □ 尊重されていない □ わからない □ 無回答

## 11-2 身の回りの男女平等観

【問 41】 あなたのまわりの各場面において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

○男女平等観についての印象は、「平等である」とした人が最も多かったのは「教育の中」で、過半数の 58.2% となっている。また、「平等である」と回答をした人が最も少なかったのは、「慣習・しきたり・社会通念など」で 23.7%、次いで少ないのが「職場の中」で 26.3%であった。

【(1)～(5)表・グラフ(P71-72) 参照】

○さらに、男女平等感に対する印象(イメージ)を一様に評価するため、各項目の 5 段階評価を加重平均によって点数化した。数値がプラスになるほど「男性が優遇されている」、数値がマイナスになるほど「女性が優遇されている」、また数値が 0 に近くなるほど「男女平等感」ということになる。

### 男女平等観に対する印象(イメージ)

例)

(「男性が優遇されている」件数×2点+「どちらかといえば男性が優遇されている」件数×1点  
+「平等である」件数×0点+「どちらかといえば女性が優遇されている」件数×(-1)点  
+「女性が優遇されている」件数×(-2)点)

回答者数-(「わからない」件数+「無回答」件数) = 平等観

○最も男女平等であるというイメージをもたれているのは「教育の中」であった。

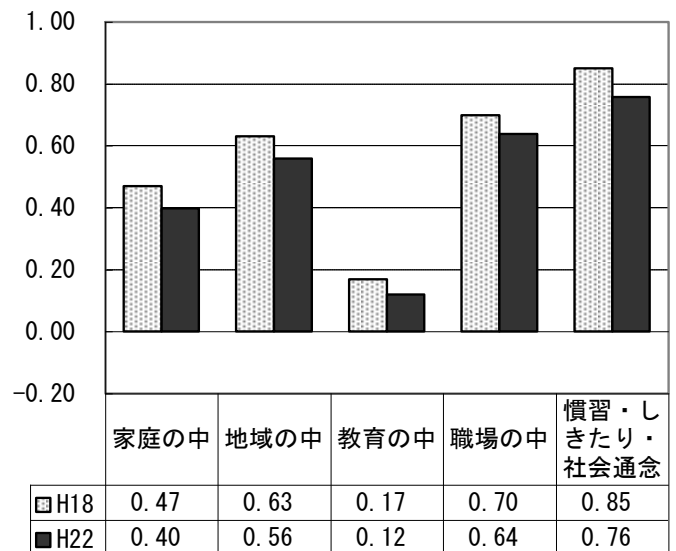
○また、男性が優遇されているイメージが最も多く持たれているのは「慣習・しきたり・社会通念など」で、次いで「職場の中」であった。

○一方、女性が優遇されていると感じている人が多い項目はない。

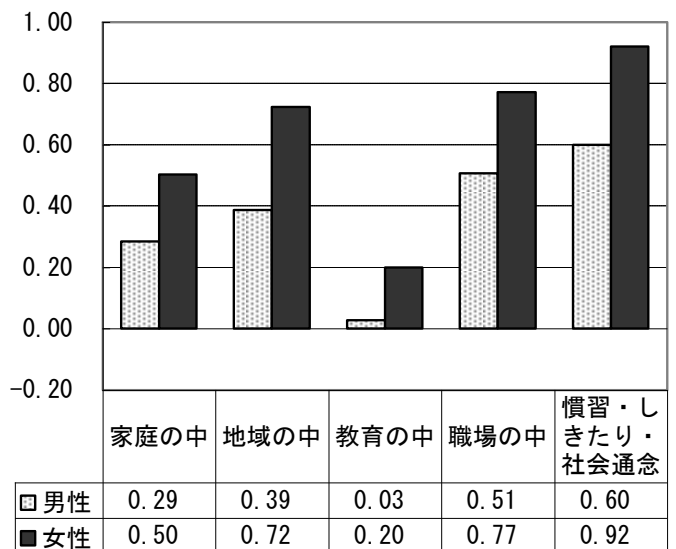
○これを時系列でみると多い順番は変わらないが、いずれの項目も前回調査より男女平等感に近付いている。

○また、男女別にみると、いずれの項目も男性に比べ女性の方が強く“男性が優遇されている”と感じている。

【男女平等観 時系列別加重平均値】



【男女平等観 性別加重平均値】

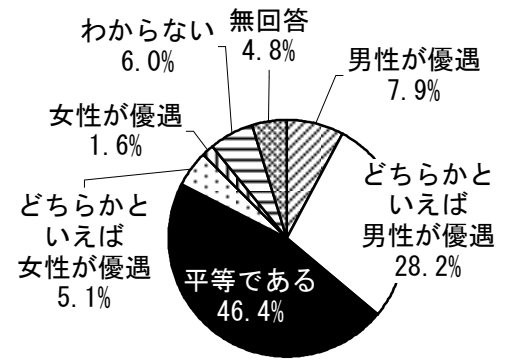


(1) 家庭の中で

【問41-1 家庭の中で】 n=1043

問41-1 家庭の中で

	件数	%
男性が優遇されている	82	7.9
どちらかといえば男性が優遇されている	294	28.2
平等である	484	46.4
どちらかといえば女性が優遇されている	53	5.1
女性が優遇されている	17	1.6
わからない	63	6.0
無回答	50	4.8
合計	1043	100.0

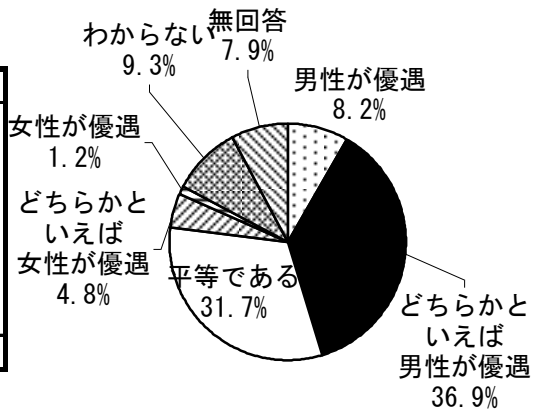


(2) 地域の中で

【問41-2 地域の中で】 n=1043

問41-2 地域の中で

	件数	%
男性が優遇されている	86	8.2
どちらかといえば男性が優遇されている	385	36.9
平等である	331	31.7
どちらかといえば女性が優遇されている	50	4.8
女性が優遇されている	12	1.2
わからない	97	9.3
無回答	82	7.9
合計	1043	100.0

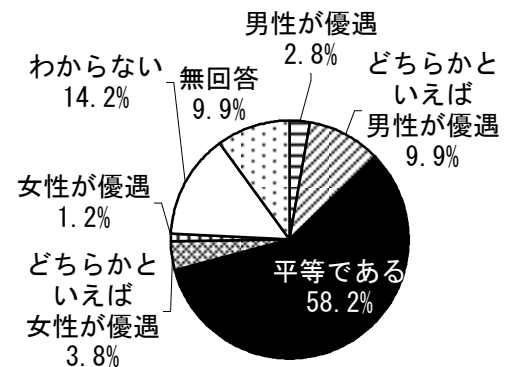


(3) 教育の中で

【問41-3 教育の中で】 n=1043

問41-3 教育の中で

	件数	%
男性が優遇されている	29	2.8
どちらかといえば男性が優遇されている	103	9.9
平等である	607	58.2
どちらかといえば女性が優遇されている	40	3.8
女性が優遇されている	13	1.2
わからない	148	14.2
無回答	103	9.9
合計	1043	100.0

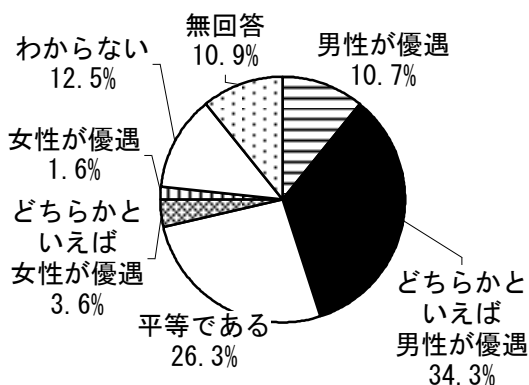


(4) 職場の中で

問41-4 職場の中で

	件数	%
男性が優遇されている	112	10.7
どちらかといえば男性が優遇されている	358	34.3
平等である	274	26.3
どちらかといえば女性が優遇されている	38	3.6
女性が優遇されている	17	1.6
わからない	130	12.5
無回答	114	10.9
合計	1043	100.0

【問41-4 職場の中で】 n=1043

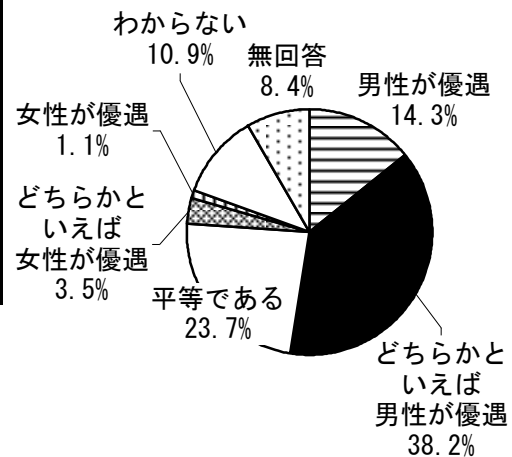


(5) 慣習・しきたり・社会通念などで

問41-5 慣習・しきたり・社会通念などで

	件数	%
男性が優遇されている	149	14.3
どちらかといえば男性が優遇されている	398	38.2
平等である	247	23.7
どちらかといえば女性が優遇されている	36	3.5
女性が優遇されている	11	1.1
わからない	114	10.9
無回答	88	8.4
合計	1043	100.0

【問41-5 慣習・しきたり・社会通念】 n=1043



### 11-3 「男は仕事、女は家庭」の考え方

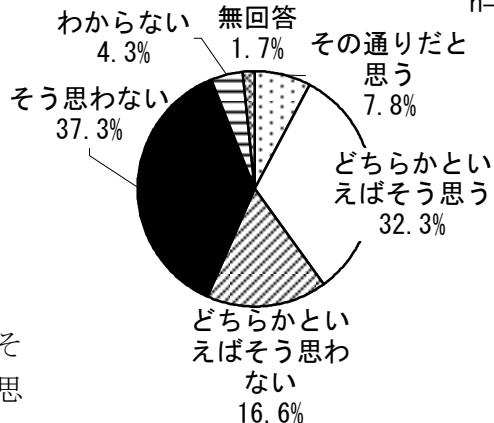
【問42】あなたは、『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか。

- 『男は仕事、女は家庭』という考え方については、「そう思わない」が最も多く 37.3%で、「どちらかといえばそう思わない」16.6%と合わせ、“思わない”が 53.9%と過半数を占めている。
- 一方、「どちらかといえばそう思う」も 32.3%と2番目に多く、「その通りだと思う」7.8%と合わせ、“思う”が 40.1%を占めている。

問42 『男は仕事、女は家庭』という考え方

	件数	%
その通りだと思う	81	7.8
どちらかといえばそう思う	337	32.3
どちらかといえばそう思わない	173	16.6
そう思わない	389	37.3
わからない	45	4.3
無回答	18	1.7
合計	1043	100.0

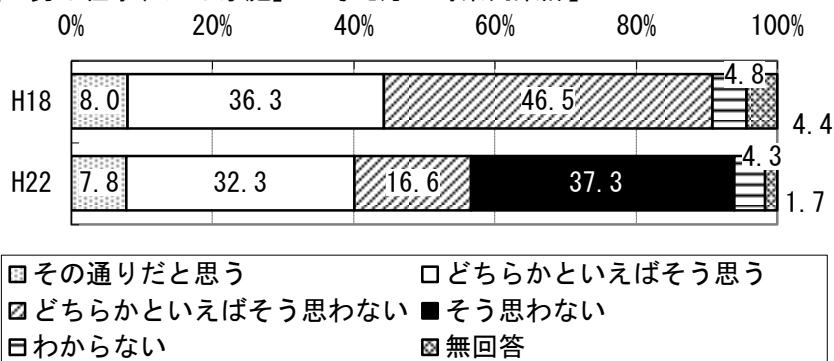
【問42「男は仕事、女は家庭」という考え方】  
n=1043



※“思う”は「その通りだと思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計、“思わない”は「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」の合計とする。(以下同様)

- 時系列でみると、選択肢項目に一部変更（「そう思わない」が追加）があったが、“思う”が減少し、“思わない”が増加している。
- 一方、「その通りだと思う」は若干の減少にとどまっており、ほぼ同率となっている。

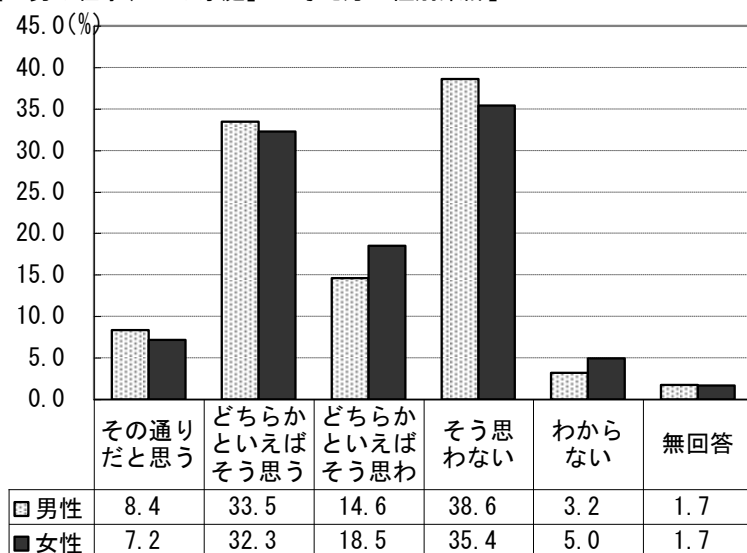
【「男は仕事、女は家庭」の考え方 時系列集計】



※H18調査では「そう思わない」の選択肢なし

- 性別にみると、男女ともに「そう思わない」が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」となっている。若干のひらきはあるが、男女とも同様の割合となっている。

【「男は仕事、女は家庭」の考え方 性別集計】



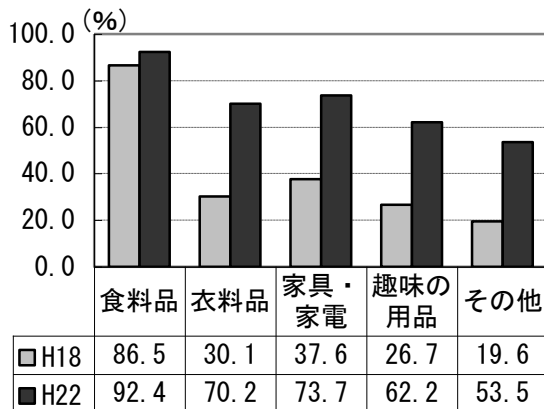
# 12. 産業・商業

## 12-1 購買調査

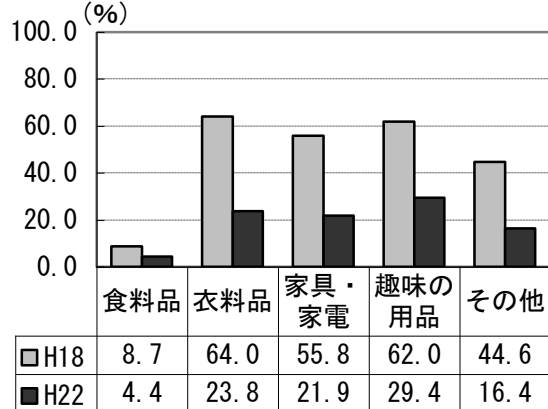
【問 43】あなたは、次の商品を主にどこの商店で購入していますか。

- “食料品”については、「市内の小売店」が、“衣料品”“家具・家電”“趣味の用品”“その他”では「市内の大型店」が多くなっている。【(1)～(5)参照】
- 時系列で、市内・市外の買い物をみると、いずれの項目も“市内”での買い物が増加し、“市外”での買い物が減少している。“食料品”については、前回調査でも“市内”が多く過半数を占めていたが、今回調査では、その他の項目も含め、全ての項目で“市内”が過半数を占めている。

【市内での買い物 時系列集計】



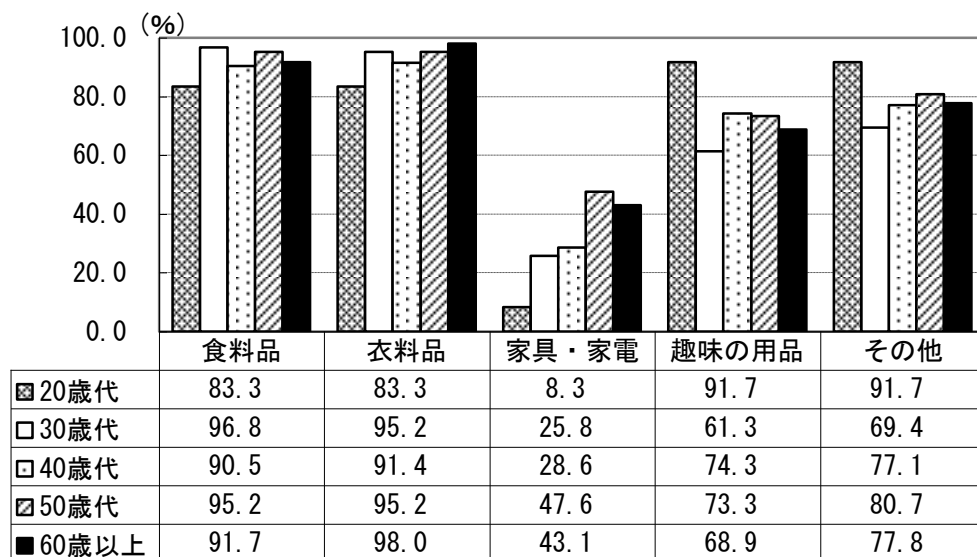
【市外での買い物 時系列集計】



※ “市内”は「市内の個人商店」「市内の小売店」「市内の大型店」の合計、“市外”は「市外の個人商店」「市外の小売店」「市外の大型店」の合計とする。(以下同様)

- 年齢別で市内での買い物をみると、概ね同様の結果となっているが、“20歳代”については他の世代に比べ、“衣料品”の割合が高く、“家具・家電”“趣味の用品”“その他”の割合が低くなっている。

【市内での買い物 年齢別集計】

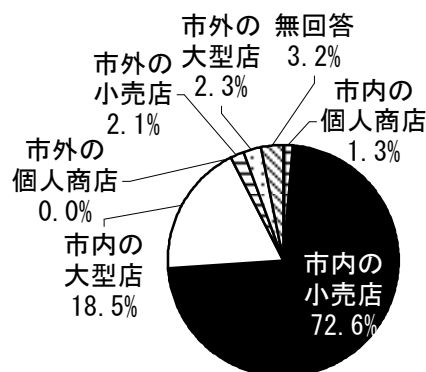


(1) 食料品

問43-1 食料品

	件数	%
市内の個人商店	14	1.3
市内の小売店(小型スーパーを含む)	757	72.6
市内の大型店	193	18.5
市外の個人商店		0.0
市外の小売店(小型スーパーを含む)	22	2.1
市外の大型店	24	2.3
無回答	33	3.2
合計	1043	100.0

【問43-1 食料品】 n=1043

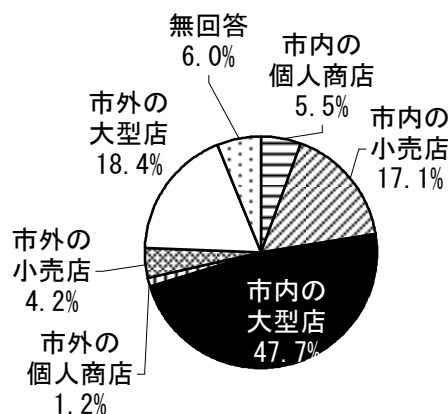


(2) 衣料品

問43-2 衣料品

	件数	%
市内の個人商店	57	5.5
市内の小売店(小型スーパーを含む)	178	17.1
市内の大型店	497	47.7
市外の個人商店	12	1.2
市外の小売店(小型スーパーを含む)	44	4.2
市外の大型店	192	18.4
無回答	63	6.0
合計	1043	100.0

【問43-2 衣料品】 n=1043

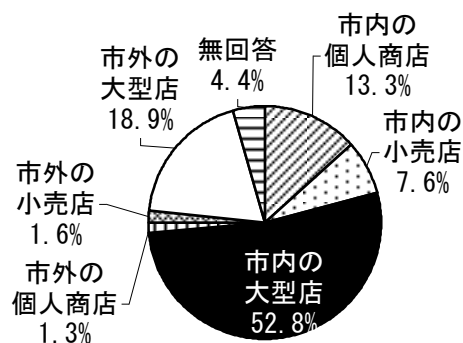


(3) 家具・家電

問43-3 家具・家電

	件数	%
市内の個人商店	139	13.3
市内の小売店(小型スーパーを含む)	79	7.6
市内の大型店	551	52.8
市外の個人商店	14	1.3
市外の小売店(小型スーパーを含む)	17	1.6
市外の大型店	197	18.9
無回答	46	4.4
合計	1043	100.0

【問43-3 家具・家電】 n=1043

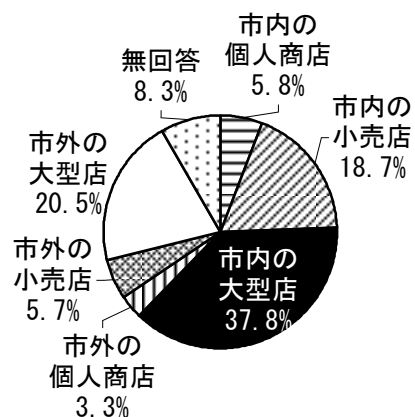


(4) 趣味の用品

問43-4 趣味の用品

	件数	%
市内の個人商店	60	5.8
市内の小売店(小型スーパーを含む)	195	18.7
市内の大型店	394	37.8
市外の個人商店	34	3.3
市外の小売店(小型スーパーを含む)	59	5.7
市外の大型店	214	20.5
無回答	87	8.3
合計	1043	100.0

【問43-4 趣味の用品】n=1043

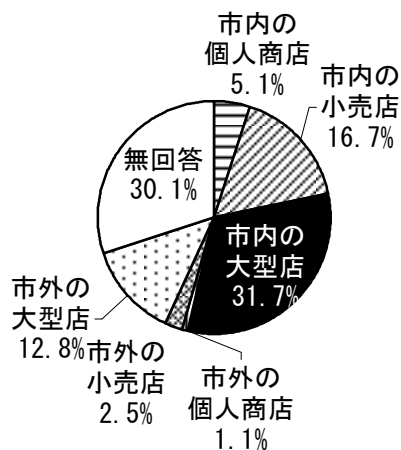


(5) その他

問43-5 その他

	件数	%
市内の個人商店	53	5.1
市内の小売店(小型スーパーを含む)	174	16.7
市内の大型店	331	31.7
市外の個人商店	11	1.1
市外の小売店(小型スーパーを含む)	26	2.5
市外の大型店	134	12.8
無回答	314	30.1
合計	1043	100.0

【問43-5 その他】n=1043



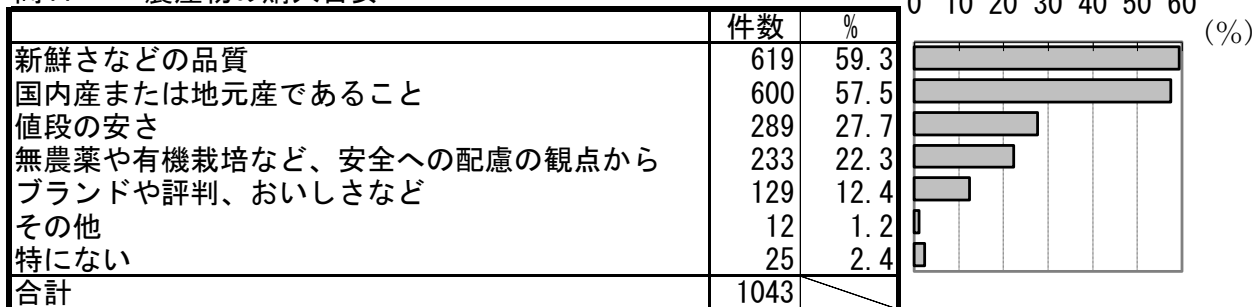


## 12-2 農産物の購入目安

【問 44】あなたが、米や野菜などの農産物を購入するに当たって、目安にしていることはどのようなことですか。【複数回答】

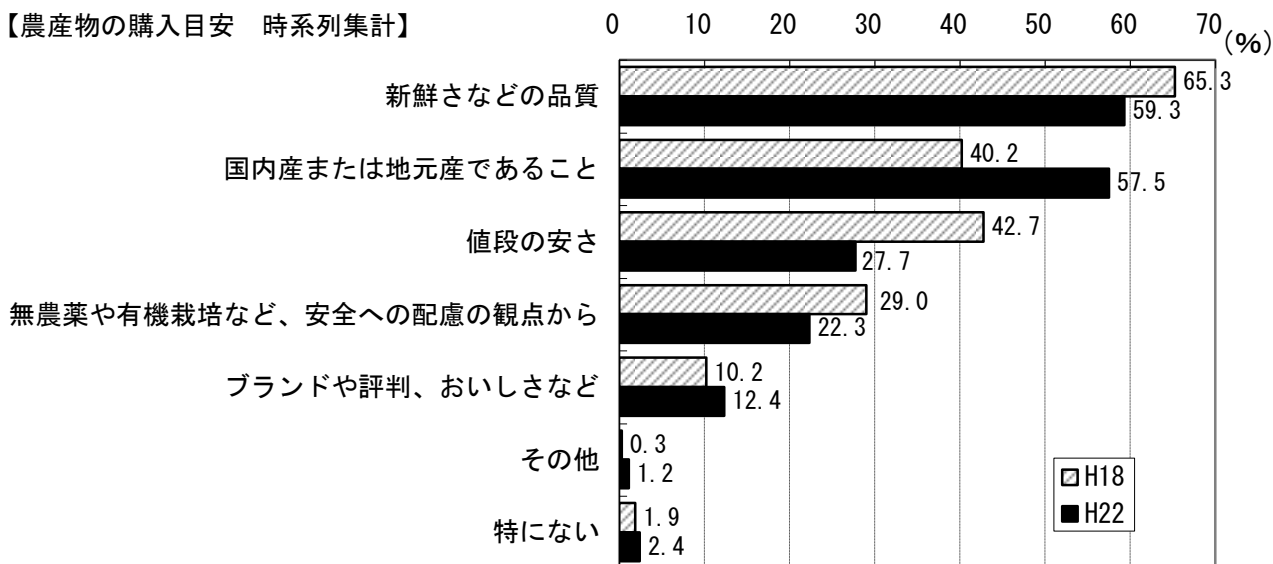
○米や野菜などの農産物を購入する際の目安については「新鮮さなどの品質」が最も多く 59.3%、次いで「国内産または地元産であること」が 57.5%を占め、いずれも過半数となっている。

問44 農産物の購入目安



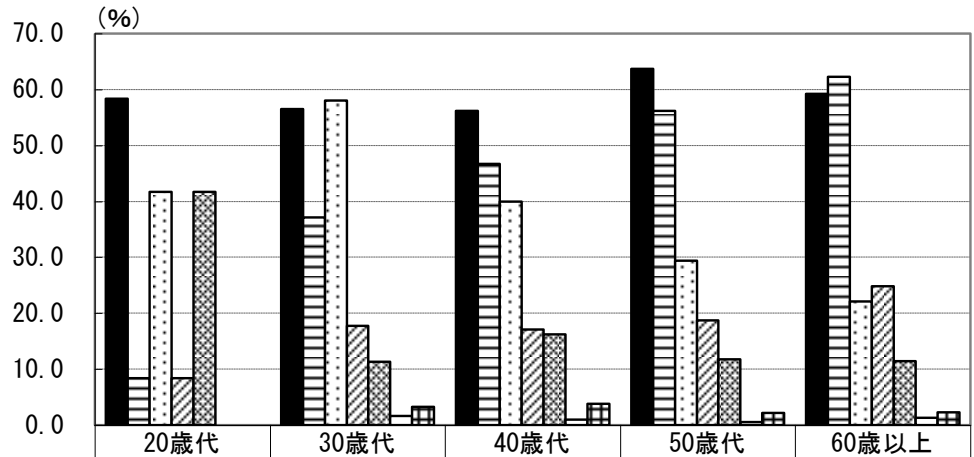
○時系列でみると、「値段の安さ」が減少し、「国内産または地元産であること」が増加しており、安さよりも品質や産地をより意識する傾向となっている。また、特に「国内産または地元産であること」が大きく増加しており、食料自給率・地産地消に対する意識の向上がうかがえる。

【農産物の購入目安 時系列集計】



- 年齢別でみると、“20 歳代” “40 歳代” “50 歳代” で「新鮮さなどの品質」が最も多く、“30 歳代” では「値段の安さ」、「60 歳以上」では「国内産または地元産であること」が最も多くなっている。
- 年齢が高くなるほど「国内産または地元産であること」の割合が高くなっており、地産地消に対する意識が高くなっている。また「無農薬や有機栽培など、安全への配慮の観点から」についても年齢が高くなるほど割合が高くなっている。

【農産物購入の目安 年齢別集計】



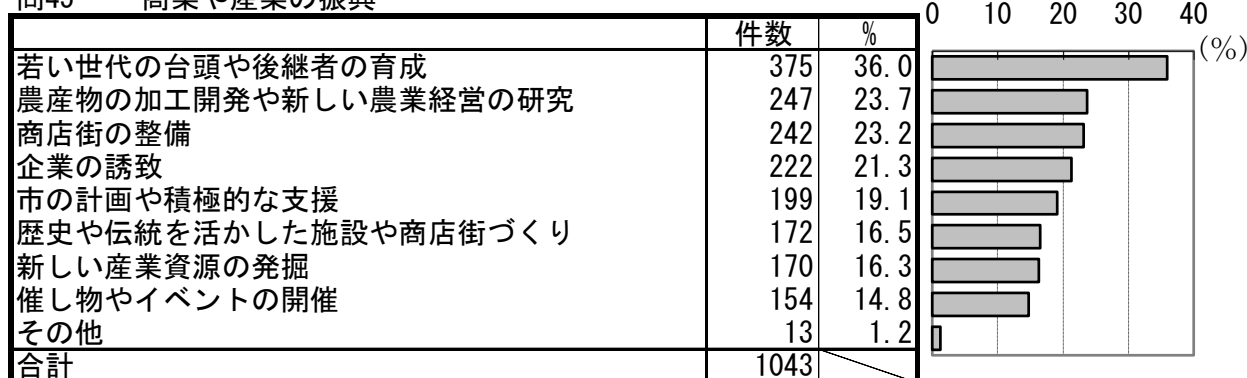
購入の目安	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
■新鮮さなどの品質	58.3	56.5	56.2	63.6	59.2
□国内産または地元産であること	8.3	37.1	46.7	56.1	62.2
□値段の安さ	41.7	58.1	40.0	29.4	22.1
▨無農薬や有機栽培など、安全への配慮の観点から	8.3	17.7	17.1	18.7	24.8
▨ブランドや評判、おいしさなど	41.7	11.3	16.2	11.8	11.5
□その他	0.0	1.6	1.0	0.5	1.4
▨特になし	0.0	3.2	3.8	2.1	2.3

### 12-3 商業・産業の振興

【問 45】あなたは市の商業や産業の振興について何が重要だとお考えですか。【複数回答】

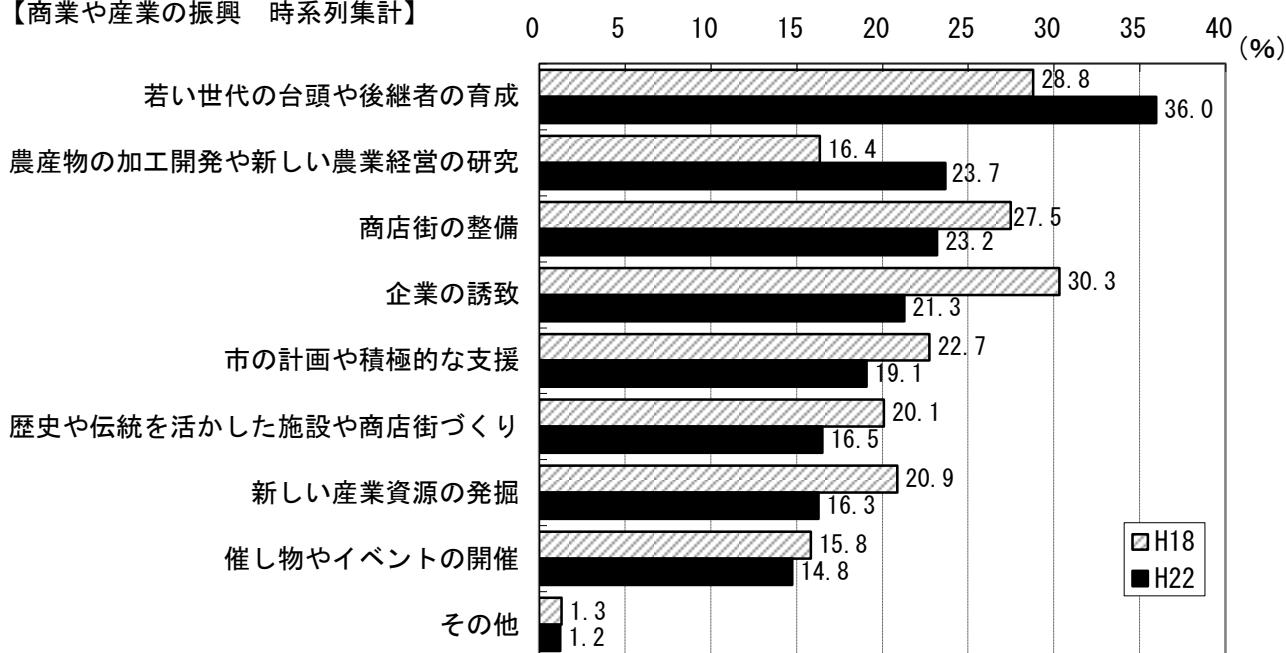
○市の商業や産業の振興について重要なことは「若い世代の台頭や後継者の育成」が最も多く 36.0%、その他の項目については 20%前後で分散している。

問45 商業や産業の振興



○時系列でみると、「若い世代の台頭や後継者の育成」「農産物の加工開発や新しい農業経営の研究」が大きく伸びている。一方、前回調査で最も多かった「企業の誘致」が大きく減少し、現在の商業・産業の強化が求められる結果となっている。

【商業や産業の振興 時系列集計】



# 13. 全般的なまちづくり

## 13-1 施策の満足度

【問 46】あなたが住んでいる地域で、以下の各項目について、どう感じていますか。

- 住んでいる地域で、各施策にどの程度満足をしているかを尋ねたところ、最も“満足”が多いのは「消防・救急の充実」、 “不満足”が多いのは「道路の整備」「下水道の整備」「市民の移動手段の確保」となった。
- さらに、施策の満足度を一様に評価するため、各項目の5段階評価を加重平均によって点数化して、満足度を表すこととした。値がプラスになるほど満足観が強く、マイナスになるほど不満足観が強いこととなる。

### 施策満足度

$$\frac{(\text{「満足」件数} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」件数} \times 1 \text{点} + \text{「普通」件数} \times 0 \text{点} + \text{「やや不満足」件数} \times (-1) \text{点} + \text{「不満足」件数} \times (-2) \text{点})}{\text{回答者数} - (\text{「わからない」件数} + \text{「無回答」件数})} = \text{満足度}$$

- 満足度の評価が最も高いのは「消防・救急の充実」で、次いで「広報・広聴の充実」、「防災対策の推進」となっている。
- 満足度の評価が最も低いのは「就労促進・労働行政」、次いで「商業の振興」、「観光の振興」となっている。
- 分野別にみると、“安全で安心なまちづくり”分野は「防犯対策の推進」はマイナス評価ながらもその他の項目はプラス評価で一応の評価を得ている。一方“活力に満ちたまちづくり”分野は全体的にマイナス評価が多くなっている。
- 地区別にみると、いずれの地区も“安全で安心なまちづくり”分野はプラス評価が多く、“活力に満ちたまちづくり”分野“快適で住みやすいまちづくり”分野はマイナス評価が多くなっている。

【施策の満足度】

			満足	まあまあ満足	普通	やや不満足	不満足	わからない	無回答	加重平均(満足度)	
										値	順位
まちづくりの協働による	市民協働の推進	件数 %	6 0.6	73 7.0	518 49.7	59 5.7	27 2.6	249 23.9	111 10.6	-0.04	8
	人権施策の推進	件数 %	15 1.4	79 7.6	519 49.8	42 4.0	17 1.6	249 23.9	122 11.7	0.05	4
	男女共同参画社会の確立	件数 %	9 0.9	62 5.9	497 47.7	82 7.9	19 1.8	248 23.8	126 12.1	-0.06	11
	国際化の推進	件数 %	4 0.4	36 3.5	346 33.2	144 13.8	47 4.5	331 31.7	135 12.9	-0.34	34
	消費者行政の推進	件数 %	5 0.5	39 3.7	413 39.6	147 14.1	37 3.5	269 25.8	133 12.8	-0.27	30
まちづくりで安心な	消防・救急の充実	件数 %	79 7.6	271 26.0	452 43.3	73 7.0	19 1.8	53 5.1	96 9.2	0.36	1
	防災対策の推進	件数 %	23 2.2	175 16.8	525 50.3	94 9.0	27 2.6	88 8.4	111 10.6	0.09	3
	防犯対策の推進	件数 %	18 1.7	146 14.0	494 47.4	137 13.1	41 3.9	90 8.6	117 11.2	-0.04	9
	交通安全対策の推進	件数 %	27 2.6	146 14.0	530 50.8	116 11.1	36 3.5	80 7.7	108 10.4	0.01	7
まちづくりで健康づくりに希望に満ちた	健康づくりの推進	件数 %	18 1.7	118 11.3	548 52.5	99 9.5	20 1.9	131 12.6	109 10.5	0.02	5
	地域医療の充実	件数 %	15 1.4	103 9.9	430 41.2	214 20.5	96 9.2	80 7.7	105 10.1	-0.32	32
	地域福祉の推進	件数 %	16 1.5	89 8.5	473 45.3	171 16.4	50 4.8	124 11.9	120 11.5	-0.19	25
	子育て支援の推進	件数 %	10 1.0	89 8.5	464 44.5	117 11.2	44 4.2	199 19.1	120 11.5	-0.13	19
	障がい者支援の推進	件数 %	11 1.1	83 8.0	446 42.8	123 11.8	48 4.6	214 20.5	118 11.3	-0.16	23
	高齢者支援の推進	件数 %	13 1.2	88 8.4	422 40.5	182 17.4	67 6.4	166 15.9	105 10.1	-0.26	29
	社会保障の充実	件数 %	7 0.7	44 4.2	407 39.0	194 18.6	93 8.9	173 16.6	125 12.0	-0.43	38
まちづくりを担う個性豊かな	幼児・家庭教育の充実	件数 %	11 1.1	59 5.7	488 46.8	126 12.1	32 3.1	206 19.8	121 11.6	-0.15	22
	義務教育の充実	件数 %	25 2.4	86 8.2	554 53.1	71 6.8	26 2.5	162 15.5	119 11.4	0.02	6
	高等教育機関との連携	件数 %	7 0.7	50 4.8	495 47.5	105 10.1	28 2.7	228 21.9	130 12.5	-0.14	21
	生涯学習の推進	件数 %	8 0.8	82 7.9	502 48.1	92 8.8	26 2.5	208 19.9	125 12.0	-0.06	12
	文化の継承・振興	件数 %	8 0.8	68 6.5	492 47.2	119 11.4	30 2.9	200 19.2	126 12.1	-0.13	18
	生涯スポーツの振興	件数 %	12 1.2	70 6.7	498 47.7	125 12.0	28 2.7	185 17.7	125 12.0	-0.12	16
まちづくりに満ちた	農業の振興	件数 %	7 0.7	48 4.6	390 37.4	183 17.5	82 7.9	218 20.9	115 11.0	-0.40	37
	商業の振興	件数 %	3 0.3	31 3.0	336 32.2	235 22.5	118 11.3	200 19.2	120 11.5	-0.60	43
	工業の振興	件数 %	2 0.2	36 3.5	365 35.0	207 19.8	83 8.0	227 21.8	123 11.8	-0.48	40
	観光の振興	件数 %	6 0.6	51 4.9	327 31.4	212 20.3	125 12.0	203 19.5	119 11.4	-0.55	42
	就労促進・労働行政	件数 %	3 0.3	21 2.0	305 29.2	226 21.7	140 13.4	228 21.9	120 11.5	-0.69	44

			満足	まあまあ満足	普通	やや不満足	不満足	わからない	無回答	加重平均(満足度)	
										値	順位
まち適 づ くり 住 み や す い	市街地の整備	件数	9	102	444	213	94	65	116	-0.33	33
		%	0.9	9.8	42.6	20.4	9.0	6.2	11.1		
	道路の整備	件数	6	101	393	259	128	42	114	-0.45	39
		%	0.6	9.7	37.7	24.8	12.3	4.0	10.9		
	上水道の整備	件数	28	112	510	142	71	69	111	-0.13	20
		%	2.7	10.7	48.9	13.6	6.8	6.6	10.6		
	下水道の整備	件数	23	81	415	214	128	65	117	-0.40	36
		%	2.2	7.8	39.8	20.5	12.3	6.2	11.2		
	公園・緑地の整備	件数	18	136	459	179	69	69	113	-0.17	24
		%	1.7	13.0	44.0	17.2	6.6	6.6	10.8		
市民の移動手段の確保	件数	4	54	384	222	128	119	132	-0.53	41	
	%	0.4	5.2	36.8	21.3	12.3	11.4	12.7			
ごみ処理の適正化	件数	23	131	515	146	57	56	115	-0.10	15	
	%	2.2	12.6	49.4	14.0	5.5	5.4	11.0			
し尿処理の推進	件数	20	93	528	107	51	130	114	-0.10	14	
	%	1.9	8.9	50.6	10.3	4.9	12.5	10.9			
環境保全の推進	件数	6	78	536	111	39	159	114	-0.13	17	
	%	0.6	7.5	51.4	10.6	3.7	15.2	10.9			
行政 経 営 の 改 革	広報・広聴の充実	件数	26	155	541	65	23	118	115	0.12	2
		%	2.5	14.9	51.9	6.2	2.2	11.3	11.0		
	情報化の推進	件数	11	94	536	101	29	152	120	-0.06	10
		%	1.1	9.0	51.4	9.7	2.8	14.6	11.5		
	情報の公開と適正な運用	件数	8	75	510	96	31	200	123	-0.09	13
		%	0.8	7.2	48.9	9.2	3.0	19.2	11.8		
	行政改革の推進	件数	9	52	450	137	53	223	119	-0.25	26
		%	0.9	5.0	43.1	13.1	5.1	21.4	11.4		
人事管理	件数	6	35	422	102	53	304	121	-0.26	27	
	%	0.6	3.4	40.5	9.8	5.1	29.1	11.6			
健全な財政運営	件数	8	48	378	151	90	248	120	-0.40	35	
	%	0.8	4.6	36.2	14.5	8.6	23.8	11.5			
広域行政	件数	4	46	419	126	48	278	122	-0.26	28	
	%	0.4	4.4	40.2	12.1	4.6	26.7	11.7			
危機管理の充実	件数	4	47	380	146	55	292	119	-0.32	31	
	%	0.4	4.5	36.4	14.0	5.3	28.0	11.4			

【施策の満足度 地区別集計】

		羽生地区		新郷地区		須影地区		岩瀬地区		川俣地区	
		値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
市民との協働によるまちづくり	市民協働の推進	-0.06	12	-0.05	8	0.02	7	-0.07	7	-0.12	22
	人権施策の推進	0.02	7	0.05	3	0.03	5	0.03	5	0.07	6
	男女共同参画社会の確立	-0.07	13	0.02	4	-0.06	13	-0.12	12	-0.23	30
	国際化の推進	-0.37	36	-0.21	20	-0.40	36	-0.43	34	-0.46	43
	消費者行政の推進	-0.31	33	-0.30	27	-0.40	37	-0.34	27	-0.33	36
安全で安心なまちづくり	消防・救急の充実	0.30	1	0.23	1	0.36	1	0.37	1	0.38	1
	防災対策の推進	0.05	4	-0.07	9	0.03	6	0.14	2	0.29	2
	防犯対策の推進	-0.07	14	-0.16	15	-0.09	16	-0.02	6	-0.02	11
	交通安全対策の推進	0.02	6	-0.12	12	0.01	9	-0.15	16	0.11	4
健康で希望に満ちたまちづくり	健康づくりの推進	-0.02	8	0.00	5	0.07	4	0.07	4	-0.04	16
	地域医療の充実	-0.39	37	-0.37	34	-0.17	24	-0.35	28	-0.31	35
	地域福祉の推進	-0.24	25	-0.31	29	-0.11	18	-0.32	25	-0.15	26
	子育て支援の推進	-0.20	23	-0.11	11	-0.06	12	-0.24	21	-0.04	17
	障がい者支援の推進	-0.19	22	-0.28	26	-0.11	19	-0.43	32	-0.12	23
	高齢者支援の推進	-0.25	27	-0.34	33	-0.18	27	-0.43	31	-0.26	31
	社会保障の充実	-0.47	39	-0.51	40	-0.47	40	-0.55	37	-0.36	38
次代を担う個性豊かなまちづくり	幼児・家庭教育の充実	-0.25	28	-0.16	16	-0.04	11	-0.16	17	-0.04	18
	義務教育の充実	-0.03	9	-0.04	7	0.15	3	-0.08	8	0.06	7
	高等教育機関との連携	-0.18	21	-0.24	24	-0.11	19	-0.24	20	-0.13	25
	生涯学習の推進	-0.09	17	-0.18	17	0.02	8	-0.13	14	-0.02	14
	文化の継承・振興	-0.14	19	-0.14	13	-0.17	24	-0.12	13	-0.02	12
	生涯スポーツの振興	-0.15	20	-0.19	18	-0.12	22	-0.12	10	0.00	10
活力に満ちたまちづくり	農業の振興	-0.34	34	-0.42	35	-0.22	28	-0.41	30	-0.46	42
	商業の振興	-0.78	43	-0.45	38	-0.49	42	-0.61	39	-0.43	41
	工業の振興	-0.62	41	-0.33	31	-0.40	38	-0.63	40	-0.26	32
	観光の振興	-0.66	42	-0.56	41	-0.36	35	-0.72	42	-0.40	40
	就労促進・労働行政	-0.80	44	-0.62	42	-0.66	44	-0.75	43	-0.51	44
快適で住みやすいまちづくり	市街地の整備	-0.29	31	-0.31	30	-0.32	33	-0.51	35	-0.29	34
	道路の整備	-0.28	30	-0.43	37	-0.55	43	-0.79	44	-0.40	39
	上水道の整備	0.05	3	-0.30	28	-0.22	29	-0.38	29	-0.10	21
	下水道の整備	-0.09	16	-0.68	44	-0.43	39	-0.71	41	-0.34	37
	公園・緑地の整備	-0.22	24	-0.27	25	0.01	10	-0.30	24	0.09	5
	市民の移動手段の確保	-0.50	40	-0.66	43	-0.48	41	-0.59	38	-0.29	33
	ごみ処理の適正化	-0.05	11	-0.04	6	-0.17	24	-0.16	18	-0.06	19
	し尿処理の推進	0.04	5	-0.23	22	-0.10	17	-0.21	19	-0.02	12
	環境保全の推進	-0.08	15	-0.22	21	-0.15	23	-0.27	23	0.02	8
行政経営の改革	広報・広聴の充実	0.08	2	0.07	2	0.17	2	0.08	3	0.24	3
	情報化の推進	-0.04	10	-0.14	14	-0.07	14	-0.12	11	0.02	9
	情報の公開と適正な運用	-0.13	18	-0.08	10	-0.07	15	-0.14	15	-0.06	20
	行政改革の推進	-0.24	26	-0.24	23	-0.24	30	-0.11	9	-0.19	28
	人事管理	-0.26	29	-0.34	32	-0.12	21	-0.27	22	-0.12	24
	健全な財政運営	-0.43	38	-0.46	39	-0.33	34	-0.51	36	-0.17	27
	広域行政	-0.29	32	-0.20	19	-0.25	31	-0.43	32	-0.02	15
	危機管理の充実	-0.36	35	-0.43	36	-0.32	32	-0.33	26	-0.20	29

		井泉地区		手子林地区		三田ヶ谷地区		村君地区	
		値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
市民との協働によるまちづくり	市民協働の推進	0.05	10	-0.05	12	0.08	11	0.06	2
	人権施策の推進	0.09	6	0.16	3	0.08	9	0.00	3
	男女共同参画社会の確立	0.03	12	-0.01	7	-0.15	25	0.00	3
	国際化の推進	-0.20	28	-0.29	32	-0.19	26	-0.31	25
	消費者行政の推進	-0.07	18	-0.05	14	-0.23	28	-0.41	32
安全で安心なまちづくり	消防・救急の充実	0.47	1	0.44	1	0.61	1	0.27	1
	防災対策の推進	0.26	2	0.01	5	0.27	2	0.00	3
	防犯対策の推進	0.11	5	-0.05	13	0.05	12	-0.17	14
	交通安全対策の推進	0.18	3	-0.07	15	0.16	3	-0.13	8
健康で希望に満ちたまちづくり	健康づくりの推進	0.09	7	-0.02	8	0.14	8	0.00	3
	地域医療の充実	-0.29	33	-0.23	27	-0.20	27	-0.42	34
	地域福祉の推進	-0.14	25	-0.17	22	0.14	7	-0.16	12
	子育て支援の推進	0.00	14	-0.09	17	0.00	13	-0.38	30
	障がい者支援の推進	0.03	11	-0.16	19	0.15	4	-0.16	12
	高齢者支援の推進	-0.16	27	-0.33	35	-0.08	19	-0.20	19
	社会保障の充実	-0.29	32	-0.39	37	-0.26	30	-0.33	27
次代を担う個性豊かなまちづくり	幼児・家庭教育の充実	-0.04	16	-0.05	11	-0.08	19	-0.30	24
	義務教育の充実	0.08	8	0.02	4	0.15	5	-0.10	7
	高等教育機関との連携	0.01	13	-0.11	18	-0.03	16	-0.18	15
	生涯学習の推進	-0.01	15	-0.04	10	0.08	10	-0.19	17
	文化の継承・振興	-0.14	24	-0.21	24	-0.08	19	-0.14	10
	生涯スポーツの振興	-0.12	23	-0.08	16	-0.05	18	-0.22	21
活力に満ちたまちづくり	農業の振興	-0.49	40	-0.47	38	-0.53	40	-0.60	39
	商業の振興	-0.49	40	-0.49	39	-0.54	41	-0.42	35
	工業の振興	-0.46	38	-0.25	29	-0.59	42	-0.47	36
	観光の振興	-0.51	43	-0.49	40	-0.51	38	-0.35	28
	就労促進・労働行政	-0.55	44	-0.65	44	-0.74	44	-0.63	40
快適で住みやすいまちづくり	市街地の整備	-0.30	34	-0.30	33	-0.35	33	-0.39	31
	道路の整備	-0.44	37	-0.54	41	-0.52	39	-1.00	43
	上水道の整備	-0.22	30	-0.16	21	-0.24	29	-0.21	20
	下水道の整備	-0.48	39	-0.60	43	-0.70	43	-1.00	43
	公園・緑地の整備	-0.11	20	-0.19	23	0.00	13	-0.36	29
	市民の移動手段の確保	-0.50	42	-0.60	42	-0.44	37	-0.96	42
	ごみ処理の適正化	0.06	9	-0.27	30	-0.02	15	-0.24	22
	し尿処理の推進	-0.12	22	-0.29	31	-0.10	22	-0.13	8
	環境保全の推進	-0.11	21	-0.16	19	-0.12	24	-0.29	23
行政経営の改革	広報・広聴の充実	0.16	4	0.19	2	0.15	5	-0.18	16
	情報化の推進	-0.05	17	-0.02	9	-0.05	17	-0.14	10
	情報の公開と適正な運用	-0.09	19	0.00	6	-0.11	23	-0.19	17
	行政改革の推進	-0.27	31	-0.23	26	-0.39	35	-0.50	37
	人事管理	-0.37	36	-0.22	25	-0.33	32	-0.53	38
	健全な財政運営	-0.34	35	-0.36	36	-0.37	34	-0.65	41
	広域行政	-0.16	26	-0.24	28	-0.42	36	-0.31	25
	危機管理の充実	-0.21	29	-0.32	34	-0.29	31	-0.41	32



## 13-2 力をいれるべき施策

【問 47】あなたは、これからの市政に対して、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。【複数回答】

- 市政に対して、特に力を入れてほしいものは何かについては、「地域医療の充実」が最も多く 40.4%、次いで「高齢者支援の推進」「社会保障の充実」となっており、“健康で希望に満ちたまちづくり”分野が多くあげられている。
- 年齢別にみると、いずれの世代も「地域医療の充実」が上位項目(上位項目＝割合の多い順で1位から3位に入る項目を指す：以下同様)となっている。
- 30歳代以上では「社会保障の充実」が上位に、“30歳代”では「子育て支援の推進」が上位項目になっており、30歳代以上では“健康で希望に満ちたまちづくり”分野が重要との評価になっている。
- 一方“20歳代”では「幼児・家庭教育の充実」「農業の振興」「ごみ処理の適正化」が上位項目となっており、多様な分野での施策の推進が望まれている。
  
- 地区別にみると、いずれの地区も「高齢者支援の推進」が上位項目となっている。また、“三田ヶ谷地区”以外の地区では「地域医療の充実」が上位項目となっている。また、“羽生地区”“新郷地区”“須影地区”“岩瀬地区”“井泉地区”“三田ヶ谷地区”では「社会保障の充実」も上位項目となっている。
- “健康で希望に満ちたまちづくり”分野が上位傾向にあり、特に“羽生地区”“新郷地区”“須影地区”“岩瀬地区”“井泉地区”では上位項目は全てこの分野となっている。
- “川俣地区”は“行政経営の改革”分野の「健全な財政運営」が、“手子林地区”“三田ヶ谷地区”“村君地区”では“活力に満ちたまちづくり”分野の「農業の振興」が上位項目となっている。

【力をいれるべき施策 全体及び年齢別集計】

		全体			年齢別集計									
					20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上	
		件数	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
市民との協働によるまちづくり	市民協働の推進	66	6.3	24	0.0	27	3.2	31	6.7	23	7.5	19	6.5	20
	人権施策の推進	9	0.9	44	0.0	27	0.0	43	0.0	42	2.1	38	0.8	43
	男女共同参画社会の確立	26	2.5	37	0.0	27	0.0	43	1.9	37	0.5	42	3.3	35
	国際化の推進	26	2.5	37	0.0	27	3.2	31	1.9	37	2.7	33	2.6	38
	消費者行政の推進	57	5.5	28	0.0	27	6.5	26	8.6	18	3.7	31	5.4	27
安全で安心なまちづくり	消防・救急の充実	173	16.6	6	8.3	11	11.3	15	9.5	17	13.9	11	19.3	6
	防災対策の推進	83	8.0	19	0.0	27	8.1	24	4.8	29	7.0	21	9.1	17
	防犯対策の推進	168	16.1	7	8.3	11	19.4	6	17.1	7	17.1	7	15.9	7
	交通安全対策の推進	91	8.7	17	8.3	11	11.3	15	7.6	22	6.4	23	9.5	14
健康で希望に満ちたまちづくり	健康づくりの推進	186	17.8	5	16.7	5	9.7	20	5.7	25	14.4	10	20.8	5
	地域医療の充実	421	40.4	1	33.3	1	29.0	3	42.9	1	44.4	1	40.2	2
	地域福祉の推進	144	13.8	10	0.0	27	11.3	15	10.5	14	13.9	11	14.7	9
	子育て支援の推進	129	12.4	14	16.7	5	33.9	1	22.9	4	9.6	14	9.4	15
	障がい者支援の推進	95	9.1	16	0.0	27	16.1	8	8.6	18	8.6	15	8.8	18
	高齢者支援の推進	395	37.9	2	16.7	5	24.2	4	26.7	3	31.0	3	42.7	1
	社会保障の充実	271	26.0	3	8.3	11	30.6	2	34.3	2	31.6	2	23.1	3
次代を担う個性豊かなまちづくり	幼児・家庭教育の充実	64	6.1	25	33.3	1	11.3	15	1.0	41	5.3	26	6.3	23
	義務教育の充実	71	6.8	22	8.3	11	16.1	8	11.4	12	6.4	23	5.1	28
	高等教育機関との連携	17	1.6	40	0.0	27	4.8	28	3.8	30	0.0	44	1.5	41
	生涯学習の推進	42	4.0	33	16.7	5	1.6	37	3.8	30	2.7	33	4.2	32
	文化の継承・振興	35	3.4	34	0.0	27	3.2	31	2.9	34	2.1	38	3.9	34
	生涯スポーツの振興	57	5.5	28	8.3	11	12.9	11	6.7	23	4.8	30	4.8	31
活力に満ちたまちづくり	農業の振興	156	15.0	8	25.0	3	4.8	28	16.2	8	18.2	5	14.5	10
	商業の振興	136	13.0	13	8.3	11	21.0	5	21.0	6	18.2	5	9.7	13
	工業の振興	67	6.4	23	8.3	11	9.7	20	5.7	25	8.0	18	5.9	25
	観光の振興	76	7.3	21	8.3	11	12.9	11	10.5	14	6.4	23	6.5	20
	就労促進・労働行政	142	13.6	12	8.3	11	11.3	15	22.9	4	16.0	8	11.9	12
快適で住みやすいまちづくり	市街地の整備	64	6.1	25	16.7	5	8.1	24	5.7	25	5.3	26	6.2	24
	道路の整備	150	14.4	9	8.3	11	14.5	10	14.3	10	15.5	9	14.0	11
	上水道の整備	27	2.6	36	0.0	27	1.6	37	1.9	37	2.7	33	2.9	37
	下水道の整備	144	13.8	10	8.3	11	9.7	20	12.4	11	12.8	13	15.0	8
	公園・緑地の整備	78	7.5	20	8.3	11	19.4	6	10.5	14	5.3	26	6.5	20
	市民の移動手段の確保	88	8.4	18	0.0	27	12.9	11	8.6	18	8.6	15	8.2	19
	ごみ処理の適正化	99	9.5	15	25.0	3	9.7	20	8.6	18	8.6	15	9.4	15
	し尿処理の推進	25	2.4	39	0.0	27	1.6	37	3.8	30	2.7	33	2.3	39
	環境保全の推進	51	4.9	31	8.3	11	4.8	28	5.7	25	7.0	21	4.2	32
行政経営の改革	広報・広聴の充実	14	1.3	42	0.0	27	1.6	37	0.0	42	1.1	40	1.5	41
	情報化の推進	10	1.0	43	0.0	27	1.6	37	2.9	34	0.5	42	0.8	43
	情報の公開と適正な運用	44	4.2	32	0.0	27	3.2	31	3.8	30	2.7	33	5.0	30
	行政改革の推進	54	5.2	30	8.3	11	3.2	31	1.9	37	5.3	26	5.7	26
	人事管理	33	3.2	35	0.0	27	6.5	26	2.9	34	3.2	32	3.0	36
	健全な財政運営	218	20.9	4	16.7	5	12.9	11	15.2	9	20.9	4	22.8	4
	広域行政	16	1.5	41	0.0	27	1.6	37	0.0	42	1.1	40	2.0	40
	危機管理の充実	63	6.0	27	8.3	11	3.2	31	11.4	12	7.5	19	5.1	28

【力を入れるべき施策 地区別集計】

		地域別集計									
		羽生地区		新郷地区		須影地区		岩瀬地区		川俣地区	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
市民との協働によるまちづくり	市民協働の推進	6.0	26	5.0	23	5.3	29	10.3	16	8.2	17
	人権施策の推進	0.8	44	1.0	40	1.1	37	2.6	35	0.0	38
	男女共同参画社会の確立	2.1	37	1.0	40	3.2	32	0.0	43	3.3	30
	国際化の推進	2.4	36	2.0	35	1.1	37	3.8	31	1.6	35
	消費者行政の推進	7.3	21	2.0	35	7.4	21	11.5	13	0.0	38
安全で安心なまちづくり	消防・救急の充実	18.4	6	10.9	13	14.9	10	15.4	6	21.3	7
	防災対策の推進	10.5	12	6.9	17	6.4	24	5.1	28	9.8	15
	防犯対策の推進	21.3	5	15.8	8	14.9	10	12.8	10	14.8	9
	交通安全対策の推進	8.4	19	8.9	16	8.5	18	7.7	20	11.5	12
健康で希望に満ちたまちづくり	健康づくりの推進	16.8	7	17.8	6	19.1	7	14.1	7	26.2	4
	地域医療の充実	45.1	1	44.6	1	33.0	2	46.2	1	47.5	1
	地域福祉の推進	14.2	10	21.8	4	12.8	13	10.3	16	13.1	11
	子育て支援の推進	13.1	11	4.0	28	14.9	10	11.5	13	6.6	19
	障がい者支援の推進	8.7	18	9.9	15	9.6	17	14.1	7	11.5	12
	高齢者支援の推進	35.2	2	42.6	2	34.0	1	42.3	2	29.5	2
	社会保障の充実	27.0	3	25.7	3	26.6	3	26.9	3	24.6	5
次代を担う個性豊かなまちづくり	幼児・家庭教育の充実	4.7	30	5.9	19	12.8	13	3.8	31	1.6	35
	義務教育の充実	7.9	20	2.0	35	4.3	30	5.1	28	11.5	12
	高等教育機関との連携	1.0	43	0.0	44	4.3	30	2.6	35	0.0	38
	生涯学習の推進	4.5	31	3.0	31	3.2	32	7.7	20	0.0	38
	文化の継承・振興	2.6	35	3.0	31	3.2	32	3.8	31	3.3	30
	生涯スポーツの振興	6.6	25	5.0	23	7.4	21	5.1	28	4.9	24
活力に満ちたまちづくり	農業の振興	6.8	24	10.9	13	17.0	9	12.8	10	23.0	6
	商業の振興	16.0	8	11.9	10	11.7	15	11.5	13	8.2	17
	工業の振興	5.0	29	6.9	17	6.4	24	9.0	19	3.3	30
	観光の振興	9.4	16	5.0	23	6.4	24	1.3	40	4.9	24
	就労促進・労働行政	15.2	9	11.9	10	20.2	5	14.1	7	9.8	15
快適で住みやすいまちづくり	市街地の整備	7.3	21	3.0	31	2.1	35	6.4	23	6.6	19
	道路の整備	9.7	15	11.9	10	20.2	5	19.2	4	14.8	9
	上水道の整備	1.3	41	5.9	19	0.0	43	6.4	23	4.9	24
	下水道の整備	6.0	26	20.8	5	18.1	8	16.7	5	19.7	8
	公園・緑地の整備	10.2	13	5.0	23	2.1	35	6.4	23	0.0	38
	市民の移動手段の確保	8.9	17	12.9	9	6.4	24	7.7	20	1.6	35
	ごみ処理の適正化	10.0	14	5.9	19	10.6	16	12.8	10	6.6	19
	し尿処理の推進	1.8	38	4.0	28	1.1	37	1.3	40	3.3	30
行政経営の改革	環境保全の推進	4.2	32	3.0	31	8.5	18	6.4	23	4.9	24
	広報・広聴の充実	1.6	39	2.0	35	1.1	37	3.8	31	0.0	38
	情報化の推進	1.6	39	1.0	40	0.0	43	0.0	43	0.0	38
	情報の公開と適正な運用	4.2	32	4.0	28	7.4	21	2.6	35	6.6	19
	行政改革の推進	5.8	28	1.0	40	8.5	18	2.6	35	6.6	19
	人事管理	3.4	34	5.0	23	1.1	37	2.6	35	4.9	24
	健全な財政運営	22.8	4	17.8	6	26.6	3	10.3	16	29.5	2
広域行政	1.3	41	2.0	35	1.1	37	1.3	40	3.3	30	
危機管理の充実	7.1	23	5.9	19	6.4	24	6.4	23	4.9	24	

		井泉地区		手子林地区		三田ヶ谷地区		村君地区	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
市民との協働によるまちづくり	市民協働の推進	7.4	22	6.6	19	4.0	27	6.3	18
	人権施策の推進	0.0	43	0.8	42	2.0	33	0.0	37
	男女共同参画社会の確立	2.1	35	6.6	19	4.0	27	0.0	37
	国際化の推進	2.1	35	5.0	25	2.0	33	0.0	37
	消費者行政の推進	2.1	35	3.3	34	4.0	27	3.1	28
安全で安心なまちづくり	消防・救急の充実	12.6	12	23.1	5	18.0	8	6.3	18
	防災対策の推進	7.4	22	4.1	29	14.0	11	3.1	28
	防犯対策の推進	13.7	9	14.0	11	8.0	18	9.4	13
	交通安全対策の推進	7.4	22	11.6	13	6.0	21	6.3	18
健康で希望に満ちたまちづくり	健康づくりの推進	22.1	4	14.9	10	24.0	5	9.4	13
	地域医療の充実	37.9	2	33.9	2	26.0	4	21.9	3
	地域福祉の推進	13.7	9	12.4	12	10.0	16	6.3	18
	子育て支援の推進	10.5	16	17.4	8	12.0	14	21.9	3
	障がい者支援の推進	6.3	26	9.9	15	4.0	27	9.4	13
	高齢者支援の推進	42.1	1	44.6	1	34.0	1	25.0	1
	社会保障の充実	26.3	3	24.8	4	34.0	1	12.5	10
次代を担う個性豊かなまちづくり	幼児・家庭教育の充実	11.6	14	3.3	34	6.0	21	15.6	7
	義務教育の充実	6.3	26	5.0	25	8.0	18	15.6	7
	高等教育機関との連携	1.1	41	3.3	34	0.0	40	3.1	28
	生涯学習の推進	3.2	30	4.1	29	8.0	18	0.0	37
	文化の継承・振興	3.2	30	5.8	22	2.0	33	6.3	18
	生涯スポーツの振興	3.2	30	5.0	25	2.0	33	6.3	18
活力に満ちたまちづくり	農業の振興	20.0	5	26.4	3	30.0	3	25.0	1
	商業の振興	11.6	14	8.3	17	14.0	11	15.6	7
	工業の振興	9.5	18	4.1	29	12.0	14	12.5	10
	観光の振興	9.5	18	9.9	15	2.0	33	3.1	28
	就労促進・労働行政	9.5	18	8.3	17	20.0	7	9.4	13
快適で住みやすいまちづくり	市街地の整備	8.4	21	5.0	25	10.0	16	6.3	18
	道路の整備	14.7	7	17.4	8	18.0	8	21.9	3
	上水道の整備	2.1	35	1.7	40	4.0	27	6.3	18
	下水道の整備	13.7	9	21.5	6	22.0	6	12.5	10
	公園・緑地の整備	12.6	12	11.6	13	0.0	40	0.0	37
	市民の移動手段の確保	14.7	7	5.8	22	6.0	21	6.3	18
	ごみ処理の適正化	10.5	16	6.6	19	16.0	10	3.1	28
	し尿処理の推進	3.2	30	3.3	34	6.0	21	0.0	37
行政経営の改革	環境保全の推進	6.3	26	4.1	29	4.0	27	6.3	18
	広報・広聴の充実	0.0	43	0.8	42	0.0	40	0.0	37
	情報化の推進	1.1	41	1.7	40	0.0	40	0.0	37
	情報の公開と適正な運用	7.4	22	2.5	39	0.0	40	3.1	28
	行政改革の推進	2.1	35	5.8	22	6.0	21	9.4	13
	人事管理	2.1	35	3.3	34	2.0	33	3.1	28
	健全な財政運営	17.9	6	19.0	7	14.0	11	21.9	3
	広域行政	3.2	30	0.0	44	2.0	33	3.1	28
	危機管理の充実	6.3	26	4.1	29	6.0	21	3.1	28

## IV. 調査結果のまとめ

# 1. 住み心地について

住み心地については、「まあまあ住み良い」が49.4%で最も多く、これに「住み良い」(18.6%)を合わせ「住み良い」とする人は7割近くになる。

「住み良い」割合を時系列でみると、調査回数を重ねるごとに減少の傾向にある。一方、前回調査(H18)では10.2%と大きく減少していたが、今回調査では前々回調査までの20%前後レベルまで回復した。

“住み良い”理由としては、「永年住みなれ、愛着がある」が圧倒的に多く(71.4%)、次いで「自然環境が良い」(39.6%)となっている。

一方、住みにくい理由として、前回調査に引き続き「道路や下水道などの都市基盤整備の不備」、「交通や買い物が不便」などが多くあげられており、今後もこれらの条件、整備状況等を積極的に改善していくことが求められている。

しかし、ハード面が求められる一方、住み続けるために必要なものについては、医療施設や福祉施設の充実が求められており、福祉への関心が高くなっているといえる。

さらに、定住意向については、「現在の場所に、永く住みたい」(50.1%)と「現在の場所に当分住みたい」(25.7%)を合わせ、“住み続けたい”とする人は75.8%となっている。“住み続けたい”を時系列でみると、減少傾向にあり、前回調査で初めて7割を下回ったものの、今回調査では7割を超え、かつ平成2年レベルまで回復している。また「永く住みたい」とする人についても、前回の調査では4割を下回るという低い数値であったが、平成8年までの調査と同様5割を回復している。

一方、年齢別にみると、30、40歳代で「できれば転居したい(市外へ)」の割合が他の世代よりも高く、主にファミリー・子育て世代の定住を支える施策が求められている。若い世代では、住み続けるために必要なものについて、全体集計及び高齢世代で多くあげられた福祉への要望に加え、子育て支援施設の充実や就労の場の充実等も求められている。

# 2. 市役所の取り組み等について

市政・市役所に対する住民のイメージは、「市政への信頼度」「市政の進展度」「窓口対応の親切さ」「事務処理の正確さ・速さ」「市役所の活気・明るさ」、全ての項目について前回調査を上回る評価を受け、平成6・8年調査レベルまで回復している。

しかし「市政の進展度」「市役所の活気・明るさ」は調査以来マイナス評価が続いている。また、「窓口対応の親切さ」以外の項目では「どちらとも言えない」が高い割合を占めており、市民が市政や市役所に対し、良い・悪いともつかない曖昧な印象を持っていることの裏付けとなっている。

今後、よりよいまちづくりを進めていく上で、市民の行政への関心を高め、行政に対する意見や要望等を広く反映していくためにも、市民の多様な声に耳を傾け、市民と行政が一体となって施策を展開していくことが重要となっている。

「広報はにゅう」の閲読状況についても、「必ず読む」(63.5%)と「ときどき読む」(28.7%)を合わせた“読む”とする人は92.2%以上と高くなっている。時系列でみると年々減少していたが、平成6年値レベルまで回復している。

一方「ぎかいだより」については、「必ず読む」(29.5%)と「ときどき読む」(50.3%)を合わせた“読む”が前回調査(69.5%)より増加しているものの79.8%となっており、「広報はにゅう」に比べ低い閲読状況となっている。引き続き市民に親しまれる紙面づくりの工夫の継続が必要であるといえる。

市民参加・市民参画・市民協働による市民が主役のまちづくりを推進するために定めた「羽生市まちづくり自治基本条例」については、「内容を知っている」が6.0%に留まっている。また、若い世代では「全く聞いたことがない」が過半数を占めており、今後、条例の目的を果たすよう、更なる情報発信・意識啓発が求められる。

あわせて協働によるまちづくりの一つである市の計画づくりへの参加意向については、“参加したい”が全体集計及び年齢別集計の各年代のいずれにおいても過半数を占めており、その意向に応える多様な参加機会の設置が今後も求められる。

### 3. コミュニティについて

近所付き合いについては、「よく付き合っている」と「普通程度に付き合っている」を合わせ“近所付き合いがある”とする人は74.3%となっており、高い割合となっているが、時系列でみると減少傾向にある。大きく減少した前回調査よりは回復しているものの、年齢別にみると若い世代であまり付き合いがないが多いことから、近所付き合いが希薄になっている様子がうかがえる。

行事への参加については、「積極的に参加している」「ときどき参加している」「やむを得ず参加している」を合わせ“参加している”とする人は7割前後で推移していたが、今回調査では75.3%と最も高くなっている。また「参加していない」とする人が、前回調査で初めて3割となったが、25.4%に減少している。しかし、年齢別にみると「参加していない」が若い世代で多いことから、引き続き自治会等の強化や地域が一体となったコミュニティの活性化を図る必要がある。

喫煙や空き缶・ごみなどの後始末、ペットの飼育マナーなどは、全体的に悪い評価となっているが、喫煙マナーについては、前回調査に比べイメージはあがっている。前回もプラスイメージであったごみの分別・持ち出し方、公共物の使い方、高齢者や障がい者等への思いやりについては、引き続き良い評価となっている。各マナーについて、引き続き啓発・意識の向上が求められる。

また、ボランティア活動においては、参加していない方が多いものの、年齢が高くなるほど複数の活動に参加している方も多くなっている。また30歳代の地域社会に関するボランティア参加も多くなっている。

### 4. 羽生市の将来像について

羽生市の将来像については、過去の調査と同じように「福祉施設が充実した福祉都市」が最も高く、次いで「水と緑あふれる田園都市」が高くなっている。

また、時系列でみるとその他の項目では「教育・文化の文教都市」と「静かな住宅都市」が回を重ねるごとに高くなってきていたが、今回調査では「工業団地等のある活気に満ちた工業都市」が若干増加し、その他の項目は減少するなど、希望する将来像イメージが分散している。

将来の人口については、前回と比較して「積極的に人口を増やすよう図った方が良い」が増加し、「自然のままが良い」が減少しているが、前回同様「自然のままが良い」が過半数を占めている。特に若い世代で、「自然のままが良い」とする割合が高くなっている。

市町村合併については、「少なくとも合併の是非について検討することが望ましい」が42.8%と最も多く、次いで「積極的に取り組むべきだ」とする人が多かった。また、「合併すべきではない」とする人も14.6%となっている。前回調査と比べいずれの項目も減少し、市町村合併に対する判断が「わからない」とする割合が増えている。

## 5. 市の特徴について

食虫植物「ムジナモ」について何らかの情報を“知っている”は 97.5%を占め、非常に高い認知度となっている。しかし“20 歳代”“40 歳代”では「知っているが、実物も写真も見ることがない」割合が他の年代に比べ高く、更なる情報発信が求められる。また、下記の景観、観光に関する自由記入でも「ムジナモ」の活用に関する記述もみられ、市の重要な資源としての発信・活用が求められている。

好きな場所については、自然系、歴史・文化系、都市・にぎわい系、眺望系と、様々な景観があげられている。特に、自然系で「利根川」に関する意見が最も多く、市を代表する景観となっていることがうかがえる。また「利根川」の意見の中でも、眺める位置や好きな理由も多様であり、それぞれの思い入れ、原風景となっていることがうかがえる。

全国PRに有効なものとしては「さいたま水族館」「いがまんじゅう」「羽生水郷公園」「ゆるキャラ<sup>®</sup> さみっと in 羽生」「イオンモール」等が多くあげられており、施設名所、イベント、名物、キャラクター等、多様な分野があげられている。一方でいずれも 30%未満と選択が分散しており、圧倒的にPRに有効なものが薄く、全国PRの強化とともに、それに資するレベルへの向上が求められる。

観光交流人口を増やすために有効だと思うものについては、施設、イベント、場所等多様な提案がなされている。既存のもの活用・活性化・強化とともに、新しい施設・イベントの実施、発信方法、人の活用等もあげられており、今後、市での観光施策の振興にあたり、検討材料とすることが求められる。

## 6. 福祉・リサイクル・交通について

高齢化社会への対応については、「生活資金の充実」とする人が最も多く、次いで「老人医療・保健サービスを充実する」「近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる」「高齢者が楽しく働ける場を増やす」となっている。これらは、いずれも将来の生活に対する不安の現れであり、ハード面よりもソフト面での支援が求められている。

ごみのリサイクルについては、「現在行っている分別回収の徹底」「不要なものは買わない、断る」が多く、「関心がない」は 1.2%に留まっている。これは、ごみ問題に関心が高いのと同時に、身近な問題として解決に取り組もうとする意識がうかがえ、継続して各取り組みに対する意識啓発・情報発信が求められる。

交通については、「歩道の整備」「身近な生活道路の整備」が多くなっており、市内での移動に関する道路の充実が期待されている。

また、最終電車について、“満足”傾向“不満足”傾向いずれも 3 割弱で評価が分かれているが、年齢別にみると若い世代ほど不満が強い傾向となっている。

## 7. 通信環境等について

インターネット環境については、「インターネットを利用していない」が 44.0%と高く、特に年齢が高くなるほど利用率が低くなっている。また、市のホームページについても閲覧していない方が過半数を占めている。ホームページでの情報受信が若い世代を中心に手軽で有効である一方、高齢世代を中心に利用率はまだ低い状況にあり、複合的な情報発信が必要である。

電子申請・届出サービスについては、「知っているが利用したことはない」(46.8%)と最も多く、また「知らない」が 45.8%を占めている。認知度が低く、また「利用したことがある」も 2.3%に留まっていることから、普及啓発を図るとともに、利用しやすくなるよう更なる改善が求められる。



## 8. 医療・防災・防犯について

健康維持や救急時等において、かかりつけ医や行きつけの総合病院等を決めていることは重要であると認識されている。「かかりつけ・行きつけ」を決めている方は75.3%を占めており、かかりつけ医に対する意識の向上がうかがえる。一方、「必要だと思わない」が2.4%となっており、また年齢別にみると若い世代で割合が高い傾向にあることから、更なる意識啓発が求められる。

医療費の増加を抑え、健康でいきいきと暮らすために必要なことについては「適切な運動」「バランスのとれた食生活」「定期的な健診などによる健康管理」が多くなっている。県内40市中第2位に位置する高い“国民健康保険における一人当たりの医療費”を抑えるよう、今後これらの意識啓発や機会の提供等の充実が求められる。

建築基準法新耐震基準の施行(昭和57年(1982)年)前に建てられた築後30年を経過する家が4割あり、地震に対しての安全への関心は73.7%と高く、耐震補強工事への希望も高くなっている。

住宅用火災警報器については、設置の普及が図られているが、「設置されていない」が過半数を占めている。また、寝室や台所等複数個所での設置が有効であるが、1カ所のみでの設置がまだ多い状況であり、更なる情報発信が求められる。

災害時の備えについては、「避難場所の確認」が最も多い一方、避難場所の認知について尋ねると、5人に1人が知らない状況であり、今後周知の徹底を図る必要がある。また、災害時の備えについても、家庭内部の準備に加え、外部に対しての「ブロック塀などの補強」等複合的な取り組みを啓発していくことが求められる。

防犯への取り組みについては、「センサーライトの設置」や「ドア、窓の二重ロック化」等の取り組みがみられる一方、防犯カメラ・IT機器・警備会社等の取り組みは少ない状況である。防犯については、防犯灯や街路灯の増設を望む声が高く、警察への依存度も高くなっているが、「近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる」も上位項目となっており、意識の向上がうかがえる。

## 9. 選挙について

選挙については、投票率が低い理由、投票率を上げる方法ともに、候補者・議員に対する不満や要望が多く挙げられているが、投票方法の仕組みに関する意見も多く、今後の検討が求められる。

## 10. 教育・スポーツについて

学校教育については、学力や施設の充実よりも教員の指導力の向上や善悪を判断できる児童生徒の育成、道徳教育の充実を求める声が高く、児童生徒の「心」の育成が重要な課題となっている。また学校には、「防犯活動など安全のための活動に取り組む」ことが期待されている。

スポーツをする頻度については、やっていない方が過半数を占めている。やっていない理由として、高齢の方では「健康上の理由」、若い世代では「仕事や勉強が忙しいから」となっている。健康維持のために適度なスポーツは重要であり、健康上適切な範囲でのスポーツ参加向上を図ることが求められる。

## 11. 人権・男女平等観について

基本的人権については、「尊重されていない」「どちらかといえば尊重されていない」とする人が約2割いることから、全ての人が尊重されていると感じられるよう、更なる人権教育の充実が今後の課題となる。

また、男女平等観については、“習慣・しきたり・社会通念”や“職場”、“地域”等において、男性の優遇感が根強く残っている。更なる男女平等観の向上が課題となっている。

## 12. 産業・商業について

買い物については、前回調査でも市内購入が多かった“食料品”に加え、“衣料品”“家具・家電”“趣味の用品”等いずれも市内購入が過半数を占めている。しかし、そのうち、食料品については小売店が、衣料品、家具・家電、趣味の用品は大型店で購入している方が多く、いずれも個人商店での買い物は少なくなっている。

米や野菜などの農産物を購入する際の目安については、「値段の安さ」が減少し、「新鮮さなどの品質」「国内産または地元産であること」が上位項目となっている。安さよりも品質や産地をより意識する傾向となっており、特に産地に対する意識の向上、食料自給率・地産地消に対する意識の向上がうかがえる。

商業・産業の振興については「若い世代の台頭や後継者の育成」が最も多くなっており、人材育成が課題となっている。

## 13. 全般的なまちづくりについて

住んでいる地域で、各施策にどの程度満足をしているかを尋ねると、「消防・救急の充実」「広報・広聴の充実」「防災対策の推進」の満足度が高くなっており、今後も“安全で安心なまちづくり”分野等でのこれまでの取り組みの維持が求められる。

一方、満足度の評価が最も低いのは「就労促進・労働行政」「商業の振興」「観光の振興」となっており、“活力に満ちたまちづくり”分野での施策強化が求められる。

今後、力をいれるべき施策について尋ねると「地域医療の充実」が最も多く、次いで「高齢者支援の推進」「社会保障の充実」となっており、“健康で希望に満ちたまちづくり”分野が多くあげられている。全体的に子育てや学校教育、高齢者等の福祉サービスの充実、保健サービスの充実を求める声が多くなっている。

一方、年齢別にみると、若い世代では、福祉分野に加え、“活力に満ちたまちづくり”分野、“快適で住みやすいまちづくり”分野についても上位傾向にあることから、市の施策においても、市民の意向を十分に把握した柔軟な対応をする必要がある。

## V. 自由記入のまとめ

市政に対するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

調査票の最後に自由記入欄を設け、市政に関する意見を収集した。有効回収票 1043 票のうち記入のあったのは 244 件(23.4%)となっている。

意見を主な内容ごとに分類すると下記の通りとなっており、行財政、安心安全に関する意見が多くなっている。

分類		件数
1	生活環境、住環境	16
2	都市基盤整備	31
3	安心安全(防災・防犯・救急・医療・福祉)	41
4	農業	3
5	商工観光(産業)	12
6	教育、歴史・文化	14
7	コミュニティ、協働	7
8	行財政	48
9	政策、まちづくり全般	36
10	その他	36
合計		244

## 1 生活環境、住環境

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	40～ 49歳	会社員	生まれたと きから	羽生	商店街や住宅地に企業の事務所や倉庫が多く点在し、もはや羽生市内にかつての地域住民による活気など全くありません。さらに小型スーパーや小売店などの大幅な減少により、高齢者などの買い物難民が増加の一途です。このままでは当たり前の生活すら困難な状態です。もっと住みやすい町になるようお願いいたします。P. S. 羽生市議会議員さんの活動内容が全く市民には見えません。どうしてでしょうか？
男性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	井泉	私が住んでいるところでは、街灯が少なく道がとても暗いです。もっと街灯を増やして道を明るくしてほしい。
男性	30～ 39歳	会社員	生まれたと きから	羽生	城橋から本町通りに行く道路の拡張（交通量が多いのに道が狭い）テレビドラマ、映画のロケ地誘致を積極的にしてもいいかも（市の施設や羽生の自然環境を利用する）
男性	60歳 以上	その他	20年以上	羽生	西羽生駅舎がところどころペンキがはげ大変見苦しい。また、階段の蛍光灯が切れているのが散見される。財政が厳しい折とは思いますが、観光交流人口100万人を目指す市として対策をご検討されたいかがと思います。以上、多忙とは存じますがよろしくお願ひします。
男性	50～ 59歳	会社員	10年以上 19年未満	羽生	街灯の電灯が切れてつかなくなってもそのままになっている箇所が最近目立ちます。どこの管轄になるのかわかりませんが、少なくともそういうことについて関心の薄いことは確かです。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	60歳以上	無職	20年以上	新郷	羽生市内の中でも、西のほうは、公共施設がありません。小さな図書館などを建てて欲しい。
女性	40～49歳	パート・アルバイト	5年以上 9年未満	岩瀬	パチンコ屋ばかりありません。面倒くさいゴミ出しやめてください。働ける場所を増やしてください。
女性	40～49歳	無職	10年以上 19年未満	羽生	街灯を増やして欲しい。
女性	60歳以上	無職	20年以上	須影	住宅地での街灯設置（特に新しくできた家々等）をお願いしたいのですが。
女性	50～59歳	自営業	20年以上	手子林	もっと産業文化ホールに力を入れてほしい。人気のある人を……？活気のある市にしてほしい。自分勝手な方が多いように思いますが古いことはなるべくやめてほしい。キャッセ羽生、水族館とかとても緑が春になるときれいですが、公園とかにお花もあるといいと思います。
女性	60歳以上	無職	10年以上 19年未満	新郷	羽生福祉会館が無くなってから遊ぶ所がなくて困っています。下水道掃除を毎年していますが、私ができないので子供達が手を焼いています。本下水にしてほしいです。市街地ばかり活性化しているのに、郊外の地区はさみしくて暮らしにくいです。特に買い物不便です。スーパーがほしい。日本に誇れる名産品をつくってください。最後に合併すべき。
女性	60歳以上	無職	20年以上	新郷	バスがないと町に行くことができない。店が少ないこと。
女性	50～59歳	会社員	生まれたときから	須影	自宅の2階からイオンを見ると別世界のように明るい。あいにく、わが家の前には林があり、イオンの光がまったく届かない。夜になると道路に街路灯はなく、暗く、住みなれた所でも恐いくらいです。できれば前の林がなくなり、イオンの明りが少しでも届いてくれたらと願っています。
女性	60歳以上	会社員	20年以上	川俣	プリンターのインク1つ買うのに、町内では売っている所がない。いろいろと郊外へ出なければならず、もっと高齢になって車も運転できなくなると、食料を買うのも困る人がたくさん出てくるのではないか。イオンも営業成績が悪くて辞めたりすると、全く困った状態になる。
男性	60歳以上	無職	生まれたときから	手子林	道路パトロールして、生垣の管理を見てください。
女性	40～49歳	無職	5年未満	羽生	不燃ゴミを出す場所があまりにも遠すぎて非常に不便。燃えるゴミと同じ場所から出せる様にしてほしい！！家の前の道が抜け道になっているらしく、細い道なのに、すごいスピードで往来する車が非常に多く、安心して家の前のはき掃除もしにくい。危険だし、迷惑しています。ストレスとなっています。

## 2 都市基盤整備

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	50～ 59歳	会社員	生まれたと きから	井泉	自転車専用道の整備
男性	60歳 以上	農業	生まれたと きから	須影	①イオンに行く道路が土・日大変混雑し非常に危ないので、信号機を2～3箇所付けてもらいたい。 ②65才以上の健康運動の推進。
女性	50～ 59歳	公務員	生まれたと きから	川俣	羽生駅が新しくきれいになりましたが、何の商業施設がなく（店、コンビニ）不便で寂しいです。もっと有効活用してもらいたいです。半蔵門線と連結してから久喜駅で止まってしまっているの、羽生まで延長してほしいです。
女性	50～ 59歳	パート・ アルバイト	20年以上	手子林	河田市長へ。「下水がないため2週間に1度ずつ生活排水をくみ上げているため」ぜひ下水の工事をお願いします。約10年以上行っております。また生活道路が狭いため、あぶないです。カーブミラーを付けてください。今まで区長や市議会など何回もお願いしましたがよろしくお願いします。町屋の主婦より。加須市と隣です。
—	—	—	—	—	スカイスポーツ公園を利用させていただきましたが、トイレが少なく非常に汚れていました。
男性	60歳 以上	自営業	生まれたと きから	羽生	インター前に道の駅を。
男性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	羽生	熊谷市や加須市のように葛西用水の公園をお願いしたい。
男性	60歳 以上	無職	20年以上	羽生	現在使用されていない用・排水地について、市役所に相談に行きました所、隣接地、地主さんと話し合ってくれとのことでした。少なくとも国有地である用・排水地は市が管理を委託されているため、現地の調査をし、不当に利用されている状況について、市の適切な指導がなされるべきと思う。
女性	60歳 以上	無職	20年以上	岩瀬	道路、下水道の整備をお願いします。
女性	50～ 59歳	無職	20年以上	須影	現居住地はイオンモールのお陰で不自由さは余り感じないが、市内中心部の空洞化は目に余るものがある。電柱のない美しい市街地は何のためにやったのか。無駄な投資に終わらせないようにしてほしい。また、せっかくの農地を草原にしないためにも新しい農業の運営等の工夫はないものか？
女性	60歳 以上	無職	5年未満	羽生	道路整備、とくに歩道。街灯増す。高齢者に乗物、鉄道・バス、最寄りの駅にエレベーター、エスカレーターなど、あればよい。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	50～ 59歳	無職	20年以上	羽生	①羽生駅西口広場にはタクシーの駐車スペースが優先で、自家用車の駐車スペースがない。タクシーの運転手さんが暇な時等は車外で数名位がタバコ等をすっている行為は、あまり景観としてよくないので、タクシーの駐車スペースを少なくした方が良い？ ②羽生市職員の年収と羽生市地元企業に勤務する方々との年収の差が大きすぎると思います。市職員の数も民間と比べて多いと思います。
女性	60歳 以上	農業	生まれたと きから	手子林	規定を変えるのは大変かも知れませんが、たった1人の印がもらえないために、事業が進められないというのは、とても残念です。9割の人が賛成したら、工事ができるとか、何とかすることは不可能なのでしょうか？あまりにも厳しすぎる現実です。(もちろん少人数が不利益と見られない場合です)
女性	60歳 以上	無職	10年以上 19年未満	須影	50代で越して来たときは、元気で自転車に乗ってどこまでも行けたので不自由はなかったが、70代になり、買物・病院に行きたくても体が不自由になり出かけられなくなりました。老人が自由にいつも出かけられるよう、交通機関がもう少し増えるといいと思います。
男性	30～ 39歳	会社員	生まれたと きから	岩瀬	中岩瀬の市街地の整備・推進、要望。
男性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	手子林	羽生市はどうして公園に桜の木を植えないのか。管理(消毒)が大変だから…。近隣の他市とは比較できない。
女性	50～ 59歳	パート・ アルバイト	生まれたと きから	川俣	私は車を運転しますが、道路整備が悪く感じます。学校教育については、教育者を増やし、塾等に通わなくても学校等で教育できる様にする。そして指導者の給料を増やし、教育者がやりがいのある様にする。家庭ではしつけ、学校等では教育。この連携が必要だと思います。このまま進むと、外国に教育等で遅れて行くと思います。
女性	50～ 59歳	パート・ アルバイト	20年以上	手子林	まだ区画整理されていない区間があり、荒れているところもみえます。(下水道等もまだまだです)少しずつ、良くなることを願っています。よろしくお願ひします。電灯のあかりも増やしてほしい。まだまだ暗いところが多いです。
男性	40～ 49歳	会社員	生まれたと きから	—	南中方面への道路が整備されることを希望します。交通量の多い道路を自転車で通う生徒は危険です。あの道路こそ、歩道が必要です。実現されることを切に希みます。
男性	40～ 49歳	公務員	10年以上 19年未満	羽生	もう道路はいらない。財政を考えてください。
女性	60歳 以上	無職	20年以上	羽生	市営バス、他にいい方法はないのでしょうか。
女性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	井泉	ケーブルTVをお願いします。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	60歳以上	農業	生まれたときから	手子林	市街地整備、線引き
男性	60歳以上	無職	20年以上	新郷	新郷地区の生活道路や下水道の整備を積極的に行って欲しい。
女性	50～59歳	パート・アルバイト	20年以上	新郷	市役所へ入って明るさ、活気、暖かさが感じられません。道路の整備を早くしてほしいです。自転車に乗っている方が多いのに、新郷などは道が狭いと思います。
女性	60歳以上	自営業	20年以上	手子林	南羽生ですが、広い道路が何年か前にできました。住民はてっきり東口から電車に乗れるものと思っていました。そのために家を引っぱったのだから。
女性	60歳以上	その他	20年以上	三田ヶ谷	交通の便が悪い所ですので、市のバスをいつまでも走らせていただけることを希望します。
女性	50～59歳	パート・アルバイト	生まれたときから	岩瀬	①区画整理で敷地が狭くなるので困る。各家庭の言い分を聞いて欲しい。(市政ではないかも知れないが) ②キャッセ羽生をもっと発展させる方法は何か?
女性	40～49歳	その他	20年以上	新郷	市街地の整備は進んでいるが、少し外れると放置されている場所が多い。溝など夏は蚊の発生が凄いので整備してほしい。
男性	30～39歳	会社員	20年以上	須影	下川崎のペットショップの所の交差点が見づらく危険なため、ミラーを設置してもらいたい。(むさしの村方向からイオン方面に向う場合)
女性	60歳以上	無職	生まれたときから	羽生	市の巡回バスにあまり人が乗っていません。ただガソリンをまきちらしている様に思えます。もう少し考えて病院に通う人のタクシー代の一部を補助するとか。(あのバスを見るたびに腹立たしいです)



### 3 安心安全(防災・防犯・救急・医療・福祉)

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	移転問題となっている羽生総合病院は市長生命をかけて、何としても羽生市内存続に向けて頑張ってください。
女性	60歳以上	無職	生まれたときから	羽生	高齢者の住みやすい町をお願いします。
女性	60歳以上	無職	10年以上 19年未満	手子林	①羽生病院は今（現在）の場所をお願いします。羽生市は土地の賃貸契約を延長してください。 ②花火大会を復活させてください。 ③羽生は森が少ないです。植林をしてください。
男性	60歳以上	無職	20年以上	新郷	乳幼児が遊べる屋内施設を造ってほしいです。何年前、子どもを預かったとき、非常に気温が高く外で遊ばせることができませんでした。家の中では十分なスペースがなく子どもと、気がめいってしまいました。保育所に行っていない子どももいるわけですから、ぜひお願いします。体育館なども雨が降ったときちょっと歩きたいなと思い行った所、学生が使って予約が必要とのことで一般の人は使えないのでしょうか。手軽に使える所がほしいです。参考までに騎西にあるアリーナなどは自由に歩かせてくれますよ。
女性	50～59歳	無職	20年以上	羽生	救急医療体制を今までのように充実させ続けてください。
女性	50～59歳	自営業	生まれたときから	羽生	病院問題の早期解決、住民力の活用。
女性	50～59歳	パート・アルバイト	20年以上	羽生	羽生総合病院の移転の件、早期解決を望みます。駅前商店街の発展。
男性	40～49歳	自営業	生まれたときから	羽生	弱者にやさしい市政をお願いします。
女性	30～39歳	その他	20年以上		子ども支援のため、所得制限を超えても児童扶養手当を一部支給して欲しいです。もしそれがダメでもひとり親家庭医療費ぐらい出して欲しいです！！それだけでも助かります。
男性	60歳以上	パート・アルバイト	生まれたときから	須影	ぜひとも羽生市に大きな病院を。
男性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	国保の保険料が高い。（資産割部分）人間ドックの助成を願いたい。（他市では実施している）
女性	60歳以上	自営業	20年以上	羽生	羽生市の国保による医療費が、県内で上から二番に多いのは、大変困ったことです。これは老人ホームに、市内はともかく、県外からの入居者も多く、その人達の医療費負担が多いからだと思います。羽生市以外の方は、市外の国保で負担してもらうことは、できないのでしょうか。市の財政は大変だと思うし、市民の負担率も高いと思います。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	60歳以上	会社員	20年以上	岩瀬	羽生総合病院の改修移転地の早期決着を。市長の意気込みを示して欲しい。農地の活用。市民のための家庭菜園。都民、県民のための家庭菜園の促進。各地の自治体の良い所を取り入れ、上申して、実行に移す。
女性	60歳以上	農業	生まれたときから	新郷	私は一人暮らしなので夜が怖いです。もう少し年金がもらえればよいです。農業ももっとよくなってもらいたい。
男性	20～29歳	学生	10年以上 19年未満	羽生	病院がお年寄りの憩いの場となっています。それが決して悪いことではないですが、急を要するのに待ち時間が長すぎるなどで行かない若者がたくさんいると思います。せめて定期検診は別にするなどの対策をしてほしい。道路の電柱の対策。
男性	40～49歳	会社員	生まれたときから	井泉	救急時の医師のやる気に期待します。（羽生総合病院）
女性	60歳以上	無職	—	手子林	年金額の現状維持をお願いします。
女性	30～39歳	パート・アルバイト	10年以上 19年未満	—	公園の遊具もどんどんなくなり、安全に遊べる場所が減る一方に思えます。それなら、せめて、スポーツe t c . ができる施設をきちんとつくってもらいたいと思います。
女性	50～59歳	パート・アルバイト	20年以上	羽生	「防災はにゅう」が聞き取りにくい。
女性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	羽生総合病院の移転の話がありますが、できれば現状のままをお願いします。老人ゆえに、車に乗れませんし、若い人もいません。
女性	—	無職	10年以上 19年未満	須影	一人でできる運動施設がなく、病院までなくなったらどうしますか。市にせっかくあるのですからこれがなくなったらさびしいです。誰でもいずれは必要になると思います。積極的に働きかけてください。
男性	40～49歳	会社員	生まれたときから	須影	ご苦労様です。市民みんなが安全で安心して暮していける環境づくりに励行していただければと思います。本当にご苦労様です。
女性	60歳以上	パート・アルバイト	20年以上	羽生	高齢者にも住み良い、また若い人達にも活気ある、また幼子にはやさしい羽生を望みます。
女性	60歳以上	農業	20年以上	須影	高齢者なので健康に関して特に関心があります。そこで羽生総合病院のような総合病院は是非必要で、この病院が羽生市に存続できるよう、今後共ご尽力をお願いします。
女性	30～39歳	会社員	10年以上 19年未満	羽生	子ども医療費支給ですが、各家庭で申請書を病院に提出するのでなく、受診した際に控除される形にして欲しいです。市役所の利用時間を延長して欲しいです。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	60歳以上	無職	生まれたときから	井泉	羽生総合病院を市内に存続してもらいたい
女性	50～59歳	その他	20年以上	羽生	羽生総合病院の存続をぜひとも願います。羽生市に病院がなくならない様、ご尽力ください。
女性	50～59歳	会社員	生まれたときから	羽生	県内で第2位の高齢者人口の多い市です。高齢者が各自自宅でテレビを見て過ごす毎日ではなく、一週間の内、何時間かでも就業できる環境を整えば良いのではと思います。規則正しく、適度な緊張感のある毎日の方が、健康でいきいきと暮らせるのではないかと思います。
男性	40～49歳	無職	20年以上	手子林	ティーサロンで保健師さんと話をします。彼らがぐちをこぼす訳では決してないのですが、大変そうなのが伝わってきます。それを思うと障がい者が障害者福祉をと、一本やりに言えないと感じ、また普通に結婚して普通に子育てをしている家庭を大切にすることが、めぐりめぐって明るい羽生市の未来につながると思います。
女性	60歳以上	その他	5年以上 9年未満	須影	総合病院をもう一つつってほしい。銀行（ATM）と郵便局をつってほしい。
男性	60歳以上	自営業	20年以上	手子林	羽生総合病院をぜひ移転せず残る様にしてください。
女性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	①一人暮らしの老人です。病院に行くのに、タクシーを使います。年金暮して毎日のタクシー代が大変です。どうにかならないでしょうか。これから、こういう方々が増えると思います。 ②時々電車に乗りますが、階段が大変です。多くの駅にエレベーター・エスカレーター等がついて、老人が外出しやすくなっています。私は南羽生駅を利用しています。すごく大変です、お考えください。
女性	40～49歳	パート・アルバイト	20年以上	井泉	保育園や介護施設の数が多い市だと思うので、待機児童や待機要介護をゼロにし、待機児童や待機要介護ゼロをアピールして、住みやすい羽生市を全面に出すと良いと思う。
男性	60歳以上	無職	生まれたときから	羽生	①羽生総合病院建替えて深入り（多額援助）には反対です。市外移転も可。 ②1年前の民生委員報酬未払い公金紛失事件はうやむやの形で終わったようですが、私は納得できません。
女性	60歳以上	会社員	20年以上	手子林	地域ごとに健康運動等を取り入れ（特に高齢の人達に誰でも簡単にできる様なもの）、元気はつらつ羽生市民になれる様、考案してほしいと思います。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	主人が脳梗塞でリハビリ中です。羽生市には機能回復やマシンを使ってのトレーニング室等の設備がありません。行田の体育館のトレーニング室まで通ってお世話になっていますが、ぜひ羽生市にも機能回復に役立つトレーニング室を作っていただきたい…。検討をお願いします。患者も増加しています。
男性	60歳以上	農業	生まれたときから	岩瀬	防犯対策としてできるだけ“街路灯”を設置して欲しい。(公共建物に通じる場所、学校他) 総合病院の確保。
女性	60歳以上	その他	生まれたときから	須影	救急医療の充実をすぐ実行してください。羽生市では夜間の診療が不安です。
女性	50～59歳	無職	生まれたときから	手子林	羽生総合病院移転の件が気がかりです。ず～と羽生市内での運営を希望しています。
—	60歳以上	無職	20年以上	羽生	障がい者への福祉の充実、高齢者への健康と年金の充実。(生活、税金) 羽生総合病院の継続を望みます。町内で下水道が整備されているのに、市の下水道に流してない家が多いため、側溝が臭いし、変色し、市のどぶ掃除がないため、下水道への接続の運動をしてほしい。
男性	60歳以上	農業	生まれたときから	井泉	羽生総合病院の診療科目の充実。現駅西に拡充整備をお願いします。

## 4 農業

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	60歳以上	無職	生まれたときから	羽生	頑張れ！羽生は土がいい。農業の人を大切に！都会から人は必ず来る（体にいいものを求めて）
女性	50～59歳	無職	20年以上	羽生	有機農業の推進、休耕田畑の活用、空家・空地の有効活用、校庭の休日利用開放、60才以上のボランティア登用、生きがいの提供。
女性	—	農業	20年以上	井泉	昨年の夏の記録的な猛暑により、米作り農家は大きな打撃を受け、米価の安値で農業をやる意欲をなくしてしまいそうです。でも先祖ゆずりの土地を草ぼうぼうにして置くわけにはいかず、骨折り損と分かっているけど、米をつくらなくてはならない、農民の心をどうぞ分かってください。

## 5 商工観光(産業)

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	40～ 49歳	無職	10年以上 19年未満	羽生	先日、駅前にて2人連れの観光客の方から「市内を歩いて見て回りたいが、どこに行けば良いですか？」と質問されましたが答えられず、せっかく来ていただいたのに申し訳なく思いました。私自身の勉強不足もあるかと思いますが、観光交流100万人を目指すならば、駅前や駅中に市内の史跡や名所のコースが入った看板やパンフレットもしくは案内所などがあればいいのと思いました。
女性	40～ 49歳	無職	生まれたと きから	羽生	キャッセ羽生や道の駅等の営業のやり方などを改めてみるといいと思います。もっともっと地場産品をアピールしてもいいのでは。地場産品を目的に来てもらえるぐらいになるくらいになれば！！
男性	60歳 以上	会社員	10年以上 19年未満	羽生	65才以上の人が働ける職場を作ってください。
女性	60歳 以上	農業	生まれたと きから	川俣	今、若い人達が就職ができないことは定年になっても、また就職して働いている人が多いからではないでしょうか。若い人達は国や市を守り家庭を作り生きて行かなくてはなりません。明るい社会をつくりましょう。私の孫も来春には進学か就職か迷っております。
男性	50～ 59歳	公務員	生まれたと きから	岩瀬	市内で就労できる環境を整備し、活気あるまちづくりに期待したい。
男性	60歳 以上	農業	生まれたと きから	手子林	「市の歴史、文化、催し物、観光施設等を15～20分程度にまとめる」といった視聴覚を通して広報できるものを市の管理施設以外に（可能かどうか不明ですが）設置して、観光交流人口を呼び込める様にする。（設問18の場所またサービスエリア等） 東北道サービスエリアから設問18の18～21まで遊歩道をつくり、人だけを誘導する（許可・経費に問題あるが）。道の駅の拡充と遊園地等と利根川河川敷の一体利用（いずれも国との交渉等困難が伴うが、将来を見据えた構想が必要と思います）
女性	40～ 49歳	会社員	20年以上	羽生	加須市では、ドラマや映画のロケ地のPRに積極的に取り組んでいるようですが、若い人が、何か元気になれる様なイベントや、参加できるものがあつたらいいと思う。中学生、高校生の若い人達が、羽生市を誇りに思える様な町づくりをしたら、活性化すると思う。
女性	50～ 59歳	パート・ アルバイト	20年以上	岩瀬	住みよい環境作りの一つに道路整備があると思いますか？桑崎地区（R122より西羽生駅までの間）の生活道路の不備は、若い世代にバトンタッチができない状況、市民全体を見渡す行政であってほしいです。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	60歳以上	無職	生まれたときから	羽生	町に活気が無い。シャッター商店街では…。駅前、特に東口が全然変わらない。(他の都市を参考に) 老人達の足の確保、バスの回数を増加するか、70代の利用を(無料?)で…。(例えば館林市のようにバス利用) 人口も全然増えない? 何故? 以上問題多し!
女性	50～59歳	無職	20年以上	羽生	道の駅に農家の野菜、新鮮な商品を多くしたら良いと思う。活気がないので残念です。他の道の駅を参考にしたらどうか? B級グルメなんかどうですか。
男性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	高齢者や観光交流人口対策にそった食料品スーパー(元キンカ堂)を核とする町づくり(駅から本町通り中心)が急務と思われる。公共施設設置が均衡を欠く市政に疑問を持っている。
男性	40～49歳	無職	生まれたときから	須影	羽生水郷公園があり水族館の池に夏、ホテルがたくさん舞う様にすれば人が集まりますよ! それと、水族館の池の一部を魚釣りOKの無料釣り場として開放して! 近隣の町、市などから子どもや大人が来ます。その人たちが、市内でジュース買ったり弁当を買ったり、買物しますよ。

## 6 教育、歴史・文化

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	50～59歳	会社員	生まれたときから	手子林	幼稚園、保育園等、施設には多大な補助金が子どもたちのために使われているはずである。しかし本当に子どもたちのために適正に有意義に使われているであろうか。市の方で使い方のチェック、指導等は行なわれているのでしょうか。子どもたちの環境、先生方の資質は全く変わっていないように思う。(AM9～PM4勤務に月給与50万のうわさがある) 自分たちの私腹を肥やしているのでは?と感じてしまうところである。
男性	60歳以上	無職	生まれたときから	岩瀬	①文化会館は単独で持つ必要はない。2～3市で1つに統合し内容の充実を図る。 ②図書館は市民プラザ等に移し充実させる。 ③ワークヒルズも売却。 ※①～②は統合による人員、管理メリット。図書館の土地等は売る。①、②、③とも人員のムダ。
男性	60歳以上	自営業	生まれたときから	村君	男は男らしく、女の子は女の子らしくの教育も必要ではないか? 最近はなんか? 変だ! おかしいように思われる。
男性	60歳以上	会社員	生まれたときから	手子林	外国人に対する日本語教育(短期学校)の機会があればと思う。
男性	50～59歳	公務員	生まれたときから	川俣	図書館の利便性向上を検討願います。平日、閉館が早い利用できない。県内の他市(さいたま市など)では夜間でも開館しているが?

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	30～ 39歳	自営業	生まれたときから	井泉	福祉は高齢者からこれからの羽生を担う子供達へシフトする時期に来ていると思います。教育を考えるなら週休二日制の学校ではダメです。小学校1年生が毎日5時間の授業はおかしくないですか？
女性	60歳以上	無職	生まれたときから	羽生	議員を削減し、市職員を削減し市民協働の推進をはかり、高齢化、子どもの教育、家庭教育の充実等、市民活用を考えるべきで、健全な財政運営も進めるべきだと思います。活力あるシニアが沢山います。ボランティアの切符等も考えたと思います。
女性	50～ 59歳	パート・アルバイト	20年以上	羽生	教育にお金を使って欲しいと思います。特に、先生方の負担が過重だと感じますので、補助的な職員やカウンセラー等を増やすことも必要だと思います。先生にゆとりがあってこそ、子どもたちが安心して過ごせる学校になり、教育の質の向上も実現すると思います。
男性	50～ 59歳	会社員	生まれたときから	井泉	北埼玉地域は関東平野の中心に位置し、高低差もないことから近隣市と連携し、利根川堤防のサイクリング道路や市内のサイクリング専用道路を整備し、全国からサイクリング愛好者が集まる企画や休憩所の設置ができればいいかと思われる。
女性	60歳以上	自営業	20年以上	須影	子どものスポーツ向上、英語の普及
男性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	①初心者向けのスポーツ及び健康教室、また、各種文化講座が少ない様に思います。(他市町と較べても…。)これらは市民の活力向上のためにも有効だと思います。もう少し活動を活発にしたら良いのではないかと思います。 ②羽生総合病院の市内存続を強く進めて頂きたいと思います。
女性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	これは財政的にも無理かもしれませんが、何かを行うとき、良い指導者が指導して下さるような(例えば他市に行かなくても済む)文化・教育のある町になってほしいと思います。
男性	60歳以上	パート・アルバイト	5年未満	須影	図書館の開館時間は年間通して7時頃までオープンしていること。防犯灯の設置は科学的に現場調査して設置すること。市役所内の照明は省エネプラス照度バランスをとること。公園照明は基準があると思いますが、省エネ照明とすること。歩道、自転車道の整備で、安全な道路行政とすること。
女性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	文化面での充実をはかってほしい。

## 7 コミュニティ、協働

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	60歳以上	無職	20年以上	井泉	地元で生まれ育った人々と他から入ってきた人々とは、もう少し交流できる場があると良いと思います。
—	60歳以上	無職	20年以上	手子林	地区自治会に入らない家が多いことを市としては何とも思っていないのですか。その中には警察官もいます。どう思いますか。市議会をお願いします。（南羽生）
女性	60歳以上	無職	20年以上	村君	昨年地区内で若い人達を中心に青空市が開かれました。お手伝いの人達がきびきびと動き、オジチャン、オバチャン、子供達も楽しい一時を過ごしました。今無関心の時代と言われますが機会があれば若い人のパワーがこれだけ発揮でき、頼もしく思いました。村君……羽生もこれから市長、市役所の指導いかんで益々発展していくと思います。期待して居ります。
女性	60歳以上	無職	生まれたときから	村君	年金の金額の内容がテレビで放送されている額とは違ってきます。国民年金2カ月に1回の支給ですがテレビでは月に7万円とっていますが、実際は2カ月で7万弱です。なぜこのようなことになっているのか不満です。1カ月3万、4万弱です。
女性	60歳以上	無職	生まれたときから	手子林	これから次第に高齢社会になります。元気な方には地域活動に参加できたらと思います。
男性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	市長や市議会議員との市民対話をもっとシンプルな形で増してほしい。
女性	60歳以上	パート・アルバイト	20年以上	羽生	北3丁目に住んでいますが、びん・ダンボール・プラスチック等、業者にまかせて「班長」の役だけにしてほしい。64歳、女性の一人暮らしですので、役員は男性の方にやって頂きたい。夏に行う消毒等、一日も早く業者の方に任せて頂きたいと思う。女性の一人暮らしでは無理です。早く何とか処理してほしいと思います。

## 8 行財政

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	50～59歳	会社員	生まれたときから	新郷	目に見えた税金の使い道が片寄っているように思える。自分が生れて50年来、周りが変わったように感じられない。道路以外。
女性	50～59歳	パート・アルバイト	20年以上	羽生	税金が高すぎます。（皆が言っています）期日までに支払いできません！
女性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	①市職員の見直し（定数を減すべし） ②生活保護世帯の見直し（決定時、もう少し厳しく）
女性	—	無職	5年以上 9年未満	羽生	市役所からの放送伝達をもう少しはっきりと聞こえる様にしたい。



性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	50～ 59歳	自営業	20年以上	羽生	役員数が多過ぎる。(25年前に引っ越して来たときから人口が5,000人しか増えていない)全ての公共料金が他の市町村より高い。税金がやはり高過ぎる。(高齢者が多いだけなのか?)なんだかんだ言っても25年以上羽生に住んでいる私です。愛着はあるのかも!!変って欲しい、活気ある町へ…。
女性	60歳 以上	その他	20年以上	岩瀬	市政ではないのですが、埼玉県のある市では広報用紙が羽生市よりずっと悪い紙を使っていました。それを半分に折った状態でした。羽生市は他の市よりよい紙を使って写真も多いなど思いました。その辺も考えてすこし経済的に安くなるのかなと思いました。
男性	60歳 以上	無職	20年以上	羽生	業務窓口の内容を分かりやすく明確にしてほしい。
男性	60歳 以上	会社員	生まれたときから	井泉	借金の返済、何年かかるのか、子や孫の負担になり生活が大変になる。行政改革、給料の減給、議員定数の見直し、補助金カット。税込、働ける場所、企業の誘致が最善である。
男性	50～ 59歳	自営業	生まれたときから	手子林	市議会議員、市職員の削減をお願いします。(これは羽生市だけの問題だけでなく、国全体の問題であり、官僚の天下り、公務員の削減や税金の無駄遣いを無くさない限り、羽生市の未来どころか日本国の未来もないと思います)
男性	60歳 以上	自営業	生まれたときから	手子林	伝統ある羽生市の市民として、誇り高くそして皆と仲良く暮して行ける小さな都市、公平な負担や市民参加の自治社会を作るためには、市議会や費用を要する各種の行政組織を簡略化して、市職員の減給だけで財政再建をするのではなく(人材が集まらなくなる)効率の良い行政を実現すべきである。
女性	40～ 49歳	パート・アルバイト	5年以上 9年未満	羽生	河田市長になってからの健全財政の推進の継続を望むとともに、今あるものを使って創意工夫を重ねながらの市政運営は大変結構だと思います。
男性	40～ 49歳	会社員	20年以上	岩瀬	羽生市は住民税が他の市より高いのではないのでしょうか。
男性	30～ 39歳	無職	生まれたときから	新郷	住民税を安くしてください。市役所職員を減らしてください。
男性	60歳 以上	会社員	20年以上	川俣	無能な管理者を排除する。市長の地元からの職員採用が多い!!なぜだ?
男性	50～ 59歳	自営業	生まれたときから	村君	市役所の業務時間の延長と土日の業務も願いたい。
男性	60歳 以上	無職	生まれたときから	羽生	市議会の定数減。
男性	50～ 59歳	会社員	生まれたときから	手子林	現在の議員報酬で議員を増員し多く意見を聞くようにすればいい。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	60歳以上	会社員	生まれたときから	新郷	私も羽生市に住んで60年以上過ぎましたが、仕事の上弊社社員の居住する他の市町村に出向く機会が多々あります。その都度思うのですが、役所役場内の雰囲気非常に我が市の役所内では暗く感じるということです。なぜかと疑問を感じますが、もう少し活力のある市役所にして職員の皆さんに教育を行い、全体の奉仕者としての気持ちを持たせるよう、市長をはじめ管理者に要望します。
男性	50～59歳	その他	生まれたときから	三田ヶ谷	税金が多すぎる。
男性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	仕事に当たっては、自分の家族の問題（仕事）だと言う意識を持ってやっていただきたい。仕事なのだからという気持ちでおろそかにしている職員が多く見受けられる。
男性	60歳以上	会社員	生まれたときから	羽生	市役所職員、態度が親方日の丸的である。
女性	60歳以上	その他	10年以上 19年未満	手子林	市議を片手間でやっているのなら、北欧の様に各人が仕事終わりの夜間とか、土日を利用して会議をし、市議の給料もボランティア感覚でお願いしたい。そうすれば金もうけではなく、市民のためを思う人が出てくるのでは。市もよくなると思う。
男性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	市職員の給料は高すぎです。一般の会社に比べてどのくらい違いますか？地方は地方の賃金に合わせるべき。
女性	60歳以上	パート・アルバイト	20年以上	井泉	市役所の窓口の対応が不親切であった。ガムをかみながら対応していたので市民の税金で給料を頂いているのに不愉快に感じました。空き家、古い家などは街の外観が悪いため整備できたらもっと街並がきれいになるのではないのでしょうか？
男性	60歳以上	無職	生まれたときから	岩瀬	市役所職員は（一部の）自由すぎます。
女性	60歳以上	その他	20年以上	手子林	市税は私達のお金です。一人ひとりが一生懸命働いた結果のお金です。正しく、無駄のない使い方をしてください。ゴミ置場での年数回の立会い、仕分けの作業ですが、どうして市民がしなくてはならないのでしょうか？仕事を持っている者にとっては負担です。むしろ清掃センターの仕事であり、そのために税金を使っているのではないのでしょうか？これからの時代、土、日勤務、営業は必要となります。羽生市だけでは無理でしょうが、ぜひ検討ください。小さな窓口程度でもいいのですが。
男性	30～39歳	会社員	生まれたときから	羽生	市の職員の態度。ひどい！
男性	60歳以上	会社員	20年以上	羽生	行政のスリム化（新規に事を起さず）。自然環境の保全。国、県にできること、市でできることの差別化。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	50～ 59歳	自営業	生まれたと きから	川俣	税金を納める人が貧しい生活をして、税金から給料をもらっている人が裕福な生活をしている。国が民間会社だったら、倒産しているでしょう。国民だけに痛みを押し付けなくて、公務員も痛みを感じるべき。
男性	60歳 以上	パート・ア ルバイト	生まれたと きから	須影	市議会議員さんが出ていますが、選ばれた以上は目に見えた働きをしてほしいです。不平不満だらけです。議員給料は一般の人から見ると高いのではないかと、また、定数が多いのではないかと、まだ減らせるのではないかと。そして市の借金返済に当ててもらいたい。
女性	60歳 以上	パート・ア ルバイト	生まれたと きから	羽生	1年半前に税金について電話で問い合わせた際に男性職員が、大声で対応したため、個人情報为他人に聞かれるのではないかと思います。もう少し気を使って話してほしいと思います。
女性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	手子林	一般企業とくらべると市職員はゆとりがあり、忙しさを感じない。人数が多いのでは？
女性	30～ 39歳	公務員	10年以上 19年未満	羽生	市民税が高いです。学童保育は学年問わずにしてほしい。病児保育所の設置。小・中学校の施設・設備を充実させてください。安全に歩ける道づくり。
男性	60歳 以上	農業	生まれたと きから	新郷	職員の対応が悪い。対応した人物の知識が欠如している等
女性	60歳 以上	その他	生まれたと きから	井泉	今地方の知事、市長さん等が話題になっています。羽生市でも思い切った財政改革や市の職員、賃金カット、市議会議員も同様、ボランティアの精神でやってほしい。
男性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	手子林	市議会議員の人数を半分位にした方がよいと思う。
女性	60歳 以上	パート・ア ルバイト	生まれたと きから	井泉	市職員が多すぎると言う人もいます。しかし忙しい職場もあり、暇な所もあると思います。そこを見るのが市長や部長なのであって、よく見てもらいたいです。
女性	50～ 59歳	パート・ア ルバイト	20年以上	羽生	住民税やすべての税金が高すぎる。
男性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	羽生	羽生市職員の皆さんに再度「マネジメント」の勉強を希望します。これが、羽生市が生き残るための教科書と考えます。
女性	60歳 以上	その他	10年以上 19年未満	羽生	他市に比べ税金が高い。
女性	60歳 以上	農業	20年以上	村君	市の財政の確立。工場誘致。
女性	60歳 以上	その他	生まれたと きから	川俣	税金の使い方を良く考えてしっかりやってください。
女性	60歳 以上	無職	20年以上	羽生	①市内の放送が聞こえません。 ②市内のバスが土、日曜日が休みなので、キヤッセ羽生に行きたくても行けません。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	60歳以上	会社員	生まれたときから	羽生	市民税がもう少し安くないか、お願いしたい。市議会議員の議席を4人位減らしてはどうか。
女性	60歳以上	会社員	20年以上	川俣	市職員の生き生きした態度、そして明るい市政を望みます。
男性	60歳以上	会社員	20年以上	羽生	税金の無駄遣いはしない。議員の人数を減らす。議員の給与は会議に出た日数だけ日当を払う。
女性	50～59歳	その他	生まれたときから	羽生	市役所の放送が聞こえない。
女性	60歳以上	パート・アルバイト	20年以上	井泉	羽生市は税金が高いです。検討してほしい。

## 9 政策、まちづくり全般

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	50～59歳	その他	20年以上	羽生	羽生全体に目を見開いて行政を進めてください。羽生をPRするためのイベントをいろいろやっても支出に見合う経済効果は？財政が苦しいときです、熟慮しておやりになってほしいと思います。
女性	60歳以上	無職	20年以上	羽生	羽生市も外から盛り上がりのある地域づくりをしてほしい。メインとなる物がない。たとえば食にしても、春夏秋冬のイベントにしる目立つものがない。外を見てください、市長、平々凡々は変り映えがしません。議員の皆様も、もっと頑張ってください。平成23年度が少しでも良くなることを願います。
男性	50～59歳	会社員	20年以上	手子林	若い人たちが活気のある市政を。
女性	50～59歳	その他	生まれたときから	須影	市の合併が進んでいる中、羽生市は取り残されてしまうのではないかと心配です。
男性	60歳以上	無職	生まれたときから	新郷	今の政治では自給自足の時代になると思う。昭和橋もよくなり、道の駅を木材で大きくしてほしい。
男性	60歳以上	無職	生まれたときから	羽生	平和宣言都市とか人権とか男女平等とかを声高に言わないで欲しい。
男性	60歳以上	その他	20年以上	新郷	ソーラー発電、家の断熱リフォーム等のエコ対策につき補助金を充実してほしい。
女性	60歳以上	会社員	20年以上	羽生	活気ある街づくりを期待しています。
男性	60歳以上	自営業	20年以上	—	行政改革、これなしには生き残れません。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	30～ 39歳	パート・アルバイト	生まれたときから	井泉	現在、市内の保育所に子どもが入所していますが、気になることがあります。先生方の異動が早すぎる気がします。1年で異動の先生もいます。これでは先生と家庭の信頼関係を築く前に異動になります。学校だって早くても3年で異動です。考えた方が良くと思います。
男性	30～ 39歳	会社員	生まれたときから	村君	子どもが少ないため、この町に住みたいと思わせる町づくりを期待します。
男性	60歳 以上	パート・アルバイト	生まれたときから	新郷	市、県などの委託業務などは全ての人に平等にできる人をしてできるだけ選んでほしいと思います。
男性	60歳 以上	その他	生まれたときから	羽生	隣接する市と合併を行い、大きな行政改革を行い、安定した強固な都市をつくってほしい。
男性	30～ 39歳	その他	20年以上	羽生	活気がないです。都内や大宮など、大きなところは、もっと何においても良いです。羽生は、あまりいいところがない。
男性	60歳 以上	無職	20年以上	川俣	財政減による事業の遅れ等が続いていますが、羽生市のあるべき姿（ビジョン）を中・長期的にしかも具体的に示して欲しい。
女性	50～ 59歳	パート・アルバイト	生まれたときから	須影	近隣の加須市、行田市に比べると、羽生市のアピールは今一つ盛り上がりを感じません。いつも周りの様子を伺いながら二番手になっています。保守的な土地柄だと……南部から越して来た方々は感じるらしいです。これからの羽生市を担う若い方々の意見をもっと取り入れなければ先には進みません。水郷公園など、一年中楽しめる草木で人を呼べればいいですね。柔軟性に富んだ職員を育てていってください。イエスマン職員では羽生市の発展は望めません。
男性	60歳 以上	無職	生まれたときから	須影	市民に将来を見通し建設的ビジョンをはっきりと示して欲しい。市の財政、借財返済と健全な予算執行。災害時の避難、救護グッズ配布、復興等、市民との協働の積極推進。明るい羽生市、住みよい羽生市建設にもっと多くの市民の声を聞く場（会）の設置検討。
男性	50～ 59歳	会社員	生まれたときから	羽生	市政と私達の距離が遠いように感じます。何を指すのか、どうあって欲しいのか、双方とも考えがまとまっていないことがこの意識調査でよく分りました。双方向の意見交換の場も必要では……。
男性	40～ 49歳	会社員	生まれたときから	手子林	羽生市はとても好きな市です。これからも良い市にしていきたいと思います。みなさんもがんばってください。
女性	60歳 以上	無職	生まれたときから	羽生	市民が安心して暮せるようお願いいたします。もちろん市民も努力しなければいけませんね。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
男性	50～ 59歳	公務員	20年以上	川俣	市長のリーダーシップが、大変弱いと感じています。市政においては、スピード感を持って決定、実行をお願いしたいと思います。県全体から見るとこぢんまりとした市だと思うので、市民自らが市政に積極的に関わり、「我がふるさと」創りに参画できたらいいと考えます。
男性	30～ 39歳	自営業	生まれたときから	羽生	夜の羽生市内の町並は元気のない町を見ているようでさみしいです。もっと若い考えを取り入れて、若い人が夢を持てる町にして欲しい。羽生市民特有の考え方をすてても今の町を救わないと、将来が恐いです。議員さん達が古すぎる。
女性	40～ 49歳	会社員	20年以上	羽生	広報等を見させて頂くかぎり、色々な面で羽生市を活性化していこう！という取り組む姿勢は感じられますが、今一度振り返り、原点に戻って筋道をたてて、1から計画・実行していくことをしてはいかがでしょうか。あれこれ手を出しすぎても予算等の関係で計画倒れになってしまうことのないよう、地味で良いけど「味がある街・羽生」にしていきたいです。
女性	60歳 以上	農業	20年以上	川俣	財政の健全化は評価するが、町の商店街が閉店するのがさびしい。近隣市町村との合併、羽生総合病院の問題、焼却施設の問題など、大きな難問などがあると思います、時間がなくなって来ているので全力をつくしてください。
男性	60歳 以上	パート・アルバイト	20年以上	羽生	観光交流人口100万人を目指す市として、羽生市直営の観光スポット「キヤッセ羽生」をもっと目玉にPRしてほしい。しかし現状では観光の目玉としては、内容が乏しすぎるのではないのでしょうか。ウィークデーなどは閉散としており、寂しい限りである。園内に有る水族館も含め、客の呼べる施設にして行ってほしいと思います。
女性	60歳 以上	無職	20年以上	羽生	赤字財政の折り、市長さん自ら無駄を省き、年々その負債を縮小しているのには大変感謝しています。「ブローケン・ウインドー」積み重ねが大切だと思います。小さいところを見落すことなく、健康に気をつけて、早くゆとりの有る羽生が実現できるよう祈っています。
男性	50～ 59歳	会社員	生まれたときから	羽生	いろんな施設などができるけれど、みんな中途半端で、ゴミ処理の火力などを利用して温泉プールや、お風呂とか…。キヤッセ羽生にしても、普通の日はお客さんもない状態で、もっと上手にお金（税金）を使って欲しい。例えば、市民がもっと気楽に行けるジムを体育館などに作るとか、本当に羽生は何もなく、まわりの市からとり残されてしまいそうです。
男性	50～ 59歳	農業	生まれたときから	三田ヶ谷	厳しい財政状況の中、選択と集中で行政経営が円滑に進むよう願っています。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	60歳以上	無職	20年以上	手子林	羽生市は北に利根川があり、これから発展するのは南羽生方面です。南を充実させ、いずれ加須市と合併するのが望ましいと思います。
男性	30～39歳	パート・アルバイト	生まれたときから	須影	正直、市政が現在どの様に行われているのか全く知りません。市県民税の取り立てに自宅まで御足労いただいたことくらいでしょうか。あまりに関心すぎて不満すらありません。今後、若い世代はどんどん羽生を出て行くでしょう。しかし、いつか戻りたくくなるような羽生市であることを期待しています。私がそうでした。
男性	60歳以上	パート・アルバイト	生まれたときから	須影	市町村合併に取り組んでほしい。
女性	50～59歳	無職	生まれたときから	新郷	何年たってもまだ平等の社会になっていません。笑顔で毎日を暮らす日が1日も早く来てくれる羽生市を願っています。
女性	50～59歳	パート・アルバイト	生まれたときから	手子林	市を活性化させるアイデアを市民から広く募集する。テレビ局がおもわず取材に来たくなるような、“羽生”が全国的に有名になってしまうようなイベントを企画する。羽生の名所が折り込まれたミステリーを募集または、作家に依頼し、“羽生市”の知名度アップをはかる。“田舎教師”を2時間ドラマに企画してもらおうようTV局にアピールする運動を市民でたちあげる。
女性	50～59歳	自営業	生まれたときから	羽生	羽生が好きですから合併問題は反対です。財政がきびしい中、削減、廃止とやる気もなくなりますよね。
男性	60歳以上	無職	生まれたときから	岩瀬	市町村合併は急ぐべきではない。行田市・加須市と羽生市の3市合併を目指し、機運が熟するまで待つ方が良い。
男性	40～49歳	会社員	生まれたときから	羽生	財政健全化、歳入増加策、公務就労者への安定した給与支給体制なければ公務に就く人材が確保できず、削減でなく維持できる体制を整えたい。税収増加にはある程度の開発は止む無し。一人一人が愛着をもって市に関する興味を持つようアピール願います。

## 10 その他

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	60歳以上	その他	生まれたときから	羽生	広報で市長さんの抱負など読ませていただいています。いろいろ苦勞が多いと思いますが、体に気をつけて私達市民のため、これからもよろしく願います。
女性	40～49歳	パート・アルバイト	生まれたときから	羽生	市政に限らず、1,500人ばかりではもったいないので、広報を通じ全市民対象にご意見を伺うというのはいかがでしょうか？市政は姿勢だと思います。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	50～ 59歳	無職	20年以上	新郷	アンケートは統計的に処理されることになると思いますが、多数意見よりも少数意見に目を向けて頂きたいと思います。その少数的な数字にも目を向けて行くことが行政を深く掘り下げて行き、良くなることだと思います。
女性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	井泉	生活保護でお金をいただいている方が多すぎると思います。女の方は毎日カラオケ、男の方はお酒を飲んでい る。国民年金より多くやることはないと思います。ちょっと考えてください。
女性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	羽生	買物は市外に行くことが多い。外食も他の市へ出る。他の土地でも羽生市民をよく見る。どうして羽生市のキャラクター商品、いがまんじゅうとかテレビで宣伝しているのに駅か近くで販売してないのかと思う。何をやっても羽生市内を通り過ぎるだけの町です。
女性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	須影	市長をはじめ市政に関する方々には、これからも大変な世の中ですがよろしくお願いします。
男性	60歳 以上	無職	20年以上	羽生	何時もの努力に感謝します。
女性	40～ 49歳	パート・ア ルバイト	生まれたと きから	羽生	アンケートということで始めは出しませんでした。羽生市市民意識調査へのご協力についてのハガキがきました。これは、アンケートではないのでは？自由の意思ではないではありませんか。
女性	60歳 以上	無職	20年以上	羽生	専門家に対する内容で、解答するのが非常に難しいです。
女性	60歳 以上	会社員	10年以上 19年未満	三田ヶ谷	質問事項が多すぎます。
女性	50～ 59歳	パート・ア ルバイト	20年以上	手子林	羽生市内に住んでいるのにどうして1. 羽生、7. 手子林という分け方なのか、他の地から転入してきた人には不思議です。夜中にサイレンが3回や5回鳴るのもうるさくて迷惑です。中学校の制服がみんな同じなのもヘンです！！卒業式に中学の制服を着るのもおかしい！！
男性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	手子林	未婚の男女（特に30代、40代）が多いがその解消方法を考えたい。
女性	60歳 以上	無職	生まれたと きから	羽生	大変でしょうが市民のためにがんばってください。
女性	60歳 以上	無職	20年以上	羽生	22年に中央公民館にて、市長のお話を聞くことができました。あらゆる方面にがんばっていることに感心するとともに、難しい言葉を使わず分かりやすく喜んでの方が多かったです。今後も健康で市のためによりしくお願いします。



性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	60歳以上	パート・アルバイト	20年以上	須影	設問がちょっと？答えにくい
女性	50～59歳	会社員	10年以上 19年未満	新郷	市政について自分が全然関心がないのには驚きました。ですが、これからも同じだと思いました。
女性	60歳以上	農業	20年以上	須影	市政の運営は時代の変化が早く大変だと思います。
男性	60歳以上	その他	生まれたときから	須影	今後も市民の意見をこの様な形で取り入れて行くことが大切なことだと思います。2年に一度は実施すると良いのではないかと考えています。
女性	60歳以上	パート・アルバイト	20年以上	手子林	市民の意識を持って考えたことがなかったので、これからは意識を持って広報やぎかいだよりを読んで、市政に関心を持っていこうと思いました。
女性	60歳以上	パート・アルバイト	20年以上	岩瀬	市長さんはじめ皆様がんばっているおかげで、私達市民は安全に生活をしていられます。私も満70才になりましたが、元気に働いています。羽生市に住み始めて40年になります。あまり変化はありませんが、皆が明るく生活できることが幸せです。
男性	30～39歳	会社員	生まれたときから	須影	この街は生気が無い
女性	60歳以上	パート・アルバイト	20年以上	井泉	河田晃明市長様、これからも宜しくお願いします。
女性	40～49歳	パート・アルバイト	生まれたときから	羽生	羽生市が今後発展していくよう願います。
男性	30～39歳	自営業	生まれたときから	手子林	アンケート内の選ぶ数が決められていて（○以内で）おかしいと思った。なぜ先に選ぶ数を決めてしまうのか？
女性	60歳以上	自営業	生まれたときから	井泉	市役所の駐車場はいつも満車に近いですが、来庁者はそれほどいないのに、なぜ駐車場がいっぱいなのか？本当に用事のある人が置けないのはおかしいと思う。
男性	30～39歳	会社員	生まれたときから	羽生	アンケートが長すぎます。あとHP上でよかったのでは？（アンケート用紙ではなく）
男性	20～29歳	学生	10年以上 19年未満	羽生	東京都や千葉県など県外の方はほとんどの人が羽生市を知らないし、ひどいときは県内の人でもごく希に羽生市を知らない人もいます。はっきり言って、「お住まいはどこですか。」と言われ「羽生です」と答えるのがいやになります。羽生市を有名にしてください。

性別	年齢	職業	居住年数	居住地	自由記入
女性	60歳以上	無職	10年以上 19年未満	羽生	羽生市がもっと活性化するよう、努力が必要！！
女性	60歳以上	無職	20年以上	新郷	市政の意見ではありませんが、質問が私には合わないのが多くあり返答に困りました。
男性	60歳以上	会社員	20年以上	羽生	天災もなく、安心して住めるが、他は魅力の無い街である。
男性	60歳以上	無職	生まれたときから	岩瀬	犬の散歩について、最近朝早く散歩（うすぐらいとき）している方を見ていると、自動車の影に（フン）をさせている方が多いのを見かけます。また夕方も同じようです。（家のかど）市に強くお願いします。
女性	60歳以上	無職	生まれたときから	羽生	とにかく独身者（男・女）が多すぎるように思います。人口を増やし活気のある羽生市にしたいし、市の借金を減らしてもらいたいものです。お願いします。
男性	20～29歳	その他	20年以上	羽生	頑張れ
男性	60歳以上	無職	生まれたときから	羽生	市民のためにもっともっと頑張ってもらいたい。
女性	60歳以上	その他	20年以上	羽生	※全体が見えてないので、具体的な意見はありませんが、これからはより一層関心を持ちたいと思います。市民ひとりひとりに対して平等とは言えないかな。 ※気づかなければならないことが沢山あります。市民への満足となるとなかなか大変ですね。
男性	60歳以上	その他	20年以上	手子林	何かかわりますか、このアンケートで変らなければ紙代、労力、もろもろ何にもなりませんよ。

# 資料. 調査票

# 市民意識調査票

※各設問について、指定個数以内で選び、該当する番号に○をつけてください。

## ◆◆◆現在の羽生市の住み心地について◆◆◆

**問1**：あなたにとって、現在の羽生市の住み心地はいかがですか。【1つ選び○】

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 住み良い (問1-aへ)     | 3. どちらとも言えない (問2へ) |
| 2. まあまあ住み良い (問1-aへ) | 4. 住みにくい (問1-bへ)   |

**問1-a**：問1で住み良い(1あるいは2)を選んだ方にお伺いします。

住み良いと思われる理由は何ですか。【2つ以内で選び○】

- |                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 自然環境が良い                 | 7. 人間関係が良い      |
| 2. 道路・排水・下水道などの都市施設が整っている  | 8. 永年住みなれ、愛着がある |
| 3. 文化ホールや図書館などの公共施設が充実している | 9. 商売や事業に便利である  |
| 4. 交通の便が良い                 | 10. 学校の関係       |
| 5. 買い物の便が良い                | 11. その他 具体的な内容  |
| 6. 子どもの教育環境が良い             | ( )             |

**問1-b**：問1で住みにくい(4)を選んだ方にお伺いします。

住みにくいと思われる理由は何ですか。【2つ以内で選び○】

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 自然環境が良くない               | 6. 子どもの教育環境が良くない     |
| 2. 道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない | 7. 人間関係が良くない         |
| 3. 公園などの公共施設が不十分である        | 8. 公害(騒音・振動・悪臭)などがある |
| 4. 交通の便が悪い                 | 9. 商売や事業に不利である       |
| 5. 買い物が不便である               | 10. その他 具体的な内容       |
|                            | ( )                  |

**問2**：あなたは、現在の場所に住み続けたいとお考えですか。【1つ選び○】

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1. 現在の場所に、永く住みたい | 4. できれば転居したい(市内の他の場所へ) |
| 2. 現在の場所に、当分住みたい | 5. できれば転居したい(市外へ)      |
| 3. わからない         |                        |

**問3**：今後、住み続けるにあたって必要なものは何ですか。【3つ以内で選びO】

- |                |                       |                        |
|----------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 新規住宅地の整備    | 6. 物品販売や飲食など商業施設の充実   | 11. 保育園等子育て支援の施設の充実    |
| 2. 幹線道路の整備     | 7. 遊園地等のアミューズメント施設の充実 | 12. 学校等の教育施設の充実        |
| 3. 生活道路の整備     | 8. 工場の誘致、就労の場の充実      | 13. 図書館・郷土資料館等の文化施設の充実 |
| 4. 公園・緑地等広場の整備 | 9. 福祉施設の充実            | 14. 自然環境の保全            |
| 5. 上下水道の整備     | 10. 医療施設の充実           | 15. その他 具体的な内容         |
- ( )

◆◆◆市役所の取り組み等について◆◆◆

**問4**：あなたは、市の広報紙「広報はにゅう」を読んでいますか。【1つ選びO】

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 必ず読む    | 4. まったく読まない |
| 2. ときどき読む  | 5. 届いていない   |
| 3. あまり読まない |             |

**問5**：あなたは、市議会の広報紙「ぎかいだより」を読んでいますか。【1つ選びO】

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 必ず読む    | 4. まったく読まない |
| 2. ときどき読む  | 5. 届いていない   |
| 3. あまり読まない |             |

**問6**：羽生市まちづくり自治基本条例についてご存じですか。【1つ選びO】

- |             |                      |               |
|-------------|----------------------|---------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない | 3. 全く聞いたことがない |
|-------------|----------------------|---------------|

**問7**：あなたは、市の計画づくりに市民参加の機会がある場合、参加してみたいですか。

【1つ選びO】

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 興味があるので、是非参加したい | 3. 興味はないので、参加しない |
| 2. 都合がつけば参加したい     | 4. その他 具体的な内容    |
- ( )

**問8**：あなたは、市政や市役所の職員について、どのような印象をお持ちですか。

【項目ごとに1つ選び○】

(1)市政への信頼度	1. 非常に信頼できる 2. 信頼できる 3. どちらとも言えない	4. やや信頼できない 5. 信頼できない
(2)市政の進展度	1. 非常に進んでいる 2. 進んでいる 3. どちらとも言えない	4. やや遅れている 5. 遅れている
(3)窓口対応の親切さ	1. 非常に親切である 2. 親切である 3. どちらとも言えない	4. やや不親切である 5. 不親切である
(4)事務処理の 正確さ・速さ	1. 非常に正確で速い 2. 正確で速い 3. どちらとも言えない	4. やや不正確で遅い 5. 不正確で遅い
(5)市役所の活気・ 明るさ	1. 非常に活気と明るさがある 2. 活気と明るさがある 3. どちらとも言えない	4. やや活気がなく暗い 5. 活気がなく暗い

◆◆◆コミュニティについて◆◆◆

**問9**：あなたとご近所の方との付き合いはどうか。【1つ選び○】

1. 良く付き合っている	3. あいさつ程度であまり付き合っていない
2. 普通程度に付き合っている	4. 付き合っていない

**問10**：自治会などの行う会合や行事に参加していますか。【1つ選び○】

1. 積極的に参加している	3. やむを得ず参加している
2. ときどき参加している	4. 参加していない

**問 11**：あなたは、市民モラルについてどのように感じていますか。

【項目ごとに1つ選びO】

	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば良い	良い
(1)公衆の場での喫煙マナー	1	2	3	4
(2)空き缶やごみなどの後始末	1	2	3	4
(3)犬や猫などペットの飼育マナー	1	2	3	4
(4)ごみの分別・持ち出し方	1	2	3	4
(5)公共物の使い方	1	2	3	4
(6)高齢者や障がい者等への思いやり	1	2	3	4
(7)その他 具体的な内容	1	2	3	4

**問 12**：あなたは、現在どのようなボランティア活動に参加していますか。

【該当する全てを選びO】

1. 地域社会（自治会活動、交通安全、非行防止・犯罪防止）	6. 国際交流（留学生との交流・支援、通訳等）
2. 福祉活動（高齢者・障がい者支援、子育ての支援等）	7. 災害時の支援（被災者支援、救援物資の供給等）
3. 環境保全（公害、エネルギー、リサイクル等）	8. 保健・医療（食生活、健康増進、病院ボランティア等）
4. 文化活動（書道・絵画・音楽・手芸等の指導等）	9. その他 具体的な内容
5. スポーツ（各種スポーツの指導等）	10. 特に参加していない

**問 12-a**：問 12 で特に参加していない(10)を選んだ方にお伺いします。

ボランティア活動に参加していない理由は何ですか。【1つ選びO】

1. 時間的余裕がないため	4. 興味があるボランティア活動がないため
2. 金銭的余裕がないため	5. 身近に活動できる場所がないため
3. 精神的余裕がないため	6. その他 具体的な内容

◆◆◆羽生市の将来像について◆◆◆

**問 13**：あなたは、将来羽生市がどのような都市になったらいいとお考えですか。

【2つ以内で選び○】

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1. 水と緑あふれる田園都市   | 5. 静かな住宅都市            |
| 2. 福祉施設が充実した福祉都市 | 6. 工業団地等のある活気に満ちた工業都市 |
| 3. 教育・文化の文教都市    | 7. その他 具体的な内容         |
| 4. 活気ある商業都市      | }                     |

**問 14**：現在、羽生市の人口は 57,088 人(平成 22 年 10 月 1 日現在)ですが、あなたは羽生市の将来の人口について、どうなったら良いとお考えですか。【1つ選び○】

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 積極的に人口を増やすよう図ったほうが良い |
| 2. 自然のままが良い             |
| 3. 人口が増えるのを抑制したほうが良い    |

**問 15**：あなたは市町村合併についてどのように思いますか。【1つ選び○】

- |                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 積極的に取り組むべきだと思う               | 3. 合併すべきではないと思う |
| 2. 少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う | 4. わからない        |

◆◆◆羽生市の特徴等について◆◆◆

**問 16**：あなたは、食虫植物「ムジナモ」を知っていますか、また見たことはありますか。

【1つ選び○】

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1. 知っていて、実物を見たことがある     | 4. 聞いたことも見たこともない |
| 2. 知っていて、写真等で見たことがある    | 5. その他 具体的な内容    |
| 3. 知っているが、実物も写真も見たことがない | }                |

**問 17**：羽生市の中で好きな場所や景色について記入してください。【自由記入】

場所：

好きな

理由：



**問 18**：下表に記す地場産品、施設、イベントについて、羽生市を全国にPRするために有効だと思うものはどれですか。【3つ以内で選びO】

1. いがまんじゅう	9. コスモスフェスティバル	17. 利根川
2. 彩のかがやき	10. スカイフェスタ(気球)	18. 羽生水郷公園
3. 地ビール	11. 桜まつり	19. さいたま水族館
4. 愛情(藍城)弁当などのご当地グルメ	12. 羽生夏まつり	20. ムジナモ自生地宝蔵寺沼
5. ムジナもん等のキャラクター	13. 菊まつり	21. キヤッセ羽生
6. ゆるキャラ@さみっと in 羽生	14. フロアカーリング	22. 田舎教師
7. 藍染め	15. ふるさとの詩	23. イオンモール
8. 藤(大天白公園)	16. 藍のまち羽生さわやかマラソン大会	

**問 19**：市では、観光交流人口 100 万人を目指して施策を実施していますが、上記(問 18)に記載されている他に、羽生市の観光交流人口を増やすために有効だと思うイベント、場所、施設等があれば下欄にご記入ください。【自由記入】

--	--	--

### ◆◆◆福祉・リサイクル・交通について◆◆◆

**問 20**：今後、高齢化がますます進むことが予想されますが、幸せで生きがいのある老後を送るために、あなたは何が大切だとお考えですか。【2つ以内で選びO】

1. 生活資金の充実(公的年金、社会保険の充実)	8. 近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる
2. 生活資金確保のため、就労の機会を増やす	9. 高齢者の地域活動への参加を促進する
3. 高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する	10. 歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める
4. 生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動を盛んにする	11. 在宅福祉サービスを充実させる
5. 老人クラブの活動を支援する	12. 市民ボランティアの育成に努める
6. 高齢者が楽しく働ける場を増やす	13. その他 具体的な内容
7. 高齢者向け住宅への融資制度の整備を図る	}

**問 21**：最近、ごみ問題への関心が高まってきていますが、その課題の一つとして家庭ごみの減量があげられます。家庭のごみを減らしたり、リサイクル(再利用・再資源)をすすめていくうえで、どのようなことが必要だとお考えですか。次の中から3つお選びください。

【3つ以内で選び〇】

- |                                    |                               |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1. ごみ集積所の配置や管理の仕方などの見直し            | 7. 不要なものは買わない、断る              |
| 2. 缶、ビン、ペットボトル、古紙類など現在行っている分別収集の徹底 | 8. 生ごみ処理機器(機械式コンポスター等)の積極的な活用 |
| 3. 地域やPTAなどで行っている資源ごみ回収への参加        | 9. 家庭ごみの有料化                   |
| 4. 廃プラスチックなど資源品目の拡充                | 10. 関心がない                     |
| 5. 物が壊れても、可能な限り修理して長く使うようにする       | 11. その他 具体的な内容                |
| 6. できるだけエコマーク商品を使用する               |                               |

**問 22**：羽生市の交通についてこれから必要だと思うものは何ですか。

【3つ以内で選び〇】

- |                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 近隣市町を結ぶ幹線道路の整備    | 6. 歩道の整備(安全な歩道幅の確保、段差の解消) |
| 2. 地域間を結ぶ幹線道路の整備     | 7. 自転車道の整備                |
| 3. 身近な生活道路の整備        | 8. その他 具体的な内容             |
| 4. 鉄道やバスなどの公共交通施設の充実 |                           |
| 5. 駅周辺や中心市街地の駐車場の整備  |                           |

**問 23**：最終電車時刻の満足度について伺います。【1つ選び〇】

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. 満足している     | 4. やや不満足である |
| 2. まあまあ満足している | 5. 不満足である   |
| 3. 普通である      |             |

### ◆◆◆通信環境等について◆◆◆

**問 24**：あなたは、インターネットをどのような環境で利用していますか。【1つ選び〇】

- |             |                    |
|-------------|--------------------|
| 1. 一般電話回線   | 5. 携帯電話            |
| 2. I SDN回線  | 6. その他の回線          |
| 3. ADSL回線   | 7. インターネットを利用していない |
| 4. 光ファイバー回線 |                    |

**問 25**：あなたは、羽生市のホームページを利用していますか。【1つ選び〇】

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| 1. 毎日利用する     | 4. あまり利用しない            |
| 2. 週に1度程度利用する | 5. 全く利用しない             |
| 3. 月に1度程度利用する | 6. インターネットそのものを利用していない |

**問 26**：羽生市の電子申請・届出サービスについてご存じですか。【1つ選び〇】

- |              |                         |         |
|--------------|-------------------------|---------|
| 1. 利用したことがある | 2. 知っているが、<br>利用したことはない | 3. 知らない |
|--------------|-------------------------|---------|

◆◆◆医療・防災・防犯について◆◆◆

**問 27**：あなたは、かかりつけ医または診療所(医院)・病院を決めていますか。【1つ選び〇】

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| 1. かかりつけ医(ホームドクター・診療所)を決めている | 3. かかりつけ医(ホームドクター・診療所)は必要なので決めたいと思っている |
| 2. 行きつけの総合病院等を決めている          | 4. 必要だと思わない                            |

**問 28**：市の国民健康保険における一人当たりの医療費は、県内 40 市中第 2 位に位置する高い額となっています。そこで、医療費の増加を抑え、健康でいきいきと暮らすためには、何が大切だと思いますか。【3つ以内で選び〇】

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 定期的な健診などによる健康管理 | 6. 禁煙                 |
| 2. バランスのとれた食生活     | 7. 飲酒を控える             |
| 3. 適度な運動           | 8. 健康講座・健康相談への参加や情報収集 |
| 4. 適切な睡眠・休息        | 9. その他 具体的な内容         |
| 5. ストレス解消          | [ ]                   |

**問 29**：近年、日本各地で大規模な地震が発生し、大きな被害が出ています。被害を最小限に抑えるためには、建物の耐震化が必要とされています。そこで、あなたのお住まいの住宅についてお伺いします。【項目ごとに1つ選び〇】

(1)お住まいの家が建てられた時期はいつですか。	1. 昭和 56 年(1981 年)以前	
	2. 昭和 57 年(1982 年)以降	
	3. わからない	
(2)お住まいの家が地震に対してどの程度安全か知りたいですか。	1. はい	
	2. いいえ	
(3)お住まいの家が、大地震の際の安全性に問題があると分かった場合、どうしますか。	持ち家の方	1. 耐震補強工事をする
		2. 建て替える
		3. 何もしない
	借家の方	1. 所有者に耐震補強工事を求める
		2. 住み替える
		3. 何もしない

**問 30**：あなたの家に住宅用火災警報器は設置されていますか。

【該当するもの全てを選び○】

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 寝室に設置されている | 4. 左記以外の場所に設置されている |
| 2. 階段に設置されている | 5. 設置されていない        |
| 3. 台所に設置されている |                    |

**問 31**：あなたは、災害時の避難場所をご存じですか。 【1つ選び○】

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

**問 32**：あなたの家では、地震などの災害時に備えてどのような準備をしていますか。

【該当するもの全てを選び○】

- |                         |                                     |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 1. 避難場所の確認              | 6. ブロック塀などの補強                       |
| 2. 家族との連絡方法の確認          | 7. 家具などの転倒防止                        |
| 3. 携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備  | 8. 防災訓練に参加                          |
| 4. 非常用食料の備蓄             | 9. 浴槽での水の溜め置き(初期消火や断水時のトイレ等の水確保のため) |
| 5. 非常持ち出し用衣類・毛布・貴重品等の準備 | 10. 特に準備していない                       |

**問 33**：あなたが現在行っている防犯対策は何ですか。 【該当するもの全てを選び○】

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. ドア、窓の二重ロック化        | 6. 防犯ブザー等の設置           |
| 2. 防犯ガラス、防犯フィルムの施工    | 7. 外出時の隣近所への声かけ        |
| 3. 防犯カメラの設置           | 8. 犬等のペットを飼う           |
| 4. センサーライトの設置         | 9. GPS 等を活用した IT 機器の使用 |
| 5. ホームセキュリティ(警備会社に委託) | 10. その他 具体的な内容         |

**問 34**：あなたの身の回りで起きる犯罪を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。【3つ以内で選び〇】

- |                               |                           |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 防犯灯や街路灯を増設する               | 6. 近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる |
| 2. 道路や塀などを見通しが良くなるよう工夫する      | 7. 犯罪情報を提供する              |
| 3. 市街地などに防犯カメラを取り付ける          | 8. 警察のパトロールを多くする          |
| 4. 市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む | 9. その他 具体的な内容             |
| 5. 地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする      |                           |

### ◆◆◆選挙について◆◆◆

**問 35**：最近、選挙の投票率の低い状態が続いています。あなたは、その理由は何だと思いますか。【2つ以内で選び〇】

- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 有権者の政治への無関心              | 6. 候補者・政党のPR不足       |
| 2. 有権者の政治への不満や不信の現れ         | 7. 若い人の政治への無関心       |
| 3. 支持できる候補者・政党がないため         | 8. 時間や場所など投票に制約が多いため |
| 4. 投票しても政治は良くなれないと思うため      | 9. その他 具体的な内容        |
| 5. 政治的に争点のない選挙が多く、有権者の関心が低い | 10. わからない            |

**問 36**：選挙の投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。

【2つ以内で選び〇】

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| 1. 市内のどの投票所でも投票できるようにする                | 6. 候補者に公約を守らせるような仕組みを考える |
| 2. 投票への啓発活動をより積極的に進める                  | 7. 自宅での投票や郵便投票ができるようにする  |
| 3. 学校で行う、政治や選挙についての授業を充実させる            | 8. その他 具体的な内容            |
| 4. 議会をテレビ等で放送するなど、議員の活動がより有権者にみえるようにする | 9. わからない                 |
| 5. 選挙運動をもっと自由にし、選挙に関する関心や参加を高める        |                          |

◆◆◆教育・スポーツについて◆◆◆

**問 37**：あなたは、羽生市の学校教育をさらに行き届いたものにするためには、特に何に力を注ぐべきだと思いますか。【2つ以内で選び〇】

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1. 教員の指導力の向上       | 8. 教育相談の充実      |
| 2. 社会体験・自然体験の充実    | 9. 道徳教育の充実      |
| 3. 基礎的・基本的な学習の定着   | 10. 部活動等の充実     |
| 4. 善悪を判断できる児童生徒の育成 | 11. 学校施設・設備の充実  |
| 5. 考える力を育成する学習の充実  | 12. 学校ボランティアの充実 |
| 6. 耐える力、がんばりぬく力の育成 | 13. その他 具体的な内容  |
| 7. 基礎的な生活習慣の定着     | 〔 〕             |

**問 38**：あなたは、市内の学校にどのようなことを望みますか。【2つ以内で選び〇】

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 学校行事に地域の住民を招待し、交流を深める  | 5. 防犯活動など安全のための活動に取り組む   |
| 2. 学校施設を地域の住民に開放する        | 6. 地域住民と生徒が常時交流できる場を設定する |
| 3. 地域の伝統文化を継承する活動へ協力・参加する | 7. 学校と地域住民とのネットワークを構築する  |
| 4. 地域との共同イベントを開催する        | 8. その他 具体的な内容            |
|                           | 〔 〕                      |

**問 39**：あなたは、どれ位の頻度でスポーツを行っていますか。【1つ選び〇】

- |            |                  |
|------------|------------------|
| 1. 週に5回以上  | 4. 月に1回～3回程度     |
| 2. 週に2回～4回 | 5. やっていない／月に1回未満 |
| 3. 週に1回    |                  |

**問 39-a**：問39で(5)を選んだ方にお伺いします。スポーツをやっていない理由は何ですか【2つ以内で選び〇】

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 仕事や勉強が忙しいから      | 4. 適当な相手、指導者、仲間がないため |
| 2. 身近に適当な場所や施設がないから | 5. その他 具体的な内容        |
| 3. 健康上の理由           | 〔 〕                  |

◆◆◆人権・男女平等について◆◆◆

**問 40**：「人権」とは、誰もが生まれながらにして持っている権利であり、幸せに生きるためになくってはならないものです。あなたは、今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。 【1つ選び〇】

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1. 尊重されている          | 4. 尊重されていない |
| 2. どちらかといえば尊重されている  | 5. わからない    |
| 3. どちらかといえば尊重されていない |             |

**問 41**：あなたのまわりの各場面において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

【項目ごとに1つ選び〇】

	男性が優遇されている	男性が優遇されている どちらかといえば	平等である	女性が優遇されている どちらかといえば	女性が優遇されている	わからない
(1)家庭の中で	1	2	3	4	5	6
(2)地域の中で	1	2	3	4	5	6
(3)教育の中で	1	2	3	4	5	6
(4)職場の中で	1	2	3	4	5	6
(5)慣習・しきたり・社会通念などで	1	2	3	4	5	6

**問 42**：あなたは、『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか。

【1つ選び〇】

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1. その通りだと思う       | 4. そう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う   | 5. わからない  |
| 3. どちらかといえばそう思わない |           |

◆◆◆商業・産業について◆◆◆

**問 43**：あなたが、次の商品を主にどこの商店で購入していますか。【項目ごとに1つ選び○】

	市内の			市外の		
	個人商店	含む （小型スーパーを 小売店	大型店	個人商店	含む （小型スーパーを 小売店	大型店
(1)食料品	1	2	3	4	5	6
(2)衣料品	1	2	3	4	5	6
(3)家具・家電	1	2	3	4	5	6
(4)趣味の用品	1	2	3	4	5	6
(5)その他	1	2	3	4	5	6

**問 44**：あなたが、米や野菜などの農産物を購入するに当たって、目安にしていることはどのようなことですか。【2つ以内で選び○】

1. ブランドや評判、おいしさなど	5. 新鮮さなどの品質
2. 無農薬や有機栽培など、安全への配慮の観点から	6. その他 具体的な内容
3. 国内産または地元産であること	〔 〕
4. 値段の安さ	

**問 45**：あなたは市の商業や産業の振興について何が重要だとお考えですか。

【2つ以内で選び○】

1. 新しい産業資源の発掘	6. 若い世代の台頭や後継者の育成
2. 歴史や伝統を活かした施設や商店街づくり	7. 催し物やイベントの開催
3. 農産物の加工開発や新しい農業経営の研究	8. 市の計画や積極的な支援
4. 企業の誘致	9. その他 具体的な内容
5. 商店街の整備	〔 〕



◆◆◆お住まいの地域の全般的なまちづくりについて◆◆◆

**問 46**：あなたが住んでいる地域で、以下の各項目について、どう感じていますか。

【項目ごとに1つ選び○】

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満足	不満足	わからない
市民との協働によるまちづくり						
(1)市民協働の推進について	1	2	3	4	5	6
(2)人権施策の推進について	1	2	3	4	5	6
(3)男女共同参画社会の確立について	1	2	3	4	5	6
(4)国際化の推進について	1	2	3	4	5	6
(5)消費者行政の推進について	1	2	3	4	5	6
安全で安心なまちづくり						
(6)消防・救急の充実について	1	2	3	4	5	6
(7)防災対策の推進について	1	2	3	4	5	6
(8)防犯対策の推進について	1	2	3	4	5	6
(9)交通安全対策の推進について	1	2	3	4	5	6
健康で希望に満ちたまちづくり						
(10)健康づくりの推進について	1	2	3	4	5	6
(11)地域医療の充実について	1	2	3	4	5	6
(12)地域福祉の推進について	1	2	3	4	5	6
(13)子育て支援の推進について	1	2	3	4	5	6
(14)障がい者支援の推進について	1	2	3	4	5	6
(15)高齢者支援の推進について	1	2	3	4	5	6
(16)社会保障の充実について	1	2	3	4	5	6
次代を担う個性豊かなまちづくり						
(17)幼児・家庭教育の充実について	1	2	3	4	5	6
(18)義務教育の充実について	1	2	3	4	5	6
(19)高等教育機関との連携について	1	2	3	4	5	6
(20)生涯学習の推進について	1	2	3	4	5	6
(21)文化の継承・振興について	1	2	3	4	5	6
(22)生涯スポーツの振興について	1	2	3	4	5	6
活力に満ちたまちづくり						
(23)農業の振興について	1	2	3	4	5	6
(24)商業の振興について	1	2	3	4	5	6
(25)工業の振興について	1	2	3	4	5	6
(26)観光の振興について	1	2	3	4	5	6
(27)就労促進・労働行政について	1	2	3	4	5	6

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満足	不満足	わからない
快適で住みやすいまちづくり						
(28)市街地の整備について	1	2	3	4	5	6
(29)道路の整備について	1	2	3	4	5	6
(30)上水道の整備について	1	2	3	4	5	6
(31)下水道の整備について	1	2	3	4	5	6
(32)公園・緑地の整備について	1	2	3	4	5	6
(33)市民の移動手段の確保について	1	2	3	4	5	6
(34)ごみ処理の適正化について	1	2	3	4	5	6
(35)し尿処理の推進について	1	2	3	4	5	6
(36)環境保全の推進について	1	2	3	4	5	6
行政経営の改革						
(37)広報・広聴の充実について	1	2	3	4	5	6
(38)情報化の推進について	1	2	3	4	5	6
(39)情報の公開と適正な運用について	1	2	3	4	5	6
(40)行政改革の推進について	1	2	3	4	5	6
(41)人事管理について	1	2	3	4	5	6
(42)健全な財政運営について	1	2	3	4	5	6
(43)広域行政について	1	2	3	4	5	6
(44)危機管理の体制について	1	2	3	4	5	6

**問 47**：あなたは、これからの市政に対して、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。

【5つ以内で選びO】

1. 市民協働の推進	16. 社会保障の充実	31. 下水道の整備
2. 人権施策の推進	17. 幼児・家庭教育の充実	32. 公園・緑地の整備
3. 男女共同参画社会の確立	18. 義務教育の充実	33. 市民の移動手段の確保
4. 国際化の推進	19. 高等教育機関との連携	34. ごみ処理の適正化
5. 消費者行政の推進	20. 生涯学習の推進	35. し尿処理の推進
6. 消防・救急の充実	21. 文化の継承・振興	36. 環境保全の推進
7. 防災対策の推進	22. 生涯スポーツの振興	37. 広報・広聴の充実
8. 防犯対策の推進	23. 農業の振興	38. 情報化の推進
9. 交通安全対策の推進	24. 商業の振興	39. 情報の公開と適正な運用
10. 健康づくりの推進	25. 工業の振興	40. 行政改革の推進
11. 地域医療の充実	26. 観光の振興	41. 人事管理
12. 地域福祉の推進	27. 就労促進・労働行政	42. 健全な財政運営
13. 子育て支援の推進	28. 市街地の整備	43. 広域行政
14. 障がい者支援の推進	29. 道路の整備	44. 危機管理の充実
15. 高齢者支援の推進	30. 上水道の整備	

◆◆◆あなたご自身について◆◆◆

あなたご自身についてお伺いします。 【項目ごとに1つ選び〇】

(1)あなたの性別は	1. 男性	2. 女性
(2)あなたの年齢は	1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳	4. 50～59歳 5. 60歳以上
(3)あなたの職業は	1. 農業 2. 商工業 3. 自営業 4. 会社員 5. 公務員	6. パート・アルバイト 7. 学生 8. 無職 9. その他
(4)あなたは羽生市に何年お住みですか	1. 5年未満 2. 5年以上～9年未満 3. 10年以上～19年未満	4. 20年以上 5. 生まれたときから
(5)あなたの住んでいる地域は	1. 羽生 2. 新郷 3. 須影	4. 岩瀬 5. 川俣 6. 井泉 7. 手子林 8. 三田ヶ谷 9. 村君

◆◆◆市政に関するご意見◆◆◆

市政に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。


以上で質問は終わりです。お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

なお、まことに恐縮ですが1月21日（金）までにこの調査用紙を返信用封筒に入れて返送して下さるようお願いいたします。



羽生市キャラクター  
ムジナもん

